

官報

號 外

大正十二年十二月二十日(木曜日)

印刷局

第四十七回 衆議院議事速記録第六號

大正十二年十二月十九日(水曜日)午後一時二十二分開議

議事日程 第五號 大正十二年十二月十九日

午後一時開議

- 第一 大正十二年勅令第四百九號(承諾ヲ求ムル件)(府縣會議員任期ノ件)(貴族院送付)
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 大正十二年勅令第四百三號(承諾ヲ求ムル件)(治安維持ノ爲ニスル罰則ノ件)(貴族院送付)
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第五 大正十二年勅令第四百七十一號(承諾ヲ求ムル件)(株主名簿ヲ喪失セル會社ノ件)(貴族院送付)
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第七 大正十二年勅令第四百七十五號(承諾ヲ求ムル件)(法人ノ破産宣告ニ關スル件)(貴族院送付)
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記朗讀)

一去十七日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

大正十二年勅令第四百九號(承諾ヲ求ムル件)

(府縣會議員任期ノ件)

大正十二年勅令第四百三號(承諾ヲ求ムル件)

(治安維持ノ爲ニスル罰則ノ件)

大正十二年勅令第四百七十一號(承諾ヲ求ムル件)

(株主名簿ヲ喪失セル會社ノ件)

大正十二年勅令第四百七十五號(承諾ヲ求ムル件)

(法人ノ破産宣告ニ關スル件)

今十九日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

非常徵發令(承諾ヲ求ムル件)

大正十二年勅令第四百五號(承諾ヲ求ムル件)

(泰利取締ノ件)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

關東地方ノ震災ニ罹リタル者ニ對スル債權ニ關スル法律案

提出者 中野 寅吉君

(以上十二月十八日提出)

露國政變及事變ニ關スル被害者救済並對露貿易

企業促進ニ關スル建議案

提出者 川崎 克君 一柳 中次郎君

鈴木 久次郎君 本田 恒之君

山道 襄一君 佐々木平次郎君

松井 鉄夫君 平出 喜三郎君

加藤 定吉君 清水 留三郎君

(以上十二月十五日提出)

現役ヲ終リタル在郷軍人ニ選舉權附與ニ關スル建議案

提出者 津野田 是重君 八田 宗吉君

山口 義一君 久下 豐忠君

志賀 和多利君 櫻内 幸雄君

(以上十二月十六日提出)

國政ノ大改造ニ關スル建議案

提出者 荒川 五郎君

輸入稅免除廢止ニ關スル建議案

提出者 小橋 漢三衛君 砂田 重政君

震災豫防調査機關設置ニ關スル建議案

提出者 星島 二郎君

燒失遊廓再興不許可ニ關スル建議案

提出者 松山 常次郎君 田川 大吉郎君

横山 勝太郎君

(以上十二月十七日提出)

農務省新設ニ關スル建議案

提出者 天春 文衛君 中倉 万次郎君

長田 桃藏君 西村 正則君

八田 宗吉君 守屋 松之助君

川崎 克君 佐久間 啓莊君

齋藤 宇一郎君 土井 權大君

(以上十二月十八日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

支那人誤殺事件ニ關スル質問主意書

提出者 仙波 太郎君

上海無線電信臺建設事件ニ關スル質問主意書
提出者 仙沙 太郎君
(以上十二月十五日提出)

一 去十六日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ
衆議院議員伊坂秀五郎君提出町村長ニ對スル大
正四年乃至大正九年ノ戰役ニ因ル論功行賞ニ關
スル質問ニ對スル答辯書

町村長ニ對スル大正四年乃至大正九年ノ戰役
ニ因ル論功行賞ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也
大正十二年十二月十二日

提出者 伊坂秀五郎
贊成者 池田猪三
外三十名

町村長ニ對スル大正四年乃至大正九年ノ
戰役ニ因ル論功行賞ニ關スル質問主意書
大正四年ヨリ同九年ニ至ル戰役ニ因ル論功行賞
ハ既ニ各關係方面ニ於テ其ノ發表ヲ見タルニ最
密接ノ關係ヲ有セシ町村長ニ對スル論功行賞ノ
未タ發表ナキハ民心統治ノ上甚タ遺憾ニ堪ヘサ
ルナリ之ニ對スル政府ノ所見如何
右及質問候也

大正十二年十二月十六日

衆議院議員伊坂秀五郎君提出町村長ニ對スル大
正四年乃至大正九年ノ戰役ニ因ル論功行賞ニ關
スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

〔別紙〕
衆議院議員伊坂秀五郎君提出町村長ニ對スル
大正四年乃至大正九年ノ戰役ニ因ル論功行賞ニ
關スル質問主意書ニ對スル答辯書

町村長ニ對スル大正四年乃至大正九年ノ戰役ニ因
ル論功行賞ハ既ニ本月四日賞勳局ニ於テ之ヲ發
表セリ

右及答辯候也

大正十二年十二月十六日

內閣總理大臣 伯爵山本權兵衛

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲
載ス〕

一 去十五日常任委員補選結果左ノ如シ
第四部選出 請願委員 岡田伊太郎君 (鐸木三
郎兵衛君補闕)

第七部選出 請願委員 佐々木十秀君 (正木照
藏君補闕)

第七部選出 請願委員 齋藤小十郎君 (門屋尙
志君補闕)

第七部選出 懲罰委員 藤井啓一君 (野田文一
郎君補闕)

第九部選出 請願委員 高橋久次郎君 (鈴木周
三郎君補闕)

一 去十五日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
帝都復興計畫法案外二件委員

委員長 高橋 光威君 理事 小田切磐太郎君
宮崎三之助君
作間 耕逸君
高木 正年君

震災ニ因リ租稅ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ
納稅資格要件ニ關スル法律案外一件委員

委員長 石川 立三君 理事 舞田 壽三郎君
保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案外一件
委員

委員長 廣岡宇一郎君 理事 熊谷 直太君
前田 哲藏君
飯塚 春太郎君
奧村 安太郎君

東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律
案委員
委員長 小山田信藏君 理事 宮澤 長治君

臨時物資供給令(承諾ヲ求ムル件)外一件委員

委員長 田邊 熊一君 理事 一宮房治郎君
長谷川 敦君
上田 彌兵衛君

大正十二年勅令第四百十號(承諾ヲ求ムル件)
(租稅減免ノ件)委員

委員長 中西六三郎君 理事 原 夫次郎君
砂田 重政君

一 去十五日東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關
スル法律案委員樋口秀雄君辭任ニ付其ノ補闕ト
シテ佐久間啓莊君ヲ大正十二年勅令第四百十號
(承諾ヲ求ムル件)(租稅減免ノ件)委員野呂駿
三君辭任ニ付其ノ補闕トシテ岡田伊太郎君ヲ同
委員岡本幹輔君辭任ニ付其ノ補闕トシテ山本厚
三君ヲ保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案
外一件委員小坂順造君辭任ニ付其ノ補闕トシテ
志賀和多利君ヲ震災ニ因リ租稅ヲ減免セラレタ
ル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案外
一件委員廣瀬鎮之君辭任ニ付其ノ補闕トシテ益
谷秀次君ヲ臨時物資供給令(承諾ヲ求ムル件)外
一件委員山道襄一君辭任ニ付其ノ補闕トシテ栗
山博君ヲ敦レモ議長ニ於テ選定セリ
一 去十五日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
大正十二年勅令第四百二十四號(承諾ヲ求ムル
件)(手形割引損失補償ノ件)

指出 義雄君 石井 三郎君
秋本 喜七君 穴水 要七君
木下 謙次郎君 成田 榮信君
改野 耕三君 加藤 重三郎君
米澤 與三三君 松本 孫右衛門君
中山 佐市君 橋本 喜造君
齋藤 巳三郎君 山邊 常重君
松井 鉄夫君 渡邊 昭君

土居 通憲君 納富 陳平君

一 去十六日 辭任シタル常任委員左ノ如シ
第六部選出豫算委員 鈴木 富士彌君

一 去十六日 委員及理事互選ノ結果左ノ如シ
大正十二年勅令第四百二十四號(承諾ヲ求ムル件)(手形割引損失補償ノ件)委員

委員長 指田 義雄君 理事 石井 三郎君
土居 通憲君

一 去十六日 震災ニ因リ租稅ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案外一件委員八並武治君辭任ニ付其ノ補闕トシテ野村嘉六君ヲ大正十二年勅令第四百十號(承諾ヲ求ムル件)(租稅減免ノ件)委員上塚司君辭任ニ付其ノ補闕トシテ穴水要七君ヲ敦レモ議長ニ於テ選定セリ

一 去十七日 常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ
第六部選出 豫算委員 正木照藏君(鈴木富士彌君補闕)

一 去十七日 臨時物資供給令(承諾ヲ求ムル件)外一件委員正木照藏君辭任ニ付其ノ補闕トシテ横山勝太郎君ヲ帝都復興計畫法案外二件委員磯貝浩君辭任ニ付其ノ補闕トシテ古賀三千人君ヲ敦レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス
○指田義雄君 只今大正十二年勅令第四百二十四號特別委員會ヲ開キマス

○議長(粕谷義三君) 委員會ヲ開クノデスカ
○指田義雄君 サウデス

○議長(粕谷義三君) 承知致シマシタ
○指田義雄君 ドウゾ委員諸君ハ、第二委員會ニ御集リヲ願ヒマス

○原夫次郎君 議長

○議長(粕谷義三君) 原君何デス
○原夫次郎君 日程ニ入ル前ニ總理大臣ノ御出席

官報號外 大正十二年十二月二十日

衆議院議事速記第六號 大正十二年勅令第四百九號(承諾ヲ求ムル件)

ヲ願ツテ置キタイノデアリマス

○議長(粕谷義三君) 要求致シテ置キマス——國務大臣ノ演說ニ對シマスル質疑ハ、今日モ尙未續スル答デアリマシタガ、通告者ヨリソレハ、取消サシマシテ、殘ス所一人モ無クナリマシタ、仍テ今日ハ日程ヨリ之ヲ除キマシタ、是ヨリ日程ニ入リマス、日程第一、大正十二年勅令第四百九號承諾ヲ求ムル件、貴族院送付、之ヲ議題ト致シマス

第一 大正十二年勅令第四百九號(承諾ヲ求ムル件)(貴族院送付)

大正十二年勅令第四百九號
朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ東京府神奈川縣等ニ於ケル現任府縣會議員ノ任期等ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽
攝政名
大正十二年九月十二日

內閣總理大臣兼	伯爵山本權兵衛
外務大臣	子爵後藤 新平
文部大臣	岡野敬次郎
海軍大臣	財部 彪
陸軍大臣	男爵田中 義一
農商務大臣	男爵田 健治郎
逓信大臣	犬養 毅
司法大臣	平沼騏一郎
鐵道大臣	山之内 次
藏 藏大臣	井上準之助

勅令第四百九號
東京府、神奈川縣、埼玉縣、千葉縣及靜岡縣ニ於ケル現任府縣會議員ハ其ノ任期滿了スルモ後任議員選舉ノ期日ノ前日迄在任ス

前項ニ規定スル府縣ニ於テハ前項ニ規定スル選舉ノ期日ノ前日迄府縣會議員ノ補闕選舉ハ之ヲ行ハス

第一項後任議員選舉ノ期日ハ內務大臣之ヲ定ム第一項ニ規定スル府縣ニ於テハ大正十二年ニ調製スヘキ府縣會議員ノ選舉人名簿ニ關スル府縣制第九條乃至第十二條ニ規定スル期日及期限ハ內務大臣ノ定ムル所ニ依ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(粕谷義三君) 後藤內務大臣
(國務大臣子爵後藤新平君登壇)

○國務大臣(子爵後藤新平君) 茲ニ提出ニナリマシタ大正十二年勅令第四百九號、之ニ對シマシテ承諾ヲ求ムルノ理由ヲ申述ベマス、本年九月ノ大震災ノ爲ニ、豫定ノ期日ニ府縣會議員ノ選舉ヲ行ヒ、又法ノ定ムル所ニ依ツテ、九月十五日ノ現在ニ依リ正確ナル選舉人名簿ヲ調製スルコトハ、殆ド不可能ノ實況ニ陷レルモノ東京府、神奈川縣、埼玉縣、千葉縣、靜岡縣ニ互ツテ居ルノデアリマス、而モ強テ選舉ヲ行ヒ、又ハ選舉人名簿ヲ調製セントセバ、災害ノ最後ノ處置ヲ完ウスルコト能ハザルノミナラズ、選舉權ノ有無ニ關シ、所在、爭議續出スルノ虞アルヲ免レヌノデアリマス、斯ノ如キハ公共ノ安定ヲ保持シ、又ハ災厄ヲ避クル所以ノ途ニアラズト認メマシテ、憲法第八條第一項ニ依リ、緊急勅令ノ公布ヲ仰ギタル次第デアリマス、爾來靜岡縣ニ對シマシテハ、名簿調製期日ヲ十月十日、選舉期ヲ十月十四日、埼玉縣、千葉縣ニハ名簿調製期日ヲ十月十五日、選舉期日ヲ埼玉縣ニ對シテハ明年一月二十五日、千葉縣ニ對シテハ明年一月二十日ト定メマシタ、東京、神奈川ノ二府縣ニ對シマシテハ、未ダ名簿調製及選舉ノ期日ヲ定ムルノ時期ニ達セナイノデアリマス、右

ノ事情デアリマスカラ、本勅令ヲ尙ホ將來ニ向ヒ效力ヲ有セシムルノ必要アルヲ以テ、茲ニ帝國憲法第八條第二項ノ命ズル所ニ從ヒ、帝國議會ノ承認ヲ求ムルノ必要ガアリマシテ、提案致シマシタノデアリマス、宜シク御審議ノ上、協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長(粕谷義三君) 此際新ニ議席ニ著カレマシタル議員ヲ御紹介致シマス、其氏名ヲ讀ムゲマスカラ御起立ヲ願ヒマス——新潟縣第六區選出議員建部遯吾君

〔建部遯吾君起立〕

〔拍手起ル〕

○議長(粕谷義三君) 只今議題ニナツテ居リマスル案ニ付テ、質疑ノ通告ガアリマス、其發言ヲ許シマス、原夫次郎君

〔原夫次郎君登壇〕

○原夫次郎君 本員ハ只今議題ト相成ツタル緊急勅令ノ事後承諾案ニ關シテ、特ニ總理大臣ノ御答辯ヲ得タイ點ヲ質疑致スノデアリマス、實ハ只今本員ガ質疑セントスル所ノ案件ニ付キマシテハ、既ニ總理大臣ノ過日ノ演説ニ對シテ、質疑通告ヲ致シテ置イタノデアリマスガ、遺憾ナガラ本日マデ其機會ヲ得ナカツタ爲ニ、本日此緊急勅令ニ關スル質疑致ス次第デアリマス、本員ガ第一ニ御尋致シタイト思フノハ、彼ノ緊急勅令中、現内閣ニ於テ既ニ事後承諾ヲ求ムルニ及バザルモノトシテ、閣議ヲ決定致シタト云フコトヲ仄聞致シテ居ルノデアリマスガ、其仄聞シタル所ノ不提出ノ緊急勅令三件、即チ彼ノ戒嚴令ノ一部適用ニ關スル緊急勅令、竝ニ此緊急勅令ヲ廢シタル緊急勅令、尙ホ外ニ支拂猶豫ニ關スル彼ノ「モラトリウム」ニ關スル緊急勅令、此三緊急勅令ニ付テ不提出ノ意見ヲ持ツテ居ルト云フコトデアリマスガ、既ニ諸君モ御承知ノ如ク、彼ノ

大震災以後應急ノ手段トシテ緊急勅令ヲ發シタルモノ合計十有六件ニナツテ居ルノデアリマス、此多數ノ緊急勅令ハ、兄弟若クハ姉妹案デアリマシテ、殆ド是ハ震災直後ノ善後策トシテ發布セラレタル殆ド不可分のモノデアアル、其中ニ就キマシテハ或ハ直接物質的ノ救済策トシテ發布セラレタルモノアリ、或ハ精神的ノ善後策トシテ發布セラレタルモノアリ、是等ノ中デ先程申述ベマシタヤウニ、三件ニ付テ分割的ニ此議會ニ提案セザリシ理由ニ付テ、本員ガ茲ニ總理大臣ニ伺ハントスルノハ、是ハ他ノ法案ト趣テ異ニシテ、我が帝國議會ノ直接審議權ニ重大ナル關係ヲ及ボス事柄デアアル、言葉ヲ換ヘテ申セバ、若シ政府所見ノ如ク之ヲ提出セザルニ於テハ、取モ直サズ我が帝國議會ノ審議權ヲ蹂躪スルコト、ナル案件デアリマス、就キマシテハ何ガ故ニ斯ノ如キ我が帝國議會ノ審議權ヲ蹂躪スル所見ヲ持シテ、現内閣ハ此臨時議會ニ臨ンデ居ルノデアルカト云フコトヲ御尋致ス、斯ノ如キ次第デアリマスカラ、先ヅ私ハ不提出ト決定シタ案其物ニ付キマシテ、如何ナルモノデアルカラ茲ニ冒頭ニ申上ゲル義務ガアルト心得ルノデアリマス、其不提出ノ緊急勅令ハ、閣カラ閣ヘ葬ラレテ居ル所ノ法律デアアル、未ダ本議場ニ於テ政府カラ此不提出ノ緊急勅令、重大ナル此緊急勅令ニ關シテハ殆ド一言半句モ説明スル所ナク、吾々議員ノ側ニ於テモ、未ダ之ニ就テ質問ナク、好ムガ爲デハナイ、吾々議會ノ一員ト致シマシテ、御互ニ斯カル重大ナル案件ニ付テハ之ヲ閑却スルコトハ、國民ニ對シテモ相濟マナイ所デアアルト思フノデアリマス、一體彼ノ戒嚴令、戒嚴令ト申スノデアリマスガ、是ハ言葉ノ使方ガ惡イノデ、本當ノ戒嚴令デハナイ、本當ノ戒嚴令ナ

ツタモノガ本當ノ戒嚴令デアリマシテ、今度ノ戒嚴令ノ如キハ、即チ戒嚴令ヲ適用シテ法律ニ依ツテ定ムベキ所ノ緊急勅令デアアルノデアリマス、此緊急勅令ノ内容ヲ見ルト 諸君モ既ニ御承知ノ如ク一定ノ地域ニ限リ別ニ勅令ノ定ムル所ニ依リ戒嚴令中必要ノ規定ヲ適用スルコトヲ得ト云フ規定ニナツテ居ル、而シテ此緊急勅令ニ基キテ、普通勅令ヲ以テ、戒嚴令ノ一部適用ノコトヲ定メタルノデアアル、其一部適用ノ法令中ニハ、即チ右ノ緊急勅令ニ依リ左ノ區域ニハ戒嚴令第九條及第十四條ノ規定ヲ適用スル、但シ同條中、司令官ノ職務ハ東京衛戍司令官之ヲ行フ、東京市、荏原郡、豊多摩郡、北豐島郡、南足立郡、南葛飾郡、斯ウ云フ規定ニナツテ居ル、デアリマスカラ、全體斯ノ如キ重大ナル緊急勅令ヲ發布スルニ當リマシテハ、ドウシテモ此緊急勅令其モノ、中ニ此重大ナル規定ヲ爲シ、斯ノ如キ地域ト竝ニ施行規則ニ關シマシテハ、之ヲ普通ノ勅令ニ讓ルト云フコトハ到底出來ナイコトデアアルノデアアル、斯ノ如キ見地カラ見ルナラバ、此戒嚴令一部適用ニ關スル緊急勅令ナルモノハ、憲法上違反ノ事柄ヲ規定シテ居ル緊急勅令ト見ル外ハナイノデアリマス、聞ク所ニ依ルト此戒嚴令一部適用ニ關シテ定メタ所ノ法式ハ、實ニ「ボーツマス」條約ノ騒ギノアツタ場合ニ、當時ノ政府ガ專斷ナル法律ノ規定方ヲ致シタノデアアツテ、今般其先例ヲ踏襲シテ、斯ノ如キ憲法上疑ハシキ規定ヲ爲シテ居ルモノト思ハレル、私ガ茲ニ質問セントスル所ノ彼ノ緊急勅令ニ關シテ、先ヅ其形式ヲ瞥見シタル所デ、既ニ憲法上斯ノ如ク疑ハシク、本員等ノ見ル所ヲ以テスレバ違法デアルト思ハレルヤウナ形式ノ勅令デアアルノデアリマス、而シテ此緊急勅令ガ發布セラレテカラ、震災地ニ於キマシテ此勅令發布ノ影響トシテ、如何ナル不祥事ガ起ツタカト云フコトハ、茲ニ喋々申スマデモナキ

事柄デアル、彼ノ甘粕事件ノ如キ、又自警團ノ暴行ノ問題ノ如キ、幾多人心ニ不安ノ念ヲ持タセタ所ノ其原因ヲ爲シタルモノハ、此戒嚴令一部適用ニ關スル此緊急勅令施行中ニ屬シテ居タルノデアリマス、而シテ此戒嚴令一部適用ノ緊急勅令ハ、去ル十一月十五日ヲ以テ、突如トシテ之ヲ廢止スルト云フ更ニ緊急勅令ヲ發布致シタルデアアル、其十五日ニ發布セラレタル當時ハ如何ナル時デアツタカト申セバ、此時ハ現ニ我が帝國議會召集令ガ發布ニナツタ後ニ屬シテ居ルノデアアル、此緊急勅令廢止案ガ樞密院ニ廻リマシタ際ニ於テ、樞密院ト政府トノ間ニハ色々經緯ガアツテ、色々ノ質問應答ガアツタト云フコトデアアル、本員ノ仄聞スル所ニ依ルト、先ヅ樞密院側ニ於テハ此廢止案ニ對シ三ツノ質疑ヲ發シタト云フコトデアアル、第一ニハ戒嚴令一部適用廢止後ニ於ケル震災地域ノ保安ノ點ハ如何デアアル、現ニ此向寒ノ季節ニ際シテ、震災民ガ寒氣ト飢餓ニ泣クガ如キ虞ハナシカ、又政府及民間ノ事業ガ縮小ノ結果、失業ノ者ガ激増スル虞ハナシカ、又思想ガ險惡ニ向フ傾向等モ懸念セネバナラナイ、故ニ今少シ形勢ノ推移ヲ見テ、臨時議會マデ之ヲ存續スベキモノデナイカドウカト云フコトガ第一ノ質問デアツタト云フコトデアアル、第二ニハ此緊急勅令ハ最近ノ帝國議會ニ提出セナイデ、緊急勅令ヲ以テ廢止スルト云フコトニ、先例ガ敢テ無イノデハナイケレドモ、憲法上議論ノアル所デアツテ、其先例ハ甚ダ好マシカラナイ先例デアアル、又戒嚴令施行ニ關スル緊急勅令ハ憲法第八條ノ要項ヲ備ヘテ居ルコトハ明カデアアル、廢止ノ緊急勅令ガ果シテ憲法第八條、即チ公安維持、議會召集不能ノ要件等ヲ備ヘテ居ルヤ否ヤ、大ナル疑問デアアル、殊ニ今回ハ臨時議會ノ召集モ既ニ其日取ヲ決定シテ居ルデハナイカ、今日強テ此緊急勅令ヲ廢止スル必要ハ無

イデヤナイカト云フ議論ガ第二點デアツタト云フコトデアアル、第三ニハ、政府ハ此廢止シタル緊急勅令ヲ臨時議會ニ提案スルノデアアルカドウデアアルカ、此三點ガ樞密院デ大ニ議論トナツタ所デアラウト思フ、之ニ對シテ政府ノ答辯致シタル所ハ、先ヅ此緊急勅令ヲ以テ先ノ緊急勅令ヲ廢止スルト云フコトハ專ラ先例ニ基クモノデアツテ、學說上モ差支ナイモノデアルト思フ、又目下戒嚴令ヲ廢止致シテモ、前途不安ノ念慮ハ有セナイノデアアル、次ニ此緊急勅令ヲ臨時議會ニ提案スルヤ否ヤハ未ダ決定シタル意見ヲ持タナイノデアアル、斯ウ云フ答辯ニ依リマシテ、樞密院ハ兎モ角モ之ニ對シテ承認ヲ與ヘテ、結局先ノ戒嚴令一部適用ニ關スル緊急勅令ハ廢止ニナツタト云フコトデアアルノデアリマス、是ニ於テカ此緊急勅令ヲ廢止スルノニ緊急勅令ヲ以テスルノハ、如何ナル憲法上ノ理論ニ基クノデアアルカト云フ疑問ヲ起ササルヲ得ナイノデアリマス、憲法ノ第八條ニ依リマスルト、本員ガ申ス迄モナク公共ノ安寧ヲ維持スル爲メ、緊急勅令ヲ出サナケレバドウシテモ收マリガ付カナインノデアアルカラト云フコトデアアル、贊ヲ經ルニ不可能ノ狀況ニアル場合ニ於テ、之ヲ政府ニ許シテ居ルノデアリマス、然ルニ此緊急勅令ノ廢止勅令ナルモノハ、其當時果シテ此條件ヲ充タシテ居ルカドウカト云フナラバ、寧ろ是ハ充タシテ居ナイ所ノ緊急勅令ト言ハザルヲ得ナイ、斯ノ如ク先ヅ出發點ニ於テ、先キノ緊急勅令ヲ以テ戒嚴令一部適用ノ勅令ヲ發シテ居ル、其勅令ヲ當議會ニ提案シナケレバナラナイ所ノモノデアルト云フ議論、次ニ之ヲ廢止スルニ至ツタル緊急勅令ハ、果シテ緊急勅令トシテ取扱ツテ宜シイ勅令デアツタカドウカト云フ問題ガ、十分ニ此勅令自體ニ於テ、既ニ議論ノアリ、疑ノアリ、違法ノ嫌ノアル勅令デアリマス(學校

ノ講堂デヤリ給ヘルト呼フ者アリ)議會ノ權限ニ關スル問題ダ、權限ニ關スル問題デ諸君ノ爲ニ吾輩ガ辯ジテ居ルノダ——斯ノ如ク違法ノ疑アリ、議論ノアル所ノ緊急勅令自體其モノガ既ニ布カレ、然ルニ政府ハ此違法ノ嫌ノアル所ノ緊急勅令全部ヲ我が帝國議會ニ付議セズシテ——我が帝國議會ニ提案セズト閣議ヲ決定致シテ居ルト云フコトデアアルノデアアル、而シテ其理由トスル所ヲ聞クノニ、先ヅ其不提出ノ理由ト致シテハ、既ニ從來ノ政府ニ於テ先例ノアル所デアアル、又憲法上ノ純理論ト致シテモ、提出スベキヤ提出スベカラザルヤト云フコトニ付テハ、五分々々ノ論據ガアルノデアアル、斯ノ如キ次第デアアルガ故ニ、今政府ガ此廢止緊急勅令ヲ提案セズト雖モ、政府ニ於テハ其提案セザリシ所ノ緊急勅令ガ、若シ不都合ナモノデアツタトスルナラバ、宜シク帝國議會ハ此宜シクナカツタ勅令デアルト云フ故ヲ以テ、政府ハ十分ニ責任ヲ負フモノデアアル、決シテ不提出ノ爲ニ政府ガ責任ヲ回避スルモノデハナイノデアアル、一體此緊急勅令ヲ提出シナイト云フ爲ニハ政府ハ決シテ責任ヲ回避スルモノデハナイノデアアル、斯ウ云フ其三箇ノ理由ニ基イテ不提出ヲ聲明致シテ居ルノデアリマス、所デ吾々ノ考フル所ニ依リマスルナラバ、第一番ニ此憲法上ノ議論ニ致シマシテ、五分々々ノ議論ガアルナドト云フコトハ、是ハ本當ト小理窟ヲ言フ所ノ似テ非ナル憲法論者ノ議論デアアル、一體其憲法デハ言フ迄モナク、立法事項ト勅令事項ハ定マツテ居ルノデアアル、故ニ緊急勅令ハ從來多クノ學者ノ言ウテ居ルガ如ク、是ガ假リノ法律デアアル、一時的若クハ暫定的ノ法律デアアル、此假法律、一時的法律、暫定的法律ト云フ此名稱自體デ明カデアアルガ如ク、此緊急勂令ニ規定スベキ事項ガ、帝國議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラナイ事項デアルト云

フコトハ、ドンナ憲法學者デモ之ニ反スル論議ヲ爲スコトハ出來ナイノデアル、全體我ガ帝國議會ハ立法府デアル、立法ノ機關デアル、此立法ノ機關デアルト云フコトハ、同時ニ政府ノ行政ヲ監督スル所ノ權限ヲ持ツテ居ルノデアル、是ハ殆ド異論ノ無イ所デアル、彼ノ豫算ノ審議(要領ヲ質問シ給ヘト呼フ者アリ)豫算ノ審議若クハ決算ノ審議ノ如キハ、是ハ明ニ政府ノ行政ヲ監督スルガ故ニ、斯ノ如キ權限ヲ有シテ居ルノデアル、若シ議會閉會中ニ政府ガ豫備金支出ヲ爲ス場合ニ於テハ、必ズヤ是ガ事後承諾ヲ議會ニ提案シナケレバナラナイ、丁度ソレト同ジコトニ、法律ノ審議權ニ至リマシテモ、議會閉會中ニ法律ヲ以テ規定シナケレバナラナイ所ノ事項ニ付テ、政府ガ一時的、暫定的ノ法律ヲ發布シタトシタナラバ、議會開會即時ニ其假法律ヲ提案致シテ、議會ノ承諾ヲ得ル手順ヲ爲サナケレバナラナイ、是ハモウ憲法上議論ノ餘地ノ無イ所デアル……

○議長(粕谷義三君) 原君、成ベクドウゾ質問ノ要點ヲ……

○原夫次郎君(續) 憲法第八條ノ第二項ノ末ノ文字ニ拘泥致シマシテ、若モ將來ニ效力ヲ存續セシメザラント欲スル所ノ、此既ニ廢止ニ歸シタル所ノモノニ付キマシテハ、議會ニ承諾ヲ求メテモ何モ效力ハ無イデヤナイカト云フヤウナ議論ハ、是ハ所謂憲法第八條ノ第二項ノ文字ノ末ニ拘泥シタル議論デアツテ、憲法ノ全體ノ趣旨ヲ沒却シタル議論ト言ハナケレバナラナイト思フノデアリマス、一體緊急勅令デモ、法律案デモ、是ガ發布ヲ爲セバ同時ニ效力ヲ存スルト云フコトハ自明ノコトデアル、緊急勅令ノ如キモ既ニ之ヲ發布スルニ當リマシテ、發布スル迄ニ憲法第八條ノ第一項ノ條件ニ適合シタルモノデアルカドウカト云フコトヲ此帝國議會デ審查スル所ノ權限ヲ持

ツテ居ルノデアル、其緊急勅令ガ發令ニナリマスルナラバ、其結果トシテ效力ガ持續シマスノハ、其法律ヲ廢止スル迄ハ當然效力ヲ存續スベキハ明カデアル、ソレ故ニ此論法ヲ引延バサナラバ、帝國議會ト致シマシテハ、緊急勅令ヲ發令スルニ至リタル其要件ヲ、果シテ充タシテ居ルモノデアルカドウカト云フコトノ審議權ハ、非常ナル必要ノ問題デアリマシテ、此發令ガ目下公布セラレタ後ニ其效力ガ存續スルカ否ヤト云フ問題ニ至ツテハ、是ハ別問題ト言ハザルヲ得ナイ、(簡單)「分ツタ」ト呼フ者アリ)又緊急勅令不提出ノ場合ニ於テ、政府ガ當然責任ヲ負フベキモノデアルナラバ、責任ハ敢テ回避スルコトヲ爲サナイ、此議論ハ是ハ此場合ニ適應スル問題デハナイ、何トナレバ我ガ憲法ノ條章ニ照シテモ、又公式令ノ第一條ニ照シテモ、苟モ政府ガ緊急勅令ニ副署ヲ爲シテ居ル以上ハ、其副署ノ結果トシテ大臣責任論ガ起ルノデアル、大臣ハ其副署ニ依ツテ責任ヲ負フベキモノデアル、何ゾ之ヲ不提出ノ理由ニクツ付ケテ責任問題ヲ持出ス如キニ至リマシテハ、是ハ此場合ノ議論トシテハ相應ハシキコトデハナイノデアル、最後ニ不提案ノ理由ト致シテ居ル先例ノ問題デアル、此先例ニ付キマシテハ、本員等ノ解スル所ニ據レバ、既ニ此先例ナルモノハ明治四十三年ノ帝國議會ノ議ニ依リマシテ、既ニ打切トナツテ居ル所ノ先例デアルト存ジテ居ルノデアリマス、明治四十三年、第二十六帝國議會マデニ於キマシテハ彼ノ藩閥內閣、若クハ官僚內閣ガ盛ニ續イテ、其結果イツモ政府ノ御都合ノ好イヤウナ議論ヲ以テ、此緊急勅令ノ不提出論ヲ固執致シタルノデアル、是ハ藩閥內閣ノ遺物デアッタノデアル、所デ明治四十三年、第二十六帝國議會ニ於キマシテ、最モ甚キハ當時發布セラレテ居ツタ所ノ法律ヲ緊急勅令ヲ以テ廢止致シテ、其廢止ノ緊急勅

令ヲ我ガ帝國議會ノ議ニ付セナカツタ重大ナル案件ニ到著致シタルノデアル、當時我ガ帝國議會ニ於キマシテハ、政友會ノ鳩山和夫君外四名ノ者ガ首唱致シマシテ一ツノ決議案ヲ提出致シテ居ル、其決議案ハ滿場一致ヲ以テ本院ヲ通過致シテ居ルノデアル

○議長(粕谷義三君) 原君重ネテ御注意ヲ致シマス、成ベク質問ノ要旨ヲ簡單ニ御述ヲ願ヒマス

○原夫次郎君(續) 其決議案ハ——滿場一致ヲ以テ本院ヲ通過致シマシタル所ノ其決議案ハ、即チ「政府ハ憲法第八條第二項ニ基キ廢止シタル緊急勅令ヲ速ニ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムヘキモノトス」斯ウ云フ決議ニナツテ居ル、サウシマスルト云フト、爾來茲ニ十有三年ノ間未ダ曾テ斯ノ如キ不詳事ヲ來シ、斯ノ如ク我ガ帝國議會ノ審議權ヲ蹂躪セラレタルコトハナイノデアル、然ルニ今回突如トシテ此山本內閣ノ爲ニ、再ビ斯ウ云フ非立憲ナル事ヲ繰返サル、ニ至リマシテハ、吾帝國議會ノ員ニ具ハル者ニ於キマシテハ、到底是ハ默過スルコトノ出來ナイ問題デアル、決シテ是ハ一政黨政派ノ問題デハナイ、實ニ吾々ノ審議權ノ重大ナル權利ニ屬シテ居ル問題デアル、政府ノ所謂先例ナルモノハ既ニ申ス如ク、曩ニハ伊藤內閣、次ニ山縣內閣、桂內閣、今回ノ山本內閣、是等何レモ國民ヲ超越シタル所ノ官僚內閣ニ於テ、兎角斯ノ如ク我ガ帝國議會ノ審議權ヲ蹂躪セントスルガ如キ非立憲ノ舉ニ出ヅルノデアル、吾々ハ此場合ニ於テ何處迄モ我ガ帝國憲法政治ノ爲ニ、又我ガ國家ノ福利ノ爲ニ何處迄モ此點ハ追窮シ、何處迄モ此點ヲ問ヒ質シテ、而シテ我ガ帝國議會ノ地位ヲ保持シナケレバナラヌ問題デアルト思フ、斯ノ如キ次第デ先例々々ト言フクレドモ、政府ノ言フ所ノ先例ハ、ソレハ自分等ノ方ノ先例ニ過ギナイデ、今日憲法政治ガ

行ハレ來ツテ居ル其歴史ニ徴シテ、斷ジテ斯ノ如キ事ヲ先例ト申ス譯ニハイカナイ、既ニ四十三年ニ當リマシテ立憲政治ノ運用ニ任ジテ居ル所ノ我ガ帝國議會ノ衆議院ニ於テハ、滿場一致ヲ以テ之ニ對スル院議ヲ定メテアル、即チ先例ト異ナル所ノ打切ノ先例ガ既ニ決議シテアルノデアル、政府ハ和衷協同ノ精神ヲ持スルナラバ、我ガ立憲政治ノ運用ヲ滑カニセントスル誠意ガアルナラバ、何故ニ此院議ヲ尊重スルコトナクシテ、今回更ニ官僚內閣若クハ閣族內閣ノ遺物ヲ捉ヘ來ツテ、茲ニ再ビ憲政ノ逆轉ヲ爲サントスルノデアルカ、本員等ハ此點ニ向ツテ怪訝ニ堪ヘナイノデアル(簡單ト呼フ者アリ)以上申述ベタ所ニ依リマシテ、政府ガ聲明致シテ居ル所ノ不提出ノ理由ナルモノハ既ニ之ヲ打壞シタコト、思フ、政府ノ斯ノ如キ不提出ノ理由ハ、想フニ本當ノ理由デハナクシテ、前ニ申述ベマシタ如ク、此不提出ノ勅令中ノ陰ニ潜シテ居ル所ノ色ニナル不祥事ガアルノデアル、色ニナル不祥事ヲ世間ニ曝ケ出スコトヲ困難ト致シテ、而シテ此憲法第八條第三項ノ法文ノ陰ニ隠レテ、唯、自己ノ都合好キ政策ヲ遂行センガ爲ニ、十有六件ノ澤山ナル勅令中、最モ都合ノ惡キ此勅令ノミヲ不提出ナシテ、而シテ我ガ國民ニ對シテ是等ノ點ハ閣カラ閣ニ葬リ去ラシメントスルノデハナイカト云フコトヲ疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、從來山本內閣ハ所謂誠意內閣ト云フコトヲ標榜致シテ居ル、又此山本內閣ノ閣員デアル所ノ、犬養遼相ノ如キニ至リマシテハ、現ニ此四十三議會ニ於キマシテ、院議ヲ以テ定メタ場合ニ於テハ、當然此院議ヲ尊重シテ居ル所ノ議員ノ一人デアッタノデアル、既ニ犬養遼相ノ這入ツテ居ル所ノ山本內閣ニ於テ、斯ノ如キ我ガ帝國議會ノ審議權ヲ蹂躪スルガ如キ舉ニ出ゾルト云フコトハ、洵ニ怪シカラナイ事ト申サバルヲ得ナイ、吾々ノ眼ヲ

以テスルナラバ、一體此議會ニ於キマシテモ、吾政黨員ノ側ニ於キマシテモ、只今私ノ述ブルガ如キコト、苟クモ議會ノ審議權ニ屬スルガ如キコトハ、是ハ第一著ニ先ツ定メテ置カケレバナラナイ事柄デアルト思フ、其他ノ問題ノ如キ、物質上ノ問題ノ如キ事柄ニ至リマシテハ、是ハ宜シク其時々ノ政策ニ出ゾル問題デアリマセウ、ケレドモ既ニ我ガ帝國議會ノ審議權ヲ蹂躪セラル、ガ如キニ至リマシテハ、何トシテモ此點ハ御互ガ是ノ憲政ノ賊トシテ何處マデモ是ト齟齬セザラ得ナイ、既ニ我ガ帝國議會ニ於キマシテモ、此故ヲ以テ先輩諸子ガ盛ニ此點ニ向ツテ論議セラレタ所ノ問題デアアル、然ルニ今日ノ有様ハ如何デアリマヒウカ、各政黨ノ領袖諸君モ隨分色ニナリ問題ニ向ツテ御奔走ニナツテ居ルモノデアル、併ナガラ吾ガ此帝國議會ノ見地カラ申シ、立憲政治ノ本義カラ申スナラバ、一體是等ノ問題以外ノ問題ノ如キハ、極メテ小サナ問題デアルト思フ、先ヅ自己ノ領域ヲ定ムルコトナクシテ、自己ノ領域ニ他人ノ侵襲スルノヲ防ガズシテ、唯、末ニ走ツテ末ノ議論ヲ爲スダケノコトデハ、我ガ立憲政治ノ前途ハ洵ニ憂フベキデアルト思フ、是等ノ點カラ考ヘマスナラバ、吾々ノ見ル所ヲ以テシタナラバ一體彼ノ政權爭奪ノ如キ問題ハ、是ハ問題中ノ小問題デアリマシテ、今日山本內閣ノ實現其モノ、山本內閣ノ現出シタルコトソレ自體ガ、既ニ吾々帝國議會ヲ侮辱シタモノデアツテ、吾々帝國議會ノ意氣地ナサヲ慨歎致サケレバナラナイ時デアアル、既ニ多數黨ガ微乎トシテ存スルニ拘ラズ諸外國ノ例ニ倣ハス、議院政治ガ逆轉シツ、アル超然內閣ガ出現シ、官僚內閣ガ出現シテ更ニ色ノ權勢ヲ極メテ居ル今日デアル、然ルニ是等ノ橫暴ハ棚ニ上ゲテ置イテ色ノ物質上ノ論議ノミヲ致スト云フコトハ、吾々院ノ一員ト致シマシテ概

歎致シテ居ルノデアル、此不提出ノ問題中ニハ、今般ノ復興事業ニ關スル物質的、經濟的復興ノ外ニ、大ニ精神的復興ノ方面ニ於テモ論議致シテ、御詔勅ノ御趣意ニ報イタイト云フ希望ヲ有シテ居ルモノガアル然ルニ拘ラズ是等ノ吾々ノ帝國議會ノ當然執ルベキ特權ニ關シテ、一大蹂躪ノ事實ガアリトスルナラバ、之ニ向ツテハドウシテモ吾々ノ更ニ院議ヲ以テ政府ニ迫マルカ、更ニ提出ヲ致シテ居ル所ノ各緊急勅令案、此點ニ向ツテ解決ガ出來ナケレバ大ニ考慮ヲ費サナケレバナラナイ所ノ問題モ數ニアルト思フノデアリマスカラ、本員ハ此點ニ向ツテ總理大臣ニ對シテ相當ナル御答辯ヲ類ハシタイト思フ、本員ノ見ル所ヲ以テスルナラバ、是ハ唯、單ナル憲法上ノ法理論ノミデハナイ、現內閣ノ取ツテ居ル所ノ重大ナル政策デアツテ、是等ノ事柄ハ唯、一法制局長官ノ理窟上ノ問題トシテ御答辯ヲ求メルモノデハナイ、宜シク十分ナル責任ヲ有セラル、所ノ內閣ノ人ニ依ツテ、解釋セラルベキ問題デアリマスガ故ニ、何卒總理大臣ノ此點ニ關スル答辯ヲ得タイノデアル(無用々々ノ簡單簡單ト呼フ者アリ)若シ之ヲ單純ナル憲法上ノ法理論トシテ考ヘルナラバ、法制局ノ參事官ノ諸君ノ如キ人ハ何レモ此內閣ノ閣議ニハ反對デアルト思フ、併ナガラ既ニ閣議ヲ以テ決定シ、之ヲ法制局ニ傳ヘ、法制局ヲシテ之ニ對シテ何トカ理窟ヲ付ケテ吳レト云フコトデアルナラバ、先程申シタヤウニ或ハ先例ヲ持ツテ來ル、或ハ五分々々ノ議論ヲ持ツテ來ル、或ハ責任問題等ヲクツ付テ之ヲ糊塗セジトスルノデアルケレドモ、苟モ是等ノモノハ理論上ノ理論、即チ常識ト合致スル所ノ理論デ、能ク分ル問題デアアル、如何ニ總理大臣ガ法律ヲ知ラナイト云ウテモ、斯ノ如キ法理論ナルモノハ、是ハ憲法上ノ「イロハ」ニ過ギナイノデアル、若

シ何處迄モ何處迄モ山本内閣ガ此不提出ノ意見ヲ有スルナラバ、本員ノ如キハ一體此山本内閣ノ如キモノハ、立憲政治ノ名ニ於テ專制政治ノ實行ハントスルモノデアルト申シマシテモ、決シテ過言デハナイト思フ、要スルニ本員等ハ、山本總理大臣ノ此點ニ關スル御答辯ヲ得タ上デ、即刻若クハ近キ將來ニ於テ、我が院議ヲ決定スベキ一大決議案ノ提出ヲ致サント欲スル者デアリマス

〔政府委員松本善治君登壇〕

○政府委員(松本善治君) 只今ノ御質問ハ、事憲法ノ解釋ニ關シマスル極メテ重大ナル問題ト思ヒマスルカラ、出來得ル限り詳ニ御答ヲシタイト思ヒマス、若シ漏レマシタ事ガゴザイマシタナラバ、重ネテ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、原君ノ大體ノ御趣旨ハ、既ニ效力ヲ保續セザル緊急勅令ヲ、何ガ故ニ議會ニ提出セザルヤト云フコトニアツタカト思ヒマスルガ、又同時ニ政府ノ所見ヲモ同時ニ御辯明下サツタヤウデアリマスルノデ、餘リ澤山ノ言葉ヲ此點ニハ費ス必要ハナイカト思ヒマス、唯、原君ハ此不提出ノ緊急勅令中、第三百九十八號及第四百七十八號、即チ所謂戒嚴令ナルモノト、是ガ廢止ノ勅令ニ付キマシテ、憲法上ノ疑義ヲ御質問シナツタヤウニ思ヒマス、是ハ決シテ原君ノ御質問中ノ岐路デハナイ、脇路ヘ這入ツテ譯デハナカッタラウト思フ、是ハ議會ニハ政府ハ提出ヲ致シテ居リマセスガ、此勅令ニ付キマシテ、勿論、政府ハ責任ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、此點ニ關シテノ御質問ハ、恐ラクハ岐路デハナカッタラウト思ヒマスルノデ、之ニ就テ先ヅ御答ヲ致シマス、原君ハ所謂戒嚴令ノ緊急勅令ハ、施行ノ一適用ノ地域等ニ付キマシテ、總テ勅令ノ定ムル所ニ依ルト書イテ居ル、是ハ違法デハナイカト云フ御質問ガアツタヤウニ思ヒマスルガ是ハ所謂委任勅令ナルモノデアリマシテ、勅令ニ

法律又ハ法律ニ代ルベキ緊急勅令ガ其細密ノ規定ヲ委任スルコトハ、屢々アルコトデアリマシテ、此例ヲ一々舉ゲル必要ハナイト思ヒマス、別ニ違法ナルコトハ毫モナイト思ヒマス、而シテ原君ハ其委任ヲ受ケタ勅令ノ例トシテ、第三百九十九號ヲ御舉ゲニナリマシタガ、此以外ニ第四百一號及第四百二號ト云フ勅令モ出テ居リマシテ、時宜ニ應ジマシテ、所謂戒嚴令ノ適用ノ地域ヲ變更スル、或ハ之ヲ擴張シ、或ハ之ヲ縮小スルト云フ必要ガアリマス、此際ニハ極メテ敏速ナル作用ヲ要スルノデアリマス、從テ一々此地域ヲ綿密ニ一ツノ緊急勅令ニ定メマスルト、極メテ固定的ノモノニナリマシテ、此伸縮自在ト云フコトガ出來マセス、此種ノ法律ノ性質トシマシテハ、極メテ敏速ニ適用ノ地域ヲ變更シナケレバナラヌコトガアリ得ルコトハ言フ迄モナイ、隨テ斯ノ如キコトヲ勅令ニ委任シテ居リマスルノハ、極メテ宜シイ立法デアル、違法ニアラザルノミナラス、極メテ宜シイ立法デアルト思ツテ居リマス、此點ハ原君ト所見ヲ異ニスル次第デゴザイマス、次ニ原君ハ此緊急勅令ヲ廢止致シマシタル緊急勅令、即チ第四百七十八號ニ付キマシテ、種々此樞密院會議ノ模様等ノ御話ガアリマシタガ、此會議ノ模様ニ付キマシテハ、一々御答ヲスル限リデアリマセスガ、私ノ現ニ知ツテ居ル所ハ餘程話ガ違ツテ居リマス、併シ其事ヲ一々述べル必要ハナイノデ、原君ノ御問ハ恐ラクハ緊急勅令ヲ廢スルニ緊急勅令ヲ以テシタ場合ニ於キマシテ、此後ノ緊急勅令ハ憲法第八條ノ要件ヲ具フルモノデアアルカドウカト云フコトニアツタカト思ヒマス、デ憲法第八條ハ「公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ災厄ヲ避クル爲」トアリマス、緊急勅令ヲ廢止スルガ如キ勅令ハ、公共ノ安全ヲ保持スルモノト云フヤウナ御問デアツタカト思ヒマスガ、抑、此戒嚴令中ノ必要ノ規定

ヲ適用シマスルト云フ緊急勅令ハ、非常時ニ於ケル非常手段デアリマス、斯ノ如キ非常手段ヲ執ル必要ガナイ、既ニ平時ニ近キ場合ニ復シタ、此場合ニ於キマシテ尙ホ此非常手段ヲ用ヒテ居リマスト云フコトガアリマスレバ、是ハ公共ノ安全ヲ保持スル所以デナイト云フコトハ、當然デアラウト思ヒマス、即チ軍規ノ上カラ申シマシテモ、警察ノ威信カラ申シマシテモ、總テノ點ニ於キマシテ非常手段ヲ要セザル場合ニ非常手段ヲ行フト云フコトハ、公共ノ安全ヲ保持スル所以デナイノデ、安全ヲ保持スル所以デアラウト思ヒマス、此意味ニ於キマシテ此廢止ノ緊急勅令ハ、立派ニ憲法第八條第一項ノ要件ヲ具ヘテ居ルモノト考ヘルノデアリマス、次ニ原君ハ豫算外又ハ豫算超過ノ支出ノ如キ、之ヲ議會ニ提出シテ承諾ヲ求ムルノデアル、緊急勅令モ亦同ジク承諾ヲ求ムベキモノ、將來ノ效力ト云フコト、關係ナク提出スベキモノデアルト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ非常ニ性質ガ違フト思ヒマスルノデ、豫算外又ハ豫算超過ノ支出ノ如キハ、一ノ處分デアリマシテ、既ニ效力ヲ發揮シ終ツタコトデアリマス、是ハ議會ニ提出シテ承諾ヲ求ムル、其承諾タルヤ、即チ單純ナル承諾デアアル、併ナガラ緊急勅令ニ至リマシテハ、其效力ハ將來ニ保續サルベキ、或時ノ間效力ヲ持ツ所ノ法規デアリマスカラ、之ヲ將來ニ效力ヲ保續セシムベキヤ否ヤト云フコトニ付テ、承諾ヲ求ムルコトガ必要デアリマシテ、憲法第八條第二項ニ「若シ議會ニ於テ承諾セサルトキハ政府ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フコトヲ公布スヘシ」トアリマスノハ、將來ニ於テ效力ヲ保續セシムル必要アルヤ否ヤニ付テ議會ガ御審議ニナリマシテ、御承諾ニナルカナラヌカヲ決メラレルト云フ趣意ニ外ナラヌト思ヒマス、若シ此所謂承諾ナル

モノガ、同時ニ政府ノ責任ヲ解除スルト云フ意味ヲモ持ツト云フコトニ致シマスレバ、此二ツノ條件ハ常ニ爾立シ得ルモノトハ言ヘナイノデアリマス、例ヘバ緊急勅令ノ發布ノ場合ニ於キマシテハ極メテ適法デアツタ、政府ノ責任ハ無イ、併シガラ將來ニハ效力ヲ保シセシムル必要ガ無イト云フヤウニ、議會ガ御認メニナリマシタ時ニハ、議會ハ如何ニサレカ、若シ承諾ヲサレナイ、將來ノ效力ノ保シヲ要サナイカラ、將來ニ效力ヲ保シサセナイト云フ趣意デ御承諾ニナリマセスト云フコトニナリマス、責任ノ無イノニ政府ノ責任ヲ問フト云フ結果ガ生ズル(ノウ)反對ニ若シ其場合ニ承諾ナスル、即チ責任ヲ解除スル爲ニ承諾ナスルト云フコトニナリマス、保シスベカラザル勅令ヲ將來ニ保シセシムルト云フ效力ヲ生ズル譯デアリマス、即チ此承諾、不承諾ト云フコトハ、將來ノ效力ノ保シノ爲メノ承諾デアル(ノウノウ)ト云フコトニ解スル以外ニハ、解シヤウガナイノデアリマス、(ノウ)勿論學說ヲ致シマシテ、此點ニ付キマシテハ反對說ノアルコトハ言フデモナイ所デアリマス、此學說上ノ當否ト云フコトヨリモ、政府ハ主トシテ先例ニ重キヲ置イテ居ルト云フコトヲ述ベマシタ、其事ハ原君ガ代テ既ニ辯明ヲシテ下スツタノデアリマスガ、唯、原君ハ第二十六議會ニ於ケル衆議院ノ決議ナルモノハ、即チ今回ノ場合ニ於ケル政府ガ不提出ヲシタコトハ、兩立出來ナイ所ノ決議デアル、即チ政府ハ院議ヲ尊重セザルモノデアルト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ全然間違ツテ居ルコトデアリマスカラ、此點ニ付テ事實ヲ御話シナケレバナラヌノデアリマス、第二十六議會ニ於キマシテ、當時ノ政府ガ提出シマセデシタ所ノ緊急勅令ハ、即チ法律ヲカシタ所ノ緊急勅令デアリマス、法律ヲ廢シタ所ノ緊急勅令ニ付

キマシテハ、色々ノ議論ガアリマスガ、寧ろ多數ノ說ニ依リマスレバ、此緊急勅令ハ、議會ノ承諾ヲ條件トスルモノデアル、若シ議會ガ此緊急勅令ヲ承諾シナカツタ時ニハ、法律ガ其效力ヲ復活スルモノデアル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、法律廢止ノ緊急勅令ハ(簡單)簡單ト呼フ者アリ、單ニ法律ノ效力ヲ中止シテ居ルマデニ過ギナイト云フ說ガアリマス、是ハ憲法義解其他多數ノ著書ガ此說ヲ採ツテ居リマス、當時此決議ノ際ニ、提案者ノ鳩山和夫氏ガ述べラレテ居リマス、即チ法律ヲ廢シテ居ル所ノ緊急勅令ハ、將來ニ於テ效力ノ保シニ付テ問題ナル緊急勅令デアアル、斯ノ如キモノヲ提出シナイコトハ不都合デアルト云フ意味ノ説明ヲサレテ居ル、其意味ニ於テ此決議ハ出來テ居ル、即チ法律廢止ノ緊急勅令ヲ提出セザルコトハイケナイト云フコトヲ言ツテ居ラレルノデアリマス、今回ハ法律ヲ廢シタヤウナ緊急勅令ヲ提出シナイト云フコトハ、一ツモシテ居リマセヌ、全然違フノデ、之ヲ以テ先例ト云フコトニ御取リナツタノハ、事實ニ於テ全ク誤ツテ居ルノデアリマスカラ、一言辯明シテ置クノデアリマス、尙ホ原君ハ此提出不提出ヲ議スルニ當ツテ、法制局ニ於テ總テノ參事官ガ反對デアツタトカ、色々ノ御話ガアリマシタガ、何處デ御聞キニナツタカ知リマセヌガ、私ハ其長官トシテ知ツテ居ル所ニ依リマス、決シテ左様ナコトハナイ、學說トシテ勿論兩方ノ說ハアリマシタガ、併ナガラ多數ハ此不提出ノ先例ニ從フコトヲ可ト認メテ居ルノデアリマス、又是ハ決シテ閣議ヲ決メラレテ法制局ヲ強要シタコト云フヤウナコトハナイ、私ガ寧ろ發案ヲシマシテ、閣議ヲ乞ウタノデアリマスカラ、此點ハ一言辯明シテ置キマス

○議長(粕谷義三君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○高見之通君 木案ハ政府提出、震災ニ因リ租稅ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案外一件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス 仍チ動議ノ如ク決シマス

○岩崎勲君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ第一號、大正十二年度歲入歲出總豫算追加案、追第一號、豫算外國庫ノ負擔ナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件、第二號大正十二年度歲入歲出總豫算追加案、案及特第一號、大正十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案ヲ一括議題トシテ、本豫算委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍チ動議ノ如ク決シマシタ、即チ日程ハ變更セラレマシタ、仍チ茲ニ第一號、大正十二年度歲入歲出總豫算追加案外三案ヲ一括シテ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メマス、豫算委員長山本佛二郎君

(第一號)大正十二年度歲入歲出總豫算追加案(追第一號)豫算外國庫ノ負擔ナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

(第二號)大正十二年度歲入歲出總豫算追加案(特第一號)大正十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案 (委員長報告)

府縣ニ於ケル事業進捗上ノ都合ニ依リ年度内支出ヲ了スルヲ期シ難シ依テ本年度ノ支出殘額ヲ翌年度ニ繰越使用スルヲ要ス

報告書

一(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月十九日

豫算委員長 山本悌二郎

衆議院議長 柏谷義三殿

報告書

一(第二號)大正十二年度歳入歳出總豫算追加案右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月十九日

豫算委員長 山本悌二郎

衆議院議長 柏谷義三殿

報告書

一(特第一號)大正十二年度特別會計歳入歳出豫算追加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月十九日

豫算委員長 山本悌二郎

衆議院議長 柏谷義三殿

○山本悌二郎君

簡單ニ此四案ニ關スル豫算委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス、豫算委員會ニ只今迄付託サレタル議案ハ、總體デ六案デアリマスガ、其内四案ハ復興ニ關スル所ノ案、残り二案ハ火災保險ニ關スル所ノ豫算案デアリマス、此内復興ニ關スル豫算案四件ニ付テ實開討議ヲ行ヒマシタノデアリマス、豫算委員會ハ連日開會ヲ致シ

マシテ、精勵努力致シマシテ、漸ク本日ノ一時半ニ此四豫算案ニ對スル所ノ議決ヲ見ルコトヲ得タリデアリマス、此四案ノ中就中大正十二年度歳入歳出總豫算追加ノ第一號、即チ帝都復興院、帝都復興事業費、其他復興事業ニ關スル所ノ自治體ニ關スル貸付金、是等ニ關スル豫算ハ最も重要ナル豫算デアツタノデアリマス、之ニ關シマシテ實開討議ノ際ニ現ハレタル所ノ最も重要ナル一二ノ點ニ付テ茲ニ御報告ヲ致シマス、即チ此復興豫算、之ニ關スル財源、此點ガ最も各員ノ實問ノ焦點トナツタノデアリマス、政府ノ言フ所ニ依レバ、此豫算ニ提出致シテアル所ノ繼續費、事業費九億九千何百万圓ト云フモノ、外ニ、尙ホ將來復興ニ關係シテ豫算ヲ請求スベキモノヲ合算スレバ、先ヅ十五億見當デアラウト云フコトデアアルノデアリマス、之ニ對スル所ノ元利支拂ノ財源トシテ相當ノ計畫ヲ政府ハ樹テ、居ラレル、之ニ關シテ大正二十年度迄歳計ノ見込ヲ政府ニ於テモ提出サレタノデアリマス、然ルニ此政府ノ所謂元利支拂ノ財源ナルモノハ、將來漸次此災害ニ依ツテ打撃ヲ受ケタル經濟界ガ、回復スルニ從ツテ歳入ガ増加シテ來ル、此増加ヲ財源ト致シテアルノデアリマス、政府ハソレハ自然増收デハナイ、當然回復シテ收入ヲ増加スベキ、其收入ヲ見込シテアルノデアルト、斯様ニ申シテアルノデアリマス、併ナガラ委員ノ實問ニ依ツテ見マスレバ、委員ニ於テ頗ル憂慮シテ居ル點ハ即チ此點デアル、其名前ハ自然増收ト言ハウガ、或ハ回復増收ト言ハフガ、何レニシテモ將來ニ於テ起ルベキ歳入ノ増收ト云フコトヲ目的ニシテ居ル點ニ於テハ、毫モ軒輕ハナイノデアリマス、此將來ニ起ルベキ所ノ歳入ノ増加ト云フモノハ、實ハ當ニナルヤウナ、ナラヌヤウナモノデアルト見ナケレバナラナイノデアル、之ヲ唯一ノ財源トシテ、此十五億ノ計畫ヲ樹テルト云フコトハ、

如何ニモ不安心デハナイカ、斯様ナ心持ヲ以テ實問應答ガ行ハレタヤウデアリマス、殊ニ田川大吉郎君カラ斯様ナ實問ガアリマシタ、即チ政府ノ大正十三年度ヨリ大正二十年度ニ至ルマデノ概計表ナルモノヲ見ルト云フト、大正十三年度ニ較ベテ、大正二十年度ハ歳出ニ於テ一億圓餘ヲ減ジテ居ル從來ノ經驗、實驗ニ依ツテモ、將又常識上ノ判斷カラ致シテモ、國家ガ漸次發達スルニ從ツテ、歳出ハ常ニ漸次増加シテ來ルト云フコトヲ常トスルノデアアル、大正十三年度ノ歳出ト其六年ノ大正二十年度ノ歳出ト相同ジト云フコトデアツテスラモ、既ニ非常ニ不安ニ思ハナケレバナラナイ、然ルニ何事ゾ大正十三年度ノ歳出ヨリハ六年先キノ二十年度ノ歳出ノ方ガ一億少イナド云フヤウナ、斯様ナル見込ヲ立テ、ヤツタナラバ、大見當違ヒヲスルデアラウ(拍手)斯様ナル一方ニ於テ歳出ノ減少ヲ見積リ、而シテ一方ニ於テ大正二十年度ニ於ケマシテ、十三年度ニ較ベテ五千万圓許リノ歳入増加ヲ見積ツテアル、即チ歳出ニ於テ一億ヲ減ジ、歳入ニ於テ五千万圓ノ増加ヲ見テ、差引一億五千万圓ト云フモノ、是ガ即チ此十五億ニ對スル元利支拂ノ財源デアアルノデアルガ、如何ニモ是非非常識ナ立テ方デハナイカト云フヤウナ實問モアリマシタ、政府ハ之ニ對シテ、成程普通ノ歳計ノ數字ノミカラ見レバ、一億圓大正二十年度ニ於テ歳出ガ減少シテ居ル姿ニナツテ居ルケレドモ、併ナガラ元利支拂、即チ此十五億ニ對スル公債ノ元利支拂ト云フモノハ、其金額ヲ之ニ加算スレバ矢張大正十二年度ニ較ベタル大正二十年度ハ歳出ガ増加スルトモ見ラレルデハナイカト云フヤウナ答辯ガアリマシタ、併シ此答辯ハ田川君ノ實問ト相照ル甚ダ遠イモノデアツテ、全ク未ダ唯唯一條ノ言葉ノ綾ヲ以テ説明ヲシタト云フニ過ギナイヤウニ委員ハ聽イテ取リマシタ、ソレカラ復興豫算、今日提出サレテ居ル所ノモノ、是ガ果

シテ此金額ノ範圍内ニ於テ、此計畫シテアル所ノ事業ガ遂行出來ルノデアルカドウカ、將來ニ於テ此計畫ヲ實行セント欲スレバ、此現ニ豫算ニ見積ラレタル所ノ金額以上ニ、更ニ追加要求ヲスルト云フヤウナ場合ガ有ルノデアルカ、無イノデアルカ、斯様ナ質問ニ對シテ、政府ハ、兎ニ角政府ノ計畫ハ何モ彼モ合セテ十五億ノ公債ヲ募ツテ、之ニ對スル元利ノ支拂ヲスルト云フ、其範圍ニ於テ歲計ヲ立テ、アルノデアル、故ニ此十五億ヲ超過スルト云フコトハ許サヌノデアル、許サヌノデアルガ、併ナガラ事業ガ此金高ニ於テ果シテ遂行ガ出來ルカドウカト云ヘバ、政府ハ是ガ遂行ハ出來ル見込デアルト申スノデアル、斯様ナ答辯デアリマシタ——見込デアルト申スノデアル、左様ニ信ジテ居ルノデアルト云フ答辯以外ニハ、何等吾々ヲシテ安心セシムル程ノ説明ハナカッタノデアリマス、ソレカラ經濟復興ト云フコトニ付テ、矢張委員ノ諸君カラ質問ガ起ツタノデアリマス、政府ハ單ニ都市ノ外形ノ復興ニノミ没頭シテ居ルヤウデアラガ、罹災地ノ經濟上ノ復興ト云フコトニ付テハドウ考ヘテ居ルカ、更ニ進ンデ全國ノ復興發展ト云フコトニ付テハドウ考ヘテ居ルカ、今迄ハ少クモ此點ニ對シテ何等施設スル所ハ無イデハナイカ、斯様ナ質問ニ對シマシテ、大藏大臣ノ説明スル所ヲ見マスレバ、將來數箇年ニ、互ツテ、今回豫算ニ提出サレタル所ノ殆ド六億ニ近キ復興費ガ支出サレルノミナラズ、更ニ其以外ノ復興計畫ト云フモノガアツテ、結局十五億程ノ金ト云フモノガ、東京ヲ中心トシテ此罹災地ニ散布サレルノデアルカラシテ、此資金ト云フモノ、即チ取モ直サズ經濟復興ニ資スル所ノ資金ト看做シテ宜シイデハナイカ、特ニ政府ガ資金ヲ貸付ケルトカ、直接ニ援助ヲ與ヘルト云フ

ヤウナコトハ、餘リ必要ナイト考ヘルノデアル、又却テ弊ガアルト思フノデアル、公平ニ行カスト思フノデアル、斯様ナ説明ガアリマシタ、即チ一言以テ之ヲ掩ヘバ、大體ニ於テ政府ハ此復興計畫ニ依ツテ、罹災地ニ散布サレル所ノ資金、ソレガ即チ經濟復興ニ對スル所ノ資金ノ供給源泉デアアル、是レ以外ニハ政府ハ別ニ考ヘル必要ハナイ、尙ホ大藏大臣ノ説明ノ中ニハ、大體此一般ノ金融機關ヲ活動セシメテ、之ニ依ツテ經濟復興ノ資金ヲ供給スルト云フコトガ、最も自然ノ途デアアルノデアル、政府ガ直接ニ低利資金ヲドウスルトカ、興業銀行ヲ通ジテドウスルトカ云フヤウナコトハ、寧ロ十分ニ、公平ニ、徹底的ニ行ハレナイト信ズルノデアル、要スルニ政府ハ此復興計畫ニ依ツテ散布サル、所ノ多額ノ資金、是レ即チ生産ニ資スル所ノ、生産ニ要スル所ノ資源ヲ供給スル所見テ貰ヒタイ、斯様ナ説明デアリマシタ、ソレカラ更ニ復興院ト御詔勅ノ關係ニ付テノ質問モアリマシタ、御詔勅ノ中ニ、此事變ニ際シテ其復興院ヲ圖ルガ爲ニ、特ニ機關ヲ設ケシメテ其審議調査ニ當ラシムルト云フ御言葉ガアルノデアリマス、政府ハ復興院ヲ以テ、此詔勅ニ仰セラレタル所ノ特別ノ機關トスルノデアルカ、斯様ナ質問ニ對シマシテ、後藤復興院總裁ハ、御詔勅ニアル所ノ審議調査ト云フ其御言葉ニ對シテ、復興院議會ハ即チ此審議ト云フ文字ニ該當スルモノデアアル、而シテ復興院ハ其次ノ調査ト云フ文字ニ該當スル所ノ機關デアアルト、斯様ニ説明サレマシタガ、山本總理大臣ハ後ヨリ稍、之ヲ訂正スル、或ハ緩和スルガ如キ意味ヲ以テ斯様ナ説明ガアリマシタ、御詔勅ニ於テドノ機關ヲ設ケル、ドレガ即チドノ機關デアルト云フヤウナコトヲ決シテ御指定ニ相成ツタ次第デハナイノデアル、此事變ニ際シ、其後ヲ善クスル爲ニ、臨機應變、適當ナ

機關ヲ設ケテ復興院ヲ圖レト云フ仰セト、斯様ニ了解シテ居ルノデアル、斯様ナ説明デアリマシタ、即チ此説明ニ依リマスレバ、必ズシモ復興院ガ動カスベカラザル、詔勅中ニ御指定ニ相成ツタ意味デナイト云フコトガ明ニ聲明サレタノデアリマス、其他復興計畫ノ詳細ニ互ツテ頗ル委細ヲ極メタ質問應答ガアリマシタガ、是ハ速記録ニ譲リマシテ、茲ニ御報告ヲ致スコトヲ省キマス、討論ニ入りマシテ修正案ガ二ツ提出サレマシタ、其一ハ政友會ノ島田俊雄君ヨリ提出サレタル所ノ修正案デアリマス、此修正案ニ依リマスレバ、帝都復興事業費ノ六箇年繼續費總額四億四千八百五十七萬圓、此中一億六百三十七萬七千二百圓ト云フモノヲ減額スルト云フノガ一ツノ項目デアリマス、此結果ト致シマシテ、大正十二年度ノ復興事業費年割額ニ於テ二百五十五萬八千二百圓ト云フモノヲ削減スルコトニナルノデアリマス、更ニ復興院費、即チ此事業ヲ遂行スル爲メノ復興院ノ事業費、是ハ豫算面ニ於テハ十二年度分ダケヲ請求シテアルノデアリマスガ、參考書ニ依ツテ見マスレバ、大正十七年度迄ノ繼續費ノ總額ガ二千二百萬圓許リニナツテ居ルノデアリマス、其中大正十二年度ノ此豫算ニ於テ七十萬圓餘ヲ要求シテ居ルノデアアル、此復興院ノ經費ハ全部削減スルト云フノガ即チ修正案ノ第二點デアアルノデアリマス、此復興事業費ノ一億六百萬ト云フモノ、削減ノ内譯ヲザツト申シマスレバ、土地整理費、即チ區劃ヲ整理スル土地整理費ニ於テ三千五百六十萬圓餘ヲ減額シテ居ルノデアリマス、是ハ政府ノ提案ニ依リマスレバ、區劃整理ハ全部國ニ於テ行フト云フコトニナツテ居リマスケレ共、新區劃整理ハ其實行上ノ便宜ノ上カラ言ウテモ、又自治體ノ爲スベキ事ハ自治體ニ委シテ、成ベクヤルベシト云フ主義ノ上カラ申シテモ、新區劃整理ハ組合ニ委シテヤ

ラセル方が適當デアル、而シテ其方が却テ目的ヲ達スルニ容易デアル、唯、併ナガラ街路修築ニ伴ウテ已ムヲ得ザル所ノ區劃整理ナルモノハ、是ハ國ニ於テ行ハナケレバナライ、國ガ既ニ街路ヲ修築スル以上ハ、其國ノ修築スル街路ニ伴ウテ起ルベキ區劃整理ノ費用ハ、是ハ國ガ負擔シナケレバナラヌ、故ニ此分ダケハ豫算面カラ殘シテ、丁度一億二千萬圓許リニナリマス、此分ダケハ殘シテ、サウシテ後ノ三千五百萬圓ト云フモノヲ削除スルト云フノガ是ガ内容ノ一ツ、ソレカラ街路費ニ於テ十間幅以上ノ街路ハ國ニ於テ之ヲ修築スルコトトシテ、十二間未滿ノ分ハ自治體ヲシテ之ヲ行ハシムル、而シテ其道幅ノ伸縮路線ノ加減、是等ハ適當ニ安排ヲスルトシテ、此街路費ノ總額ノ中カラシテ約二割ニ相當スルモノヲ減額ヲスル、ソレデ東京、橫濱ヲ合セテ約七千万圓餘リノモノガ出テ來ルノデアリマス、此區劃整理ノ減額ト街路費ノ減額ヲ合セタモノガ、即チ一億六百萬圓ノ減額ニ相成ルノデアリマス、復興院ノ豫算ノ全部ヲ削除致シマスルガ、併ナガラ此復興事業ナルモノガ計畫スル以上ハ、之ニ伴フ所ノ事務費ナルモノガナクテハナラヌノハ無論當然デアル、故ニ假ニ之ヲ内務省所管トシテ此事業ヲ行フト云フコトデアルナラバ、内務省ノ追加豫算トシテ之ニ要スル所ノ經費ヲ要求スレバ、ソレダケノモノハ議會ハ協賛スル積リデアル、尤モ緊急支出ニ依ツテ既ニ來年ノ二月迄ノ復興院費ト云フモノヲ取ツテアルノデアル、此緊急支出ナルモノハ、甚ダ歴代ノ官僚内閣ニ多ク行ツタ所デアツテ、吾々ハ必ズシモ之ヲ是認スル者デハナイガ、兎ニ角現在ノ事實ハドウカト云ヘバ、即チ二月迄ノ復興院費ヲ取ツテアルノデアルカラ、若モ追加豫算ノ提出ガ多少遲レタトシテモ、此事業ヲ遂行スル上ニ付テハ、何等差支ヲ生ゼナイノデアアル、斯様ナ意味ヲ以テ寧ロ此龐大

ナル特別機關ヲ置イテスルヨリハ、之ヲ一省ノ管掌ノ下ニ行ハシムル方が敏活ニ、而シテ入費ガ少クテ濟ムノデアアル、故ニ之ヲ削除スル、是ガ大體ノ理由デアツタノデアリマス、次ニ庚申俱樂部ノ守屋君ヨリ修正案ガ提出サレタ、ソレハ復興事業費ノ大正十七年迄ノ總額ノ中カラシテ、至六百萬圓許リヲ減額スルト云フノガ一ツノ點、ソレカラ同ジク復興院費ニ於テ相當ノ削減ヲ加ヘルト云フノガ第二ノ點デアル、此大正十二年度ノ追加豫算ニ現ハレタル上ニ於テハ、守屋君ノ修正案ニ依レバ、復興事業費ニ於テ三百一十一萬圓ヲ減ジ、復興院費ニ於テ四萬餘ヲ減ズルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、其理由ハ行政整理ヲ大ニ徹底的ニ行ハナケレバナラヌ場合ニ於テ、復興院事務費ニ計上シタル所ノ政府ノ支出ハ、餘リニ龐大ニ過グルガ故ニ之ヲ削減スルノデアアル、又復興事業費ヲ復興法ニ依ツテ——復興法ノ原案ニハ事業費ヲ置イテ、區劃整理ノ場合ニ一割ヲ提供サセルコトニナツテ居ルノデアアルガ、ソレヲ一割五分位ハ提供サシテモ宜シイノデアアルカラ、ソレヲ一割五分位ヲ提供サセルト云フコトニナレバ、此方カラ大分金ガ浮イテ來テ、是ダケノ豫算面ニ計上シタル所ノ金額ヲ投ゼトモ、政府ノ豫定スル所ノ計畫ハ出來ルノデアアル、此意味ニ於テ全體ノ事業費ノ上ニ五千六百萬圓餘ノ削減ヲ加ヘタノデアアル、斯様ナ説明デアリマシタ、採決ニ入りマシテ政友會ノ島田俊雄君ヨリ提出サレタル所ノ修正案ガ、大多數ヲ以テ可決致サレマシタ(拍手)其結果ト致シテ守屋君ヨリ提出サレタル修正案、並ニ原案ハ否決サレタノデアリマス(拍手)採決後ニ於テ島田俊雄君ヨリ希望決議ノ提案ガアツタノデアリマス、ソレハ兎ニ角政府ノ立テタル歲計豫算ニハ甚ダ不安ヲ感スル、併ナガラ此際ノ事デアアルガ故ニ、之ニ修正ヲ加ヘテ通過ヲセシムルノデアアル

ケレドモ、政府トシテ速ニ斷行シナケレバナラヌモノハ行政整理デアアル、自然ニ將來増加スベキ、若クハ回復スベキ所ノ歲入ナゾラ唯一ノ財源トスルガ如キ、薄弱ノ立テ方デハイカナイノデアアル、故ニ根本的ノ行政整理ヲシテ、之ニ依ツテ相當ノ確實ナル財源ヲ得ルト云フコトガ必要デアル、同時ニ此大災害ノ後ニ處シテ勤儉節約ノ美風ヲ國民ニ作興セシムルガ爲ニハ、政府自ラ行政整理ヲ行ツテ、其範ヲ垂レナケレバナライノデアアル、此意味ニ於テ速ニ政府ハ行政整理ヲ行フベシ、同時ニ又政府ハ今迄ノ所、經濟的ノ復興ニ關シテハ何等施設スル所ハ無イノデアアル、大藏大臣ノ云フガ如キ十五億ノ計畫資金、是レ即チ復興資金ナリト云フガ如キ說ニハ、斷ジテ贊成スルコトガ出來ナイノデアアル、政府ハ進ンデ復興ニ對スル相當ノ計畫ヲ立テ、就中此資金ノ融通ニ向ツテ極力施設ヲ爲サナケレバナラヌ管デアアル、特ニ又是ハ國家全體ニ取ツテ此經濟的復興ト云フコトノ施設ヲセナケレバナラヌガ、其中ニ就テモ罹災地ノ經濟的復興ニ對スル施設ハ一日モ之ヲ忘ツテハ相成ラヌノデアアル、例ヘバ低利資金ノ融通ノ如キ、或ハ交通通信機關ノ急速ナル復活ト云フガ如キコト、速ニ政府ハ斯ノ如キ方面ニ向ツテ、積極的ニ相當ノ施設ヲ爲スヲ相當ト認メル、斯様ナ意味ニ於テ、希望決議ノ文面ハ「政府ハ速ニ行政整理ヲ斷行シ確實ナル財源ヲ得テ以テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト共ニ勤儉節約ノ範ヲ示シ同時ニ經濟復興ニ關シテ更ニ進ンデ適當ノ施設ヲ爲スヘシ」此附帶決議案ニ對シテ採決ヲ致シマシタ所ガ滿場一致ヲ以テ可決サレマシタ次第デアリマス、更ニ鳩山一郎君ヨリ、政府ハ此修正サレタル豫算ノ範圍ニ於テ仕事ヲ一事業ヲ遂行シテ行クコトガ出來ル見込ガアルノデアアルカドウカ、政府ノ所信ヲ聽キタイト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ總理大臣ハ、此質問ハ本

マシタナラバ、是デ果シテ所期ノ目的デアル所ノ帝都復興ノ計畫ヲ遂行スルコトガ出來ルト云フ此確信ガアルノデアリマス、吾々ハ今日ノ總テノ問題ノ行詰リマシタ所ノ原因ハ多クアリマセウケレドモ、主トシテ是迄ノ行ハレタル所ノ政治ハ、目的ノ爲ニハ手段ヲ擇バズト云フコトノ其モットーヨリ發達シタルモノト私ハ考ヘル(拍手)若シ政府ニ於キマシテ、此二回ノ修正ニ達ヒマシテモ、結局ハ事業ノ遂行ノ上ニ差シタル差支ガナイト云フ言葉ヲ以テ、或ハ妥協符合ヲ爲スノデハナイカト疑ハザルヲ得ナイノデアリマス、併ナガラ是レ即チ目的ノ爲ニ手段ヲ擇バズルモノデアリマス、若シ政府ガ一再ナラズ、斯ノ如キ屈辱的妥協ノ爲ニ、其方針ヲ二三ニスルト云フコトガアリマシタナラバ、此國民ガ期待ヲ致シマシタル所ノ其趣意ニ、全然反對スルモノデアアルノデアリマス、故ニ私ハ此修正案ハ後ノ論争ニ精シク申スデアリマセウ、右ニ削減ヲ致シマシテモ、左ニ與ヘラレルノダカラ差支ガナイト云フガ如キハ、所謂目的ハ同ジデアツテモ、其手段ニ於テ甚ダ相違ガアルノデアリマス、故ニ唯、手段ガ同ジデアアルカト云フノデ、此修正案ニ同意ヲ爲サルト云フコトデアアルナラバ、政府ノ面目威信ト云フモノハ全ク地ニ墜チタルモノト思フノデアリマス(拍手)斯ノ如キ極メテ曖昧ナル所信ノ下ニ、今後起ル所ノ綱紀肅正、官紀肅正、或ハ普選ノ問題、行政財政ノ根本的整理ト云フガ如キハ、甚ダ其前途ヲ危マザルヲ得ナイコトニナルノデアリマス、故ニ政府ノ此復興計畫ノ豫算ニ對スル所ノ態度ト、政府ノ將來ニ對スル所ノ運命、國民ノ期待ニ對スル所ノ其總テニ對シテ、非常ニ重大ナル關係ヲ持ツモノデアリマス、故ニ、果シテ政府ハ此修正案ニハ賛成ヲスルヤ否ヤ、又此修正案ニ賛成ヲ致シマシテ、果シテ罹災者百有餘万人ノ此窮狀ヲ救ヒ、帝

都ノ復興ヲ成シ遂ゲルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトニ付テ、此壇上ニ於テ明確ナル所ノ所信ヲ披瀝サレンコトヲ希望スル次第デアリマス、之ヲ質問致シマス(拍手)

〔國務大臣(伯爵山本權兵衛君登壇)〕

○國務大臣(伯爵山本權兵衛君) 只今ノ湯淺君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、今回政府ヨリ提出致シマシタル帝都復興計畫ニ伴フ所ノ豫算、及之ニ對スル所ノ事務費等ハ、必ズヤ當議場ニ於キマシテ各黨各派ヲ論ゼズ、目下ノ急務ニ對シテ、非常時ニ際シテハ非常ノ斷ナケレバナラヌノデ、必ズヤ之ニ對シテ政府案ニ向ツテ十分御審議ノ上、全力ヲ以テ御賛成ナルベキコト、深ク信ジタノデアリマス、然レニ只今議題トナツテ居リマス豫算案ヲ拜聴致シマス、政府案トハ多大ノ差異ヲ生ジテ居ルノデアリマス、然レドモ帝都事業――帝都復興事業ノ實行上ニ於テ、將來多少ノ差障リヲ生ズベキヲ豫想致シマスナレド、目下ノ狀勢ハ御案内ノ通りニ、實ニ非常時デゴザイマス、此東京市民全體ニ對シ一日モ早く安寧ヲ期セシメ、隨テ全國ニ互リマス所ノ諸般ノコトニ及ボシマシテ、重大ナル關係ヲ及ボスコトナリト信ズルノデアリマス、此見地カラ致シマシテ政府ハ之ヲ實行致シマスル上ニ於テ、今申ス如ク多少ノ差障リハゴザイマスナレドモ、及ブダケ全力ヲ舉ゲテ、東京市民ノ一日モ早く其急ニ應ズル策ヲ講ズル外ナイト考ヘマス、是ハ即チ大局ノ上ニ對シ萬已ムヲ得ズ、一時ノ出來事ニ對シテ決シテ策ヲ施スベキモノニ非ズト云フ深キ考慮ノ中ニ於キマシテ、斯ノ如キ決心ヲ執リマシタル次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 委員長ノ報告ニ對スル質疑ガアリマス、三木武吉君

〔三木武吉君登壇〕

○三木武吉君 私人質疑ヲ致シタイ事柄ハ、只今委員長ヨリ御報告ニナリマシタ、政友會ノ島田俊雄君カラ御提出ニナリマシタル修正案ノ内容ニ付テバアリマス、此質疑ハ豫算委員會ニ於テモ提出セラレ、應答セラレタノデゴザイマスケレドモ、咄囁ノ間……

〔私語スルモノアリ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○三木武吉君(續) 質疑者モ應答者モ未ダ究メザル所ガアツタヤウデアリマスルカラ、私ハ改メテ此問題ニ付テ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、御答辯ハ委員長カラ下サイマシテモ、又提案者カラ下サイマシテモ、其點ハ少シモ差支ハゴザイマヘス、只今委員長カラ御報告ニナリマシタル修正案ノ内容ハ、其一ハ復興事業費ニ對スル修正デアリマス、他ノ一ハ復興院事務費ノ削減デアリマス、私ハ復興院事務費ノ削減ニ付テハ、何事ヲモ申ス必要ハ無イト思ヒマス、復興事業費ノ中デ、修正案ニ依ツテ修正セラレマスル箇所ハ、街路費ノ中ヨリ東京横濱ヲ通ジテ約七千万圓、全額ニ對スル二割、ソレカラ土地整理費、是ガ東京横濱ヲ通ジテ約三千五百万圓ト云フコトデアリマス、而シテ此二個ノ修正セラレマスル理由ヲ伺ヒマス、或ハ財政上ノ理由ガアルカノ如クニモ聞エマス、又一面カラ考ヘマスレバ、斯ノ如キ事業ノ性質上ヨリ致シマシテ、之ヲ削減スルノ必要ガアルカノ如クニモ聞エマス、ガ併シ要ハ此二箇ノ削減ガ、決シテ復興院ニ於テ計畫セラレマシタル、而シテ吾々ニ示サレマシタル其計畫自體ヲ變更スルモノデナイト云フコトニ付テハ、疑ガナイヤウデアリマス、

〔私語スル者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 私語ヲ御差控テ願ヒマス

○三木武吉君(續) 此ニ於テ私ハ修正案ノ提出者ニ對シテ御尋致シタイ、果シテ此修正ノ理由ハ政

府ノ計畫ニ對シテ何等ノ變更ヲ企テルモノデモナイ、又帝都ノ復興ニ對シテ少シノ障礙モ計畫ノ上ニ及ボスモノデナイト云フ確信ト理由ヲ持タレテ居ルノデアルカ、先ヅ之ヲ第一ニ御尋致ス、ソレカラ第二ニハ此街路費ニ於テ七千万圓、整理費ニ於テ三千万圓ヲ削減セラレルケレドモ、此計畫自體ニ少シモ變更ガ無イモノトスルナラバ、結局此計畫ハ或ハ東京橫濱ノ如キ自治團體ニ於テ之ヲ行フ、若クハ只今御報告ノ中ニモアリマシタガ、土地整理ノ如キハ地主組合ニ於テ行ハシムルト云フコトニ相成ルノデアリマス、即チ此計畫ハ此削減ニ依ツテ變更セラレナイデ、此計畫ヲ實行スル他ノ機關ヲ以テスルト云フコトニナリマス、既ニ他ノ機關ヲ以テ此實行ヲ爲スト云フノナラバ、此實行ヲ爲スノ經費ハ茲ニ削減セラル、モ、他ノ方法ヲ以テ是ダケノモノハ支出ヲシナケレバナラナイト云フコトニナル、即チ東京橫濱ノ兩市之ヲ行フモノトスレバ、兩市是ガ負擔ヲシナケレバナラヌ、土地整理ノ如キハ、直接地主組合ヲシテ之ヲ行ハシメルト云フコトニナレバ、此三千万圓ノ整理費ヲ負擔スルノハ、地主組合カ、其ノ上ニ在ル東京市若クハ橫濱市ト云フモノガ、此三千万圓ヲ負擔シナケレバナラヌト云フ結論ニナルノデアリマス、此ニ於テカ私ハ御尋致シタイ、今日ノ東京橫濱兩市ハ七千万圓乃至一億圓ノ街路費及土地整理費ヲ負擔スルノ能力アリヤ否ヤ、之ヲ御尋シナケレバナラナイ、御承知ノ通り、現在ノ東京市橫濱市ハ、既ニ經濟的ニ申シマシテモ、又行政的ニ申シマシテモ、其資力ノ大半ト云フモノハ失ハレテ居ル、負擔能力ノ上ニ於テ、負擔能力ノ上ニ於テ、既ニ七割ノ力ヲ失ウテ居ルノデアリマス、此七割ノ力、橫濱市ノ如キハ殆ド全然失ウテ居ルト云フヤウナ、此東

京、橫濱市ニ於テ七千万乃至一億圓ノ新ナル負擔ヲ課シテ、果シテ此事業ノ遂行ガ出來ルモノデアルカドウカト云フコトノ御尋ヲ致シタイノデアリマス、是ハ私ガ茲ニ改メテ申ス迄モナイ、先刻モ申上ダタノデアリマスガ、豫算委員會ニ於テ、先日三土忠造君ガ大藏大臣ニ對シテ御質問ニナラレテ、大藏大臣ト三土君トノ質問應答ヲ謹聽致シテ居ルト、政友會ノ代表者デアル三土君ハ、此一億圓ハ愚カナコト、政府ノ吾々ニ提出セラレタル修正案ヨリ負擔ノ輕イ此政府案ニ對シテスラモ、東京市ガ負擔ノ能力アリヤ否ヤヲ疑ハレテ居ツタノデアリマス、現在ニ於テ負擔能力ノ無イコトハ申ス迄モナイガ、此復興事業完成ノ後ニ、年元金若クハ利息ノ償還ヲシナケレバナラヌ二千万圓内外ノ東京市ノ負擔ノ支拂ガ出來ルカドウカト云フコトヲ、詳細事細カニ御議論ニナツテ疑ハレテ居ツタノデアリマス、大藏大臣ハソレニ對シテ、確信アルガ如ク、確信ナキガ如キ御答辯ニナツテ居ツタガ、私ハ此點ニ對スル三土君ノ御心配ハ、誠ニ敬意ヲ表シテ謹聽致シタノデアリマス、既ニ政府ノ原案ニ於テスラモ、東京市ノ負擔能力ガ疑ハレテ居ル、橫濱市ノ負擔能力ガ疑ハレテ居ル、況ヤ其ノ上ニ七千万圓乃至一億圓ノ新ナル負擔ガ來テ、ドウシテ此兩市ガ負擔ガ出來ルノデゴザイマセウ、兩市ノ財政ガ立行クデゴザイマセウ、現ニ諸君ハ政府ヨリ吾々ノ手許ニ配付セラレタル府縣市執行復興事業費一覽表ヲ御覽ニナレバ分ル、東京市ノ如キ、或ハ橫濱市ノ如キ、僅ニ三十五萬圓カ、四十萬圓ノ復興ニ要スル費用デスラモ、市自身ノ手ニ於テ調達スルコトガ出來ナイト云フノデ、總テ國庫ヨリ貸付ヲ受ケテ、其利息ハ復興事業完成ノ間ハ据置イテ貰ツテ、其後デ漸クニシテ或ハ二十年三十年デ、細々／＼ニ償還スルト云フ程度デアル、二十萬三十萬ノ金デスラモ自ら調達

ガ出來ナイ此兩市デアリマス、吾々東京市民トシテハ、誠ニ殘念、誠ニ申譯ナイ次第デアルガ、事實ハ如何ニ強辯シテモ此憐レナル狀態ニ居ル東京市ニ七千万圓乃至一億圓ヲ、橫濱市ト共ニ新ナル負擔トシテ課スルト云フニ至ツテハ、私ハ其事柄ノ善惡ハ別圖問題ト致シマシテ、第二ノ事トシテ唯、之ヲ殘酷ト言ヒマセウカ、或ハ不能ヲ強ユルト云フノデアリマセウカ、果シテ此提案者ハ東京市橫濱市ガ斯ノ如キ龐大ナル負擔ヲスルコトガ出來ル能力ガアルカドウカト云フコトノ御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ更ニ御尋ヲ致シタイノハ、先刻モ三土君カラモ少シ話ガアツタヤウデアリマスルガ、其私ノ只今ノ質問ニ對シテハ、成程現在ノ東京市ト致シマシテハ、ソレダケノ能力ハ無イ、故ニ是レダケノ仕事ヲスルニハ、無論政府ガ此金ヲ貸付ケテヤルノデアアル、或ハ之ヲ補助シテヤルノデアアル、斯ウ云フ御議論ガ出ルダラウト思フ、而モ此貸付補助タルヤ、全部デナケレバイカヌノデス、假令ソレガ七割デアツテモ駄目デアル、八割デアツテモ駄目、全部貸付又ハ補助ヲシテ吳レナケレバ是ハ出來マセヌ、縱シヤ將來ニ於テ東京市ガ之ヲ支拂フトシテモ、現在ノ所ハ全部貸付ケテ貰ハナケレバ是ハ出來ナイ、ソコデ提案者ハ斯ウ云フ事ヲ仰セラル、ダラウ、現在ノ所デハ兎ニ角貸付ケル、而シテ是ハ東京市ガ能力ヲ得タ時ニハ、其幾分ヲ政府ニ返サス、斯ウ云フ事ヲ仰セラダラウト思フ、サウ云フ事ハ言ハナイカモ知レナイガ、サウデモ言ハナケレバ説明ガ出來マスマイ、詰リ東京市ヲシテ事業ヲ執行セシムル、橫濱市ヲシテ事業ヲ執行セシムル、而シテソレニ要スル費用ハ、一厘一毛ト雖モ自ら調達スルコトガ出來ナイカラ、政府ガ之ニ貸付ヲシテヤル、或ハ東京橫濱ノ兩市ガ、外債ノ募集ヲシテ、元利支拂ノ保證ヲ政府ガシテヤルト、斯ウ云フ事ニナラナ

ケレバイケナイ、而モソレダケハイケナイ、ソレダケデハ此東京横濱兩市ガ其元利ノ支拂ヲ何時ノ日ニカシナケレバナラヌコトニナル、之ヲウドウスル御考デアルカ、豫算委員會ニテハ、ソレハ幾ラカ適當ノ金額ダケハ補助シテヤルノデアアル、斯ウ云フ説明ガアツタ、補助シテヤルノデアアルト云フガ、補助セラレル以外ノモノハドウスルノデアアルカ、補助セラレル以外ノモノハドウスル、是ハ矢張東京市ガ拂ハナケレバナラヌガ、是ハ私ハ説明ヲ聽カナケレバナラヌ、先刻三土君ノ御話デゴザイマシタ、此點ハ私モ誤解ガアツタガ、三土君モ少シ誤解ガアツタ、東京市ガ全部負擔スルト云フコトニナルデヤナイカト私ガ言フタラ、イヤ其幾分ハ矢張分擔金ヲ出スヤウニナツテ居ルノダカラ、元モ國モ損得ナイヤウニナルデハナイカト云フ御言葉デアツタ、成程能ク調べテ見マスルト、街路費ニ付テハ總額ノ二分ノ一ヲ分擔金トシテ、政府ノ原案ニ依ルト云フト、東京市横濱市ガ負擔シナケレバナラヌコトニナル、而モ此負擔ハ事業完成ノ後ニ、三十箇年ノ年賦デ以テ政府ニ償還シナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ事ニナツテ居ルヤウデゴザイマスルガ、此二分ノ一以外ノ金額、此處ニ約七千万圓トシマスレバ、三千五百万圓ハ矢張此政友會ノ修正案ニ依ツテ新ニ東京横濱ガ負擔スルノデゴザイマスルカラ、是ハドウシテモ政府ニ於テ全部補助シテ貰ハナケレバナラヌ、補助セラレバ矢張此案ニ依ツテ東京横濱兩市ガ主ニ負擔ヲ受ケルコトニナル、況ヤ此三千五百万圓ノ整理費ハ、全然政府ノ負擔ニナツテ居ル、地方ノ分擔金ハ一厘モ無カツタ——一厘モ無カツタモノヲ自治團體若クハ地主組合ニ於テ全部負擔シナケレバナラヌコトニナルノダカラ、私ハ此案ト云フモノハ、計畫ヲ變更シナイ限ハ、國ノ負擔ヲ移シテ以テ地方自治團體ノ

負擔ニスル、是ダケニシカ其内容ニ於テ異ナル所ガナイノデアリマス、言換ヘテ見マスレバ、國ノ負擔ヲ輕クシテ——將來ニ於ケル國ノ負擔ヲ輕クシテ、東京横濱兩市民ヲ苦シメルコトニナルノデハナイノデアリマス、此憐レナル狀態ニ居ル東京横濱兩市民ニ對シテ、國民全體ノ負擔スル所ノ負擔ヲ移スコトニナル、而モソレガ現在ニ於テ移スナラバ、尙ホ地方ノ方ニ諸君ガ申譯ガアルカ知レヌ、諸君ノ立場ト致シテ、地方ニ之ヲ宣傳シテ利スル所ガアルカモ知ラヌケレドモ、現在ニ於テハ矢張國ガ立替ヘテ拂ウテヤラナケレバ、イカニ、三十年、四十年、五十年、百年ノ後ニ、東京市カラ取立テルト、東京ニ重イ負擔ヲサセタト云フダケニシカ過ギナイノデアアル、私ヲシテ言ハシムレバ、狗肉ヲ賣ランガ爲ニ羊頭ヲ掲ゲテ地方農民ヲ欺カントスル政策ダト考ヘテ居リマス、ドウカ此點ニ付テ明快ナル御答辯ヲ要求致シマス（拍手）

○議長（粕谷義三君） 只今委員長ハ御席ニ御出ニナリマセヌ

○三木武吉君 初カラ御斷リヲ致シテ置キマシタガ、豫算委員長デモ宜シイ、提案者デアル島田俊雄君デモ宜シイト申シテ置キマシタ、島田俊雄君ハ明カニ其席ニ御出デゴザイマスカラ、ドウカ島田君カラ御答辯ヲ願ヒマス

○議長（粕谷義三君） 是ヨリ通告ニ依リマシテ討論ニ入りマス、下岡忠治君

○答辯ガ無イデハナイカト呼フ者アリ

○三木武吉君 答辯ガ出來ナイノナラバ、私ハ敢テ之ヲ追窮シヤウトハシナイ、唯、諸君ハ政爭ノ爲ニ東京市民ヲ犠牲ニスルト云フコトヲ此處ニ斷言シテ置キマス……

○議長（粕谷義三君） 下岡君ニ發言ヲ許シテ居リマス、下岡君登壇セラレマセヌカ

（下岡忠治君登壇）

○下岡忠治君 諸君、本員ハ帝都復興計畫ニ關スル豫算案ニ付キマシテ意見ヲ述ベヤウト思ヒマスルカラ、暫ク清聴ヲ煩シマス、本員ハ政府ノ提案ヲ致シマシタ原案ガ宜イト云フ考デアリマス、修正案ニ對シテハ政友會カラモ出、又庚申俱樂部カラモ出テ居リマスルガ、何レモ之ニ對シテハ反對デゴザイマス、此度ノ震災ハ千古未會有ノ大事變デアリマシテ、政治經濟及文化ノ中心タル所ノ帝都ガ、甚大ナル打撃ヲ受ケタモノデゴザイマスルカラ、隨テ是ガ善後處分ニ關シテハ、實ハ全國民ノ利害休戚ニ關スル所ノ重要ナル事デアラウト思フノデゴザイマス、震災直後ニ於ケル全國ノ熱烈ナル救護援助、洵ニ是ハ美シキ事柄トシテ吾ガ認メナケレバナラヌ事デアアルガ、此同情此誠心ヲ以テ、所謂共存共榮ノ主義カラシテ、此震災善後ニ關スル所ノ復興計畫ヲ吾々御互ガ共ニ究スル必要ガアルコトハ、勿論デゴザイマス、（財政ノ破壞ヲドウスルカト呼フ者アリ）諸外國ガ如何ニ此震災ニ對シテ同情ヲ表シテ呉レタカ、又如何ニ此震災ノ善後ニ關シテハ我が日本民族ガ處理ヲ有様デアリマス、此間ニ於キマシテ吾々ガ此復興計畫ヲ適當ニ立派ニヤツテ行クト云フコトハ、御互國民全體ノ責任ト謂ハナケレバナラヌ（拍手）震災ノ當時物情恟々タルトキニ當リマシテ、諸君ハ遷都論ノ行ハレテ居ツタコトハ御聞キデ御座リマセウ、說ノ當否ハ別トシテ、兎ニ角此議論ニハ隨分共鳴スル者ガ澤山アツタ、ドウモ此地震ノ都、六十年ナリ或ハ八十年ニ於テ、斯ウ云フヤウナ震災ガ起ツテ來ルコトハ、是ハ大變ダ、帝都千年ノ計ヲ講ズル上カラ考ヘマスルナラバ、何トカ此問題ニ付キマシテハ考慮一番シナケレバナラヌト云フ考ノ起ルノハ、是ハ當然ノ事デアアル、併ナガラ

此混亂ノ間ニ於キマシテ、人心恟々タル間ニ於キマシテ、若シ此問題ニ付テ、國民全體ガ議論ヲスルヤウナコトガアツタモノト假定スルナラバ、ソレコソ實ニ如何ナル珍事變事ガ起ラヌニモ限ラヌト云フコトヲ、私共當時カラ心配シテ居ツタ、然ルニ聖斷一下、九月ノ十二日ニ大詔ガ換發セラレマシタ、我が國都ト云フモノハ從來ノ通り、京都ノ方針ト云フモノハ、何時迄モ此儘デ行クト云フコトヲ御示定遊バシレタコトガ、彼ノ大詔ニ依ツテ知レルコトガ出來テ、始メテ大方針ガ決ツテ、民心ガ安ジタモノト私ハ存ジマス、洵ニ聖旨ノ深謀遠慮、實ニ有難キ思召ト云フコトヲ考ヘマシテ、吾々ハ實ニ感激ノ至リニ堪ヘナイ、恐懼ノ至リニ堪ヘナイ譯デアル、現御都ノ大方針ガ東京ニ決スルト云フコトニナルトスルト、先ヅ大體此上カラ御互ニ考ヘナケレバナラス、御承知ノ通り此度ノ震災ト云フモノハ、人力デ如何トモスルコトガ出來マセヌ、天然ノ破壊力ハ實ニ驚クベキモノデアルガ、併ナガラ此度ノ地震ニ付テ御互ニ見テ見ルト、震災ハ實ニ大シタ程ノ事ハ無カツタ、震災ニ伴フ大火災ガ非常ニ猛威ヲ逞ウシテ、大廈ヲ烏有ニ歸セシムルコトニナツタノデアリマスカラ、隨テ火災ニ對スル相當ノ方法ガ出來テ居ツタナラ、斯ノ如キ慘狀ヲ見ズシテ止ムコトガ出來タモノト私共ハ思フノデアリマス、此點カラ考ヘテ見マスト、千年ノ都ヲ東京ニスルト云フコトデアルナラバ、私ハ少クトモ斯ノ如キ火災、斯ノ如キ害ノ起ラヌト云フコトハ、或ル程度マデハ、人力ニ依ツテ防グコトガ出來ルノデアアルカラ、此人力ノ限リヲ盡スコトニ對シテ、相當ナル施設ヲ行フト云フコトハ、天下後世ニ對スル吾々現代ノ者ノ責任グラウト思ヒマス(拍手)此見地カラ割出サナケレバナラス

○議長(粕谷義三君) 三善君、氣ヲ御付ケナサラ

スト發言ヲ禁ジマス
○下岡忠治君(續) 此見地カラ割出シテ、是カラ先ノ計畫ヲ爲スト云フコトハ、吾々ノ努ムベキ責任デアラウト思ヒマス、即チ詔ノ中ニモアリマス通り、善後ノ處置ヲ關シテハ、唯、舊態ヲ回復スルニ止マラズ、進シテ將來ノ發展ヲ考ヘテ、帝國ノ面目ヲ一新スルコトヲ爲ヒヨト云フ此思召、從來ノ通りデイカナホ、震災ノ防備——震火災ノ防備ト云フ上カラ考ヘデ見テモ、如何ニモ是迄ノ帝都ト云フモノガ、甚ダ世界ニ對シテモ劣等ナル位置デアツタト云フ點カラ考ヘテ、將來ニ於テハドウシテモ或ル程度ニ於テ日本ノ面目ヲ一新シ、即チ復興デハイカナ、復興ヲ以テヤレヨト云フ此思召、吾々ガ此大方針ノ下ニ帝都ノ復興計畫ト云フコトニ付キマシテ考ヘナケレバナラスコトハ、勿論ゴザイマス、現此上カラ考ヘテ見マスト、此度政府ノ提案シタルモノヲ見テ見ルニ、固ヨリ吾々カ見レバ澤山ノ缺點ガ澤山、區々ノ點ヲ批評スルナラバ、隨分感心セス事ガ澤山アリマス、澤山アリマススケレドモ、大體ニ於テ、復興ナリ、或ル程度マデ復興トシテ、將來ノ禍ヲ豫防シヤウト云フコトニ付テ、相當ノ用意ガ拂ツテアルモノデアルト云フコトヲ私ハ信ズル、政友會ノ修正案ニ依リマスト云フト、色々ノ點ニ於テ、隨分斧鉞ヲ加ヘラレテ居リマス、例ヘバ土地ノ整理ヲヤラウ、成程是ハ普通ノ場合ニ於キマシテハ、自治體ニヤラセテラ結構デアリマス、耕地整理法ニ於テ耕地整理ヲスルニ付テモ、御承知ノ通り組合デヤラセテ居ル、故ニ地主ノ組合ヲ設ケテヤラス、是ハ普通ノ場合デ、非常ノ場合ハ非常ナ事ヲ行ハナケレバナラス、地主ノ同意ヲ得テ組合ヲ拵ヘテ、而シテ相當ノ順序ヲ踏シテ、土地ノ整理ヲシヤウト思ヒマスレバ、恐ラク私共ノ考デハ、三年五年掛ツテモ結了シナイ、上野ノ驛カラ

東京ノ驛ノ間ノ連絡線ハ如何デアリマスカ、アレダケニ三年モ五年モ掛ツテモ解決シテ居ラス、斯ウ云フモノダ、總テ非常時ニ對シテ非常ナ事ヲ行フト云フ場合ハ、或ル程度迄ハ國家ノ權力ヲ以テヤルト云フ考デヤラナケレバ致底出來ナイ(拍手)普通一般ノ場合、尋常ノ場合ヲ考ヘテ、何モ彼モ自治體デヤレ、結構デアリマス、決シテ吾々ハ惡イトハ言ハナイケレドモ、非常ニ遅レル時期ガ遅レル、之ガ甚ダ帝都復興ノ上ニ於キマシテ、非常ナル關係ヲ與ヘルモノト思ヒマスカラ、私共ノ考カラ言ヘバ、ドウシテモ此際ハ非常變通ノ方法ヲ講ジテ、國家ガ或ル程度迄權力ヲ以テ此土地整理ニ力ヲ盡スト云フコトハ已ムヲ得ナイ、ソレヲ普通ノ場合ト同ジヤウニ考ヘテ、耕地整理ト同ジヤウニ考ヘテ、地主組合デヤラスコトニナリマスレバ、此觀ニ泣キ寒サニ叫シテ居ル市民ハ、土地整理ガ出來テ、完全ニ自分等ノ家ヲ造ルノハ、三年五年ノ後デアルト云フコトヲ私ハ斷言ヲ致シマス(拍手)又此街路ニ關スルコトモ程度問題、成程二割ノ削減、色々ノ理由ヲクツ付ケテゴザル、二割ノ削減、經費ノ減ルコトハ吾々モ望ム、御互ニ儉約シタイケレドモ、帝都復興、即チ都市計畫ヲ行ハウトシマスト、都市計畫ノ根本ハ何所ニ在ルカト云フト、實ハ道路計畫、何ト云ツテモ道路計畫ガ都市計畫ノ根本デアアル、又道路計畫其宜シキヲ得ヌト、御詔勅ノ趣旨ニ悖ツテ、復興ニ非ズ、復興ト云フコトガ出來マセヌ、七十年目カ八十年目ニハ、矢張同ジ震災ヲ繰返スコトガ無イトモ限ラヌ、又サウ云フ憂ハ確ニアル、サウ云フ點ニ於テ十分ナル用意ヲ拂ツテ、少クトモ街路ニ關スル點ト云フモノハ、私共ノ考カラ言ヘバ、年限ガ遅レテモ宜イ、五年ガ七年デモ宜イ、十年デモ宜イガ、元來計畫ニ付キマシテハ、所謂少シク眼ヲ將來ニ放ツテ遠大ナル計ヲ講ジテ、實實穩健ナル

態度ヲ以テ之ヲ實施スルヤウニヤラナケレバナラ
ヌト思フ、此點カラ考ヘマスルト、街路費ニ對シ
テ二割ノ削減ヲ爲シタト云フコトハ、殆ド私共ハ
無意味ナ事ト考ヘル、又事務費ヲ減ジテ居ラレマ
スガ、吾々モ實行ガ出來ルモノナラバ、實ハ尨大
ナル復興院ナルモノハ廢メタイ、成ベク經費ヲ儉
約シタイノデアリマス、聊カ私ノ考ニ於テモ程度
ガ大キ過ギルノデアリマス、感心ハシテ居ラヌケ
レドモ、之ヲ壞シテシマツテ、内務省ニ一局ヲ設
ケテソレヲヤラセルト云フノハ、少シク無理デ
ス、到底實際ニ於テ行ハレヌト云フコトハ、私ハ
今カラ明言シテ置キマス（拍手）出來ル」ト呼フ者
アリ）行ハレテモ、三年モ五年モ掛ツテ出來ル
云フ意味デアル、必ズ遅レル、屹度遅レルト云フ
意味ニ於テ、私共ハ復興院ト云フモノヲ必ズシモ
宜イト云フ意味デハナイケレドモ、苟モ是ダケノ
大事業ヲ行フト云フ以上ハ、何カ一ツ特別ナル機
關、殊ニ是ハ内閣總理大臣ノ下ニ在ル所ノ機關ガ
一番宜イト思フ、復興事業ハ逡信省ニモ關係ガ多
イ、大藏省ニモ關係ガ多イ、或ハ農商務省ニモ關
係ガ多イ、各方面ニ關係ノ多イモノヲ、内務大臣
ノ管下ニ置クヨリハ、内閣總理大臣ノ下ニ置イテ、
統一シテ之ヲ行フト云フ方ガ、非常ニ便利デア
ル、是ハ少シク官廳ニ御經驗ノアル方ハ能ク分ツ
テ居ル、或ハ一局部デソレヲヤルト云フヤウナコ
トニ致シマスルト、仕事ノ統一モ取レズ、聯絡モ
取レズ、却テ仕事ガ矛盾ヲ起シ、不統一ヲ起シ
テ、非常ナル不結果ニ終ルト云フコトハ、明瞭ナ
ルコト、言ハナケレバナラヌ、斯ノ如ク修正案ハ
實ニ意味ヲ成サヌト私共ハ思フ、所ガ只今内閣總
理大臣ガ此壇上デ答辯ガアリマシタガ意味ガ分ラ
ヌ、私ニハ——政府ニ斷乎タル決心ガアツテ出シ
テ居ルベキ筈ノモノデアルト思フガ、ソレニ對シ
テ實ハ曖昧ナル答辯ガアツテ、此ダ吾々ニ於テハ

驚カザルヲ得ナイ、固ヨリ政府ガドウ云フ考ヲ持
ツテ居ルカハ別トシテ、吾々ハ今現ニアル所ノ此
大正十二年度ノ追加豫算、ソレ自ラニ就テ議論ナ
シテ居ル、政府ノ意見ガドウデアラウガ、政友會
ノ意見ガドウデアラウガ、吾々ハ吾々ノ所信ニ向
ツテ意見ヲ述ベル譯ガアリマス（拍手）諸君、吾々
ハ一方ニ於テハ、斯ノ如キ帝都復興ノ大事ト云フ
コトハ考ヘテ居ルケレドモ、是ト同時ニ國力ノ程
度、國力ガ果シテ之ニ應ズルコトガ出來ルヤ否ヤ
ト云フコトハ、決シテ閑却シテ居ラヌ積リデアリ
マス、過去數年間ニ於ケル所ノ放漫ナル政策ノ結
果、我國ノ財政、行政ハ非常ナ厄大ヲ來シ、經
濟界ニ於テモ非常ニ苦ミナシ、又財政ノ上ニ
於テモ、殆ド行詰リノ狀態デアルト云フコト
ハ、諸君ノ御承知ノ通りデアアル、此行詰リノ
今日ニ際シテ、突如トシテ斯ノ如キ所ノ出來事ガ
起ツテ、是ガ爲ニ非常ナル多額ノ費用ヲ要スルト
云フコトデアリマスルカラ、國民全體ニ取ツテハ、
實ハ苦痛ノ話デアアル、サナキダニ非常ニ困ツテ居
ルト云フ所ニ持ツテ來テ、斯ウ云フヤウナ事ガ勃
發シタト云フコトデアリマスルカラ、何レノ點カラ
考ヘテモ、吾々ハ非常ニ困難デアアル、苦シイノデ
アル、全國民ガ非常ナル苦痛ノ下ニ、此豫算ニ對シ
テ臨マナケレバナラヌト云フコトハ、分リ切ツタ
事デアリマス、併ナガラ今ニモ日本ガ破産スルヤ
ウナ口吻ヲ漏ス人ガ時々アルガ、私共ハサウハ考
ヘマセヌ、此度ノ歐洲ノ戰爭ニ因ツテ、各國ガ非
常ナル打撃ヲ受ケテ居ル狀況ニ較ベテ見マスレ
バ、我國ノ此度ノ被害ハ連モ是ハ較ベ物ニナラヌ
位ノ程度ノモノデアルト言ツテ宜イ、而シテ歐洲
各國ガ有ユル努力、有ユル奮闘ヲシテ、アノ勢ヲ
回復スルト云フコトヲ努メテ居ルガ、若シ吾々ガ
御互ニ、本當ニ奮闘努力致シマスナラバ、恐クハ
十數年、或ハ二十年ヲ出デズシテ、日本ノ經濟力、

總テノ點ヲ回復シ得ル見込ガアルト思ヒマスカ
ラ、左程心配シタモノデモナイ、西伯利出兵ノ爲
ニ六億ノ金ヲ使ツタ、實ニ考ヘテ見ルト、六億ノ
金ヲ西伯利出兵ニ使ツテ、殆ド何等意味ヲ成サヌ
コトニナツタノハ、諸君ノ御承知ノ通りデアアル、
斯ウ云フ點カラ考ヘテ見テ、此大事變ニ對シテ、
復興計畫ノ爲ニ吾々ガ五億、六億ノ金ヲサウ
客ムト云フコトハ、是ハ御互ニ考物デナカラウカ
ト思フ、吾々ハ一方ニ農村ノ復興デアルトカ、
或ハ地方經濟界ノ發展ヲ圖ルト云フコトニ付テ
モ、固ヨリ留意シナケレバナラヌ、去年農村復興
ノ問題ガ非常ニヤカマシクテ、諸君カラモ色々建
議案ガ出、吾々モ建議案ヲ出シマシテ、色々研究
シタコトガアリマスガ、吾々ハ一方ニ於テハ、此
大豫算ヲ通過セシムルト云フコトハヤリマシテ
モ、決シテ地方ノ農村復興デアルトカ、産業ノ發
展トカ云フコトハ、度外ニ措イテ居ル積リデア
リ、閑却シテ居ル筈ノモノデモナイ、諸君ノ如ク
出來ナイ相談ナシテ、地租委讓論ナドヲ唱ヘラレ
テ居ル方々ガアリマスガ（拍手）ノウノ——吾々ハ
サウ云フ議論ハ致シマセヌ、サウ云フ事ハ出來ナ
イ（何ガ出來ナイ）ト呼フ者アリ）出來ナイ
ジテ出來ナイ、出來ナイ所ノ相談デアアル、地租委
讓ト云フヤウナコトハ、吾々ハ感心ハシナイ、其
以外ニ於テ爲スベキ途ハ澤山アリマス（アルナラ
ヤレ）ト呼フ者アリ）ヤリマス——將來アル豫定デ
アリマス、一方ニ於テ行政ノ整理ヲ行ヒ、之ニ依
ツテ得タル所ノ金ニ依ツテ農村ノ復興ヲ圖リ、或
ハ地方經濟界ノ興勃ヲ圖ルト云フコトハ、決シテ
出來ナイコトハナイ、但シ地租委讓ハ出來ナイト
云フコトハ吾々ハ明言致シテ置キマス、斯ウ云フ
譯デアリマスルカラ、吾々ハ帝都復興計畫ニ賛成シ
タカラト云ツテ、何カ地方問題ヲ閑却スルガ如
ク御考ニナルノハ大間違デアアル（拍手）適當ナル

時機ニ於テ農民ノ負擔ノ輕減ヲ圖ラナケレバナ
ラズ、又地方ノ産業ノ發達ニ付テハ、爲スベク
又爲ナルベカラザル事ヲ澤山アルト考ヘテ居
リマスカラ、此點ニ付キマシテハ、十分ニ意ヲ
用ヒテヤル積リデアリマス、斯ウ云フ譯デアリ
マスカラ、吾々ハ此帝都復興ト云フヤウナ大事
業ニ對シテ、吾々ガ豫算ヲ審議スル上ニ於テハ、
少シク大局ノ上カラ、大方針ノ上カラ割出シ
テ、此豫算案ニ關シテハ、全體ニ於テ之ヲ協賛ス
ルガ適當デアルト思フ、政府ガ若シ此原案ヲ提出
シテ置キナガラ、修正案ニ對シテ屈服スルト云
フヤウナ意氣地ノナイヤウナ事ヲヤル場合ニ於テ
ハ、吾々ハ決心ガアルノデアリマス、斯ノ如キ大
事業ヲ非常事變ノ際ニ於テ斷行スル場合ニ於テ、
政府ガ何等ノ定見モナク、朝ニ一城ヲ削ラレ、夕
ニ一壘ヲ陷レラレルト云フヤウナ態度ヲ以テ政治
ヲヤルト云フコトデアリマスルナラバ、吾々ハ此
際ニ於テ斷乎タル決心ヲ以テ之ニ臨ミ積リデアリ
マス(拍手)「ノウ」大體ニ於テ吾々ハ此原案ニ
對シテ、固ヨリ區々ノ點ニ於テハ吾々モ批評ハア
ル、併ナガラ此急イデ居ル際、復興事業ト云フモ
ノハ一日モ忽ニスルコトガ出來ナイト云フ此大事
ノ時ニ於テハ、斯ウ云フ細カイ問題ヲ論ズル時デ
ナイ、大體ニ於テ是ガ協賛ヲシテ、政府ニ十分ノ
責任ヲ以テ之ヲ行ハシメルト云フコトガ、時宜ニ
處スル所ノ途デアルト云フコトヲ信ジマス、尙ホ
愈ニ是ガ協賛ヲスルト云フ上ニ於テ、吾々ハ種々
ナル點ニ於テ希望ヲ持テ居ル、殊ニ行政整理ノ
問題、即チ豫算委員會ノ決議トシテ現ハレタ所
ノ行政整理ノ問題ノ如キハ、何レ革新俱樂部ノ
方ミカラモ、御話ガアルデアラウト思ヒマ
スガ、諸君ガ考ヘテ居ルヤウナ程度ノ行政整理
デハナイ、モ少シ組織的ナ意義アル所ノ行政整
理ヲ行ハウト云フ考ヲ以テ、政府ニ向ツテ是ガ

斷行ヲ迫ルト云フ考ヲ持ツテ居ルノデゴザイ
マスガ、尙ホ以外ニ其種々ノ警告希望ヲ爲スベキ
點ヲ有シテ居ルケレドモ、是ハ此點ニ止メテ置キ
マシテ、大體吾々ガ本豫算ニ對シテ賛成ヲシタ理
由ヲ明カニシタ次第デアリマス(拍手)

○山本梯二郎君 議長

○議長(粕谷義三君) 山本君何デスカ

○山本梯二郎君 先刻豫算委員長トシテ豫算委員
會ノ結果ヲ報告致シマシタ中ニ、漏シタと思フ點
ガアリマスカラ、補足シタイト思ヒマス、發言ノ
許可ヲ願ヒマス

○議長(粕谷義三君) 只今豫算委員長ヨリ、委員
會ノ結果ニ付テ更ニ之ヲ補足致シタイト云フコト
デアリマス

○議長(粕谷義三君) 御靜ニ御聽キナサイ、今討
論ニ入テ居リマスカラシテ、特ニ諸君ノ意見ヲ問
ヒマス、山本君ヲシテ委員會ノ報告ヲ補足セシム
ルト云フコトニ御異議ハアリマセスカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ガアリマスカラ、御
異議ガアリマスナラバ採決ニ依ツテ決シマス
○議長(粕谷義三君) 御靜ニ御聽キナサイ、此發言
ヲ許可スルニ御異議ノナイ諸君ハ起立ヲ願ヒマス
○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

○議長(粕谷義三君) 多數デアリマス(拍手) 山
本梯二郎君

此第一號ノ大正十二年度歲入歲出總豫算追加案ノ
結果ヲ申上ゲタノデアリスガ、其際他ノ三案ノ結
果ヲ申シ殘シタヤウニ記憶シテ居リマス、ケレド
モ或ハ是ハ申述ベタルカモ知レマセス、ソレハ
追加第一號、豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ
爲スヲ要スル件、第二號、大正十二年度歲入歲出總
豫算追加案、特第一號、大正十二年度特別會計歲
入歲出豫算追加案、此二案ハ委員會ニ於テ何等ノ
修正モナクシテ、委員會全會一致ヲ以テ可決シマ
シタ次第デアリマスカラ之ヲ補足シテ御報告ヲ申
上ゲテ置キマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 三土忠造君

○三土忠造君 諸君、本員ハ只今議題トナツテ居
リマス豫算案ニ對シテ、委員長ノ報告ニ賛成致シ
マシテ、是ガ賛成ノ理由ニ付キマシテ、聊カ所見
ヲ申述ベテ見タイト思フノデアリマス、此度ノ大
震災ニ付キマシテ、茲ニ政府ハ臨時議會ヲ召集セ
ラレ、主トシテ所謂帝都復興ニ關スル豫算案ヲ吾
吾ノ前ヘ提案サレタノデアリマス、此帝都復興計
畫ナルモノハ、金高ヨリ申セバ約六億圓デアリマ
ス、若シ六億圓ノ帝都復興計畫ノミト致シテモ、
現下ノ我國ノ財政其他ノ狀況カラ考ヘマシテ、餘
程慎重ニ考慮ヲ要スル問題ト考ヘマス、然ルニ吾
吾ガ茲ニ論議致シマスモノハ、單ニ是バカリデア
リマセス、マダ此臨時議會ニ於テ既ニ當然出シテ
居ラナクテハナラヌモノデ、未ダ政府ノ調査ガ十
分ナラザルガ爲ニ、次ノ通常議會ニ殘シテ居ル大
ナル財政計畫ガアルノデアリマス、即チ帝都復興
計畫以外ノ所謂復舊費デアリマス、今回ノ大震災
ニ因ル官廳、學校、郵便、電信、電話其他政府ノ
營造物ノ復舊費ハ餘程巨額ヲ要スルノデアリマ
ス、大體承ル所ニ依ルト、大藏大臣ハ各省ノ要求
ヲ見タ上デ、此總額ヲ約六億圓程度ニ切詰メタイ

ト云フコトデアリマス、或ハ六億圓程度ニ切詰メ得ラル、ヤ否ヤト云フコトハ、餘程困難デハナイカト思ヒマス、其今今回提案サレタル帝都復興計畫ナルモノハ、東京横濱ノ二大都市、東京府、神奈川縣ノ二縣ニ限ルデアリマシテ、其他ノ千葉縣、埼玉縣、靜岡縣等ノ如キ大震災ノ罹災地ノ復舊費ハ、マダ出テ居ラヌデアリマス、此慘害ノ跡ヲ顧ミマシテ、是等罹災地ノ復舊費用ハ、相當巨額ノ補助ヲ要スルコト、思ヒマス、是等併セテ考ヘテ見マスルト、財政上ノ餘程窮乏ヲ告ゲテ居ル際ニ於キマシテ、吾々ガ至誠國家ノ爲メ、及國民ノ爲ニ考ヘマスナラバ、全體ノ計畫ヲ茲ニ提案致シテ貰ツテ、徐々ニ財政全體ヲ考ヘ、經濟上ノ影響如何ヲ考ヘ、且ツ此計畫ヲ實施スベキ市民府民ノ負擔ノ狀況ヲ考ヘテ、十分考慮ノ上ニ決定スルノガ本旨ト考ヘマス、然ルニ不幸ニシテ震災以後諸般ノ支障ヲ生ジタガ爲ニ、政府ニ於キマシテモ左様ナ運ビニ至ラズ、最モ急ヲ要スルト政府ノ認メラレマス所ノ、所謂帝都復興計畫ナルモノヲ茲ニ切離シテ吾々ニ提案サレタノデアリマス、此案ナルモノハ、其案ノ内容如何ニ拘ラズ、兎ニ角今回ノ大震災ハ申スマデモナク、世界古今ノ歴史ニ於テ其類例ヲ見ザル程ノモノデアリマス、此大慘禍ニ顧ミテ、將來ノ爲ニ圖リ、且ツ是マデ多年内務省ニ於テ計畫シ、東京市ニ於テ計畫シ、横濱市ニ於テ計畫シテ居リマシタル所謂都市計畫事業ヲ、此障害物ノ燒失シタル機會ニ於テハ、若干ノ程度ニ於テ遂行スルト云フコトニ付テハ、何人モ之ニ反對スル人ハナカラウト思ヒマス（拍手）唯、吾々茲ニ最モ考慮ヲ要スルコトハ、財政上ノ現在及將來ニ於ケル影響如何、經濟界ニ及ボス影響如何、竝ニ市民ノ負擔ノ影響如何ト云フコトデアリマス、是等徐々ニ

スノデアリマス、是ニ於テ吾々ハ實ハ此約六億圓ノ豫算デアリマスルガ、僅ニ之ヲ衆議院ニ於テ數日ノ間ニ審議サスルト云フコトハ餘程無理デアルト考ヘマス、併ナガラ只今東京市民ハ如何ナル狀態ニ在ルカト申シマスルト、震災後政府ハ此計畫ヲ有スルガ爲ニ、市民ニ向ツテ本建築ノ許サズ、此寒天ニ向ツテ「バラック」ノ間ニ生活シテ居ルノデアリマス、抑、帝都復興ノ最大急務ハ市民ノ居住ノ安定、經濟機能ノ復活デアラネバナラヌ（ヒヤ／＼）然ルニ此計畫ヲ有スル爲ニ暫クノ間市民ニ我慢ヲシテ待ツガ貰ツテ居ル場合デアリマス、故ニ吾々ハ此案ニ對シテ十分審議ヲ盡スダケノ時間ヲ與ヘラレヌコトヲ遺憾ト致シマスガ、サレバトテ此成立ニ向ツテハ極力力ヲ致シマスルノデアリマス、故ニ、御承知ノ通り毎日々々夜ヲ日ニ繼イデ勉強シテ、漸ク今日茲ニ此案ガ決定スル運ビニ至ツタノデアリマス、此事ニ付キマシテハ、政府ハ勿論、又東京市民ハ勿論、全國民モ吾々ノ勤勉努力ニ對シテ十分了解ガアル事ト考ヘマス（ヒヤ／＼）「ヒヤ／＼」先ヅ私ハ財政上カラ大體ヲ考ヘテ見マスルガ、申ス迄モナク今回ノ大震災ガナカクツタト致シマシテモ、我が國家ノ財政ハ餘程窮乏ヲ告ゲテ居リマス、是迄過去數年間ニ於キマシテハ經濟界ガ頗ル好況デアリマシタ、毎年豫算ニ對シテ自然増收ヲ見積リ、其尙且ツ巨額ノ剩餘金ヲ生ジタノデアリマス、隨テ公債發行ニ付キマシテモ、サウ無理ヲセズシテ相當ノ額ヲ募集スルコトガ出來タノデアリマス、然ルニ今や國家ノ財政ハ如何ナル狀態ニナツテ居ルカト申シマスレバ、今回ノ大震災ニ依ツテ我國ノ内デ最モ經濟力ノ發達シテ居ル、最モ擔稅力ノ強い東京、横濱ノ二大都市ヲ中心トシテ、一府四府ニ互ツテ大慘害ガアツタノデアリマス、此結果トシテ國庫ノ收入ニ大激減ヲ來シタコトハ申ス

迄モアリマセヌ、此歳入ノ激減ヲ來シマシタ爲ニ、政府ハ大正十二年度ノ豫算ヲ遂行スルコト能ハズシテ、豫算ノ編成替ヲ致シタノデアリマス、而シテ大正十二年度ノ豫算ノ編成替ヲ致シマスルニ當リマシテ、大正十一年度ノ歳入ノ實績ニ顧ミテ、既ニ十二年度ノ實行豫算ニ於テ、當初豫算ヨリモ一億圓程ノ經常歳入ヲ多ク見積ツテ居リマス、又十三年度ノ財政計畫ヲ立デマスルニ付キマシテモ、同様ニ一億圓程ノ自然増收ヲ見積ツテ居ルノデアリマス、斯ノ如クニシテ漸ク歳入ノ簡一杯ヲ計上シ、且ツ一面ニ於テ殆ド全國ニ互ル産業ノ開發、或ハ貿易ノ發展、通信交通機關ノ整備等ニ關スル事業費ナルモノ、餘程巨額ノモノハ、中止若クハ繰延ヲ斷行致シテ居ルノデアリマス、斯ノ如クシテ漸ク歳入歳出ノ收支ヲ合セテ居ルヤウナ狀況デアリマス、此政府ノ歳入ノ見積ハ私共ハ決シテ無理トハ思ヒマセヌ、先刻下圖若ヨリシテ地租委讓ノ問題ニ付テ御意見ガアリマシタガ、私ガ我が政友會ヲ代表シテ昨年ノ議會ニ、此處ニ我黨ノ主張ニ係ル地租輕減案ヲ提案致シマシタ時分ニ、其歳入ノ辻褄ヲ合ハスコトハ政府ニ一任スルト云フコトヲ申シテ置キマシタレドモ、其後有ユル機會ニ於テ私ハ大正十一年度ノ歳入ノ狀況ニ鑑ミテ、大正十二年度ノ財政計畫ヲ立テル時分ニハ、經常歳入ニ於テ一億圓ノ歳入ヲ多ク見積ルコトハ決シテ無理デナイ、是ノミヲ以テシテモ地租ノ委讓ノ財源ニ當テ、且ツ此議院ノ決議ニ依リ恩給法ノ改正ニ基ク非常ナル増額、此二ツヲ賄ヒ切レルト云フコトヲ申シテ置イタノデアリマス、然ルニ政府ハ今回我々ノ見積ツテ置イタ通り、丁度一億圓歳入ノ見積ヲ増加シテ、此財政ノ計畫ヲ立テ居ルノデアリマス、現ニ吾々ノ前ニ地租委讓ヲ唱ヘタコトハ、決シテ間違ツテ居ラナカツタト云フコトガ立證サレテ居ルノデアリマス（ヒヤ／＼）（拍手）

先づ左様ニシテ歲入歲出ノ辻褄ハ合ツテ居ルノデ
アリマス、諸テ前途ヲ考ヘテ見マスト云フト、此
處マデ經常歲入ヲ見積ツテ居リマス以上ハ、最早
大正十三年、四年ニ至リマシテハ、國庫ノ剩餘ハ
ナルモノハ多ク出ナト考ヘナケレバナラス、先
ヅ無イト考ヘナケレバナラヌノデアリマス、又稅
ノ減收ニナリマスモノ、官業收入ノ減收ニナリ
マスモノ、此回復モ中ニ容易デナイト考ヘナケレ
バナラス、然ルニ一面ニ於テ國家財政計畫ニ於
テハ、殆ド地方ノ開發ニ要スル經費ハ、打切ツテ
居ルノデアリマス、大藏大臣ノ説明ニ依ツテ、今
將來ニ互ル財政計畫ヲ吟味致シテ見マス、今
回提案サレマシタル此復興計畫、及ビ是ヨリ通
常議會ニ提案サレントスル約六億圓ノ復舊計畫、
竝ニ保險會社ニ對スル貸付等、是等ヲ合セマシテ
約十五億圓ノ公債ヲ發行スルコト云フコトデアリマ
スガ、此公債ヲ發行スル爲ニ、殆ド我ガ國民ノ貯
蓄ノ全部ヲ擧ゲテ是ニ投ジナケレバナラス、隨テ
政府ハ中央ノ財政ニ對シテ非常ナル緊縮節約ヲ行
ヒ、繰延打切ヲ斷行シタルノミナラス、地方ノ自
治團體ニ向ヘマシテモ、地方長官ニ對シテ緊縮節
約ヲ獎勵シ、地方債ノ新規募集ハ大體ニ於テ之ヲ
禁止致シテ居ルノデアリマス、斯ノ如クニシテ公
債ノ消化力ノアラン限リヲ、或ハ公募ニ依リ、或
ハ借入金ノ形式ニ依リ、或ハ臨時國庫債券ノ形式
ニ依リ、有ラユル手段ヲ以テ此十五億圓ノ金ヲ調
達シヤウト云フノガ政府ノ計畫デアリマス、故ニ
之ヲ言換ヘテ見マスルナラバ、地方ヘヤルベキ金
ハ成ベク差控ヘ、而シテ地方デ起スベキ事業ハ押
ヘテ置イテ、サウシテ地方ニ於ケル貯蓄力ノ全部
ヲ擧ゲテ、之ヲ京濱ノ地ニ集中シテ、而シテ此十
五億圓ノ公債ノ財源ヲ充タシテ、サウシテ初メテ
此復興事業、復興計畫ガ出來ルノデアリマス(拍手
「ヒヤ」)言換ヘテ見レバ全國ノ地方ノ產業發

展、農村振興等ノ財源ハ總テ之ヲ中央ニ吸集シテ
サウシテ此全方ヲ注イテ帝都ノ復興、復舊事業及
ビ罹災地ノ復舊ノ補助ニ當テルト云フ計畫デアリ
マス(「ヒヤ」)「ノウ」斯ウ云フ場合デアリ
マスカラ、私ハ決シテ是ハ無理トハ申シマセヌ
ガ、斯ウ云フ場合デアルカラシテ吾々ト致シマシ
テモ、又殊ニ東京市民ト致シマシテモ、出來ルダ
ケノ事ヲ忍ビテ御互ニ我慢ヲ仕合ハナケレバナラ
ヌト考ヘルノデアリマス、ソレカラ又吾々トシテ
更ニ考ヘナケレバナリマセヌハ、東京市民橫濱
市民ノ將來ニ於ケル負擔デアリマス、此政府ノ計
畫ニ依リマスルト云フト、東京市ニ於テ復興計畫
ニ要スルモノハ全國ノ負擔ニ屬スルモノト、東京市
ノ負擔ノ形式ニ屬スルモノト合セマシテ五億八千
五百萬圓ニナルノデアリマス、其中純然タル國ノ
負擔ニ屬スルモノハ二億八千二百萬圓デアリ、其
後ノ三億三百萬圓ト云フモノハ東京市ノ負擔ニナ
ルノデアリマスガ、併ナガラ其大部分ハ或ハ
國ガ無利子デ貸付、或ハ利子ヲ補給シ、當分ノ中
東京市民ハ殆ド金ハ出サナクテモ宜イノデア
リマス、而シテ是ガ辨濟ニ付キマシテモ大藏
大臣ノ説明ニ依リマスレバ、無利子ノモノハ
勿論何時マデモ無利子デアツテ之ヲ何時カラ償
還サスカト云フ事ニ付テハ事業完成後ノ東京市
ノ經濟狀態ヲ見ヤウト云フノデアリマス、利子
ノ補給ハ事業完成ノ年、即チ大正十七年ヲ限リト
致シテアリマスガ、是亦其時ノ東京市ノ經濟狀態
ニ依ツテ或ハ延バスカモ知レヌト云フノガ大藏大
臣ノ言明デアリマス、又左様ニ致サナケレバ恐ラ
ク東京市ハ負擔ニ堪ヘヌデアラウト思ヒマス、故
ニ此計畫ニ依リマスレバ、二億八千二百萬圓ガ純
然タル國庫ノ負擔デアリ、東京市ノ負擔ハ三億三
百萬圓トナツテ居リマスケレドモ、此三億三百万
圓モ亦無利子デ以テ國ガ出シテヤリ、サウシテ有

ル時拂ヒノ催促ナシト云フ狀況デアリマス、此所
マデシナケレバ東京ハ立行キマセヌ、吾々ハ此東
京市ノ復興ハ成ベク一日モ早く致シテ、此巨額ナ
ル市債ノ元金償却ノ出來ルコトノ一日モ早カラシ
コトヲ希望致シマスガ、中ニ其時ハ容易デナイト
考ヘナケレバナラス、而シテ又一面東京市自體
ノ歲入ヲ調べマスルト云フト、是マデノ大正十一
年一御承知ノ通り大正十一年ガ最も地方ノ財政ノ
膨脹シタ時デアリマス、全國各地ヲ見マシテモ十
一年ガ一番額頂デアリマス、此時ニ於テ東京市ノ
稅收入ハ幾ラカト申シマスレバ、二千三百萬圓デ
アリマス、市民一人當ハ十圓七十五錢デアリマス
全國ノ都市ヲ見マシテモ全國ノ都市ノ中デ一人當
十圓以上ノ課稅ヲ致シテ居リマスル市ハ片手デ算
ヘル位シカナインデアリマス、故ニ十圓以上ノ一
人當ノ課稅ト云フコトハ輕イ方デアリマセヌ、
斯ノ如キ負擔ヲ致シテ居ツテ、尙且ツ二千三百萬
圓ホカ稅收入ハナインデアリマス、然ルニ此事業
完成後ニ於テ假リニ三億圓ノ負擔ヲ一時公債ヲ以
テ借入レテ置イテ、此利拂ヲ致スコトニ致シマシ
テモ、殆ド稅收入ノ全部ヲ持ツテ行カナケレバナ
ラスノデアリマス、此財源ニ付テ如何ニスルカト
云フ事ヲ聽イテ見マスと云フト、内務大臣ニ聽キ
マシタガ能ク分リマセヌ、ソコデ大藏大臣ニ聽イ
テ見マスと云フト、大藏大臣ノ答辯ニ依リマスレ
バ、大藏大臣ハ東京市ノ特別經濟ニ屬スル電車水
道等ノ收益ガ長キ年月ノ間ニハ相當ニ生ズル積リ
デアルカラ、之ヲ以テ一般會計ノ利拂附加稅ニ於
テ償還ノ爲ニ充テル、尙ホ東京市ノ國稅附加稅ニ於
キマシテハ自治團體ニ許シテ居ル制限外課稅ノ極
度マデ許シテ八百萬圓ノ增收ヲスル計畫ニシテ、
サウシテ此公債償却ノ財源ニ充テルト云フヤウナ
計畫デアルヤウデアリマス、併ナガラ此殆ド大都
市ノ七割マデガ燒失致シ、殊ニ經濟力ノ最も中心

地タル下町方面が全滅致シタノデアリマスガ故ニ、是ガ回復ハ中々容易デアリマセヌ、吾々ハ東京市ノ將來ノ經濟狀態ヲ考ヘテ見マス、餘程負擔ハ重イト考ヘマス、ソコデ吾々ハ一面財政上ヨリ考ヘ、又東京市民ノ將來ノ負擔ヨリ考ヘマシテ出來ルダケ此事業ハ應急已ムヲ得ザル範圍ニ止メル外ハナイト考ヘタノデアリマス、此ニ於テ先刻委員長ガ報告致シマシタ通り、吾々ハ三ツノ點ニ於テ修正ヲ加ヘタノデアリマス、第一ハ道路ノ費用ニ於テ約二割ト云フ目安ヲ置イタノデアリマス、二割ノ節減デアリマスケレドモ、吾々ハ此線路ノ全部ニ互ツテ一々細カニ修正スルコトハ立法府トシテハ容易ノ事デアリセマヌ、殊ニ此非常ニ短イ時日ニ於テ精密ニ之ヲ一々調査致シマスコトハ困難デアリマスガ故ニ、先づ國家ノ財政カラ考ヘ、東京市ノ負擔カラ考ヘマシテ、成ベク已ムヲ得ザル程度ニ止メルト云フコトニ致スノガ一ツノ趣旨、殊ニ此計畫ノ内容ヲ見マスト、或ハ是デ濟メバ宜シイガ、將來ニ於テ事業遂行ノ場合非常ニ是ガ増額ニナルカモ知レナイト云フ虞ガアルノデアリマス、而モ一旦着手スレバドウシテモ是ハ完成セズニハ置カレマセヌ、ソレデ先づ大體ニ於テ金高デ押ヘ、而シテ狭イ道路十二間幅以下ノ道路ハ先づ東京市ニ委ス、而シテ是ガ財源ニ付キマシテハ或ハ貸付金ヲスルトカ、或ハ補助ヲスルトカ、相當ナ方法ヲ講ズレバ宜シイ、要スルニ國ガアルベキモノハ先づ大體大キナ路線ニ止メル、成ルベク自治團體ノ機能ヲ發揮セシメテ、所謂地方各權ノ大主義ニ基イテ、東京ノ如キ我が帝國ノ中心地タル模範ノ大都市自治團體トシテ最モ天下ニ率先シテ事業ノ遂行ノ能力ヲ發揮シナケレバナラヌ都市ニ對シテ、小サイ事マデ國ガ干涉スルコトハ宜シクナイト云フ見地カラシテ、之ヲ修正致シタノデアリマス(拍手)三木君

ハ——三木武吉君ハ是ガ爲ニ却テ東京市ノ負擔ガ増スヤウニ御考ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此二割ヲ減ズル中ニモ東京市ノ負擔ハ隨分アルノデアリマス、ノミナラズ、十二間以下ノ道路ニ付キマシテモ吾々ハ東京市ノ負擔ニ堪ヘル範圍ニ於テヤルヨリ仕方ガナイト思ヒマス、若シ負擔ニ堪ヘナケレバ此復興院ニ於テ計畫シテ居ル所ノモノヲ、或ハ變更スル必要ガアルカモ知レマセヌ、吾々ハ兎ニ角負擔力ヲ考ヘテ行キマス、此程度ニ於テ止メルヨリ外ナイ(計畫ヲ變更スルノカニト呼フ者アリ)計畫ハ變更サレカモ知レマセヌ、故ニ先刻豫算委員會ニ於テ吾々同志ヲ代表シテ島田君ハ路線ノ面積——幅若クハ工事其他ノ點ヲ考慮シテ二割ヲ引イタト言ハレタノデアリマス、故ニ若シ政府ガ吾々ノ修正ヲ採用サレテ、事業ヲ遂行スル場合ニ於テ金高デ是リナカッタラバ、吾々ハ先づ是レ以上ノ金ハ大體ニ於テ許サヌト云フ方針デアリマス、此範圍内ニ於テ政府ガ或ハ路線ヲ縮メルナリ、或ハ路線ヲ少クスルナリ、相當ナ計畫ヲスルガ宜シイト思フノデアリマス、ソレカラ第二ノ問題ハ區劃整理デアリマス、政府ノ案ニ依リマスレバ、區劃整理ヲ國ノ力ニ依ツテヤルト云フノデアリマス、併ナガラ是ハ元ト政府ガ復興院會議ニ提案サレマシタ時分ニハサウデナカッタノデアリマス、復興院會議ニ提案サレマシタ時分ニハ大體ニ於テ路線ノ修築ノ爲ニ必要已ムヲ得ザルモノニ對シテハ、國ガ整理ノ事業ヲ致シマスケレドモ、大體ニ於テ地主組合ヲ制定サヤラセル、即チ現在ノ都市計畫法ノ制定サレタル精神ニ依ツテヤルト云フノガ、政府ノ方針デアツタノデアリマス、然ルニ審議會ニ於テ路線ガ削ラレタ爲ニ、事業ノ遂行上支障ヲ生ズルト云フ見地ヨリシテ、政府ハ元ノ計畫ヲ變更サレタノデアリマス、吾々ハ此多額ノ金ヲ投ジ、全國民ノ

膏血ヲ搾ツテ、此ニ投ジテ復興事業ヲ完成シヤウトスルノデアリマスカラ、此見地ヨリ考ヘマシテモ、東京ノ地主モ相當ノ犧牲ヲ拂ヒ互ニ都市ノ改良、都會ノ繁榮、帝都復興ノ基礎ヲ置ク爲ニ、出來ルダケノ努力ヲ拂ツテ、御互ニ組合デヤレバ出來ルト思フノデアリマス(拍手)又サウスルコトガ當然デアアル、必要已ムヲ得ザル所ハ國ガスベキト云フノガ、吾々ノ考デアリマシテ、即チ元ノ復興院會議ヘ政府ガ提案サレタモノニ引返ヘシタノガ修正ノ骨子デアリマス(拍手)ソレカラ復興院ノ事務費デアリマスルガ、此復興院ト云フモノハ、最初設立サレマシタ時分ノ御計畫トハ變ツテ居リハセヌカト私共ハ思フノデアリマス、最初ハ私共ノ考デアハ、今回ノ復興計畫ノミナラズ、所謂諸官省ノ所管ニ互ル復興事業、其他總テチ一手ニ引受ケテヤルト云フノデアリマシタ、昔ノ所謂工部省ノ如キモノガ出來テ、サウシテ凡テ土木建築等ノ此大震災火災ニ依ル事業ヲ、一手ニ引受ケルト云フヤウナ計畫デアツタノデアリマス、ソレナラバ意味ヲ成スノデアリマス、然ルニ復興事業ハ各省ノ所管ニ於テ之ヲヤルコトニナツテ居ル、今回ノ復興院デヤツテ居ル仕事ハ、名ハ復興ト申シマスケレドモ、實ハ都市計畫ニ過ギナイノデアリマス、(セヤヒヤ)即チ東京橫濱兩都市、竝ニ東京府、神奈川縣ノ都市計畫、竝ニ道路、橋梁、河川等ノ修築ノ仕事ヲヤルト云フコトニ過ギナイ、而モ府縣ニ對シマシテハ補助ヲスルニ過ギナイ、主トシテ復興院ノシマスル仕事ハ、東京市橫濱市ノ二大都市ノ都市計畫ノ事業ヲ遂行スルニ過ギナイ、他ニ何モ無イノデアリマス、サウ一致シマスレバ、斯ノ如キ官省ヲ内閣ノ直屬ニスルコト云フ必要ハ無イノデアリマス、元來行政組織ノ本筋カラ申シマスレバ、内閣ト云フモノハ行政事務ヲ執行スル機關デハナイ、行政事務ハ各省所管ニ移シテ置イテ、一省デスル、一

省ダケ限リノ仕事デナクシテ、數箇省ニ共通ノ場合ニ、已ムヲ得ズシテ内閣ニ行政事務ノ官廳ヲ置クノデアリマス、今回ノハ左様デアリマセス、如何ニ斯様ナ非常ナ場合ト雖、少シモ内閣ニ置ク必要ハ無イ、内務省ニ置イテ、内務省當然ノ管下ニ屬スル東京市横濱市ノ仕事ヲスルニ、何ノ差支ガアリマセウ(モヤ)其上ニ内務省ニ於キマシテハ、治水事業ニ致シマシテモ、或ハ道路ノ事業ニ致シマシテモ、港灣ノ事業ニシテモ、熟練堪能ナル者ガ幾ラモ居ルノデアリマス、此内務省ニ居ル熟練ナル經驗家ヲ中心トシテ、サウシテ足ラザルモノヲ集メテ來テヤリサヘスレバ、最モ圓滑ニ行クノデアル、復興院設置以來ノ狀況ヲ見マスルト云フト、折角復興院ヲ置イタガ、復興院ノ官吏ノ任命ニ付テハ殆ド希望者ガ無イ、内務省カラ熟練ナ者ヲ探ツテ來ヤウトシテモ、内務省カラ來ナイ、大藏省カラ探ラウトシテモ、大藏省カラ來ナイ、大多數ハ兼任デヤツテ居ルノデアリマス、寧ろ是ハ内務省ニ置キマシタナラバ、内務省ノ是迄ヤツテ居ル者ヲ中心トシテ組織スレバ、十分出來ルノデアル、サウナレバ又事業ノ遂行上ニ於キマシテモ、却テ便利カト私共ハ考ヘルノデアリマス、故ニ此復興院ノ事業費ヲ削リマシタト云フコトハ、吾々ハ復興院ニ對シテ何等ノ考ヲ持ツテ居リマセス、唯、復興院ト云フヤウナ内閣直屬ノ機關ヲ置クノハ、法制上本筋デナイ、又實際事務ノ遂行上カラ申シマシテモ、内閣ニ置クコトガ必要デ無クシテ、内務省ニ置ケバ宜イノデアル、是亦非常ナ事業ヲスルノデアリマスカラ、相當ノ機關モ要リマセウ、ソレ相當ナ經費ヲ要スルト云フコトハ、吾々ハ何時タリトモ適當ナル程度ニ於テハ協賛ヲ致スノデアリマス、斯ウ云フ意味デアリマシテ、要スルニ吾々ハ財政ノ見地ヨリ、又經濟ノ見地ヨリ、市民ノ負擔ノ將來ヨリ考ヘ、眞ニ嚴正公平ノ態度ヲ以

テ、能ク之ヲ考慮致シマシタ上ニ、斯様ナ修正ヲ致シタノデアリマス、東京市民ニモ能ク考ヘテ貰ハナケレバナラス、東京市民ダケカラ申シマス、此際完全ナ程宜シカラウ、ケレドモ前申ス通り、五億八千五百万圓ト云フ原案ニ依リマス、殆ド全部ハ國ガヤル、若クハ立替ヘルノデアリマス、斯ノ如クニマデヤツテ居ルノデアリマスカラ、東京市民モ吾々ノ誠意ヲ諒トセラシテ希望致ス(拍手)又吾々ガ修正致シマシタ案ガ通過致シマシテ、此復興計畫ヲ遂行スルニ付キマシテモ、東京市民ハ吾々ノ意ノ在所ヲ諒トセラレテ、互ニ協力一致シ、又其他地主ノ如キ、出來ルダケノ犧牲ヲ拂ツテ、吾々ガ組合事業ニ移シマシタ所ノ區劃整理ノ事ニ付キマシテハ、成ベク此自治團體ヲ援ケテ、此事業ノ一日モ速ニ完成ニ就テ努力アラムコトヲ希望スルノデアリマス、此修正案ニ對シテハ、政府ハ先刻湯淺凡平君ノ御質問ニ對シテ、總理大臣ハ、誠ニ此修正ニ就キマシテハ餘程重大ナ修正デアルヤウニ思フケレドモ、併ナガラ東京市民ガ一日モ速ニ其居ニ安ンジ、經濟ノ復活ヲ圖ラウト思ツテ居ル場合デアルカラ、政府モ不便ヲ忍ビデ之ヲ承諾致シタイト云フヤウナコトヲ言ハレタノデアリマス、サウナレバ詰リ政府ハ吾々ノ修正案ニ贊成セラレルコトニナル、此吾々ノ修正案ニ贊成セラレルナラバ、何モ憲政會議諸君ナドハ原案ヲ支持スル必要ハ無カラウト思フ(拍手)ソレ程迄ニ政黨ノ面目ヲ犧牲ニシ、サウシテ政府ニ御用振ヲ發揮スル必要ハ無カラウト思フノデアル(拍手)吾々ハ前申ス通り、忍ブベカラザルヲ忍ビデ居ル、吾々ガ是ダケノ事ニ就テ修正シテ贊成致シマスニ就キマシテハ、地方ノ狀況全體ヲ考ヘ、殊ニ我黨所屬ノ議員ノ中ニハ、隨分議論ガアリマス、地方問題等ニ就テモ主張ガアルガ、皆御互ニ我ガ帝國ノ帝都デアルト云フ考カラシ

テ、大ナル犧牲ヲ拂ヒ、吾々ハ忍ブベカラザルコトヲ忍ビデ之ニ贊成致シタノデアリマス、政府ニ於テモドウカ多少面目ヲ汚スヤウナコトハアリマセウガ、ドウカ政府ニ於キマシテモ我々ノ修正ニ從ツテ、成ベク速ニ東京市民ノ安定ヲ圖ルヤウニ希望致シテ置キマス、政府ニ於キマシテハ、吾々ノ案ニ大體同意セラレテ、此案ノ成立ヲ期スルヤウデアリマスカラ、ドウカ滿場ノ諸君ハ、何モ政府ニ向ツテ別ニ御用振ヲ發揮スルコトハナイ、吾々ノ案ニ贊成セラレンコトヲ希望致スノデアリマス(拍手)

〔横山勝太郎君登壇〕
○横山勝太郎君 本員ハ此機會ニ於テ罹災地デアル所ノ東京市或ハ横濱等ノ所謂罹災地ニ於ケル住民ノ感情ノ在所ヲ率直ニ表白致シテ置キタイト考ヘルノデアリマス(謹聽)只今政友會ノ三土君ハ、既ニ政府ガ政友會ノ修正ニ同意致シテ居ルデアルカラシテ、彼此原案ニ付テ贊成ノ意思ヲ表示スルノ必要ハ無イト云フ御説ガアリマシタガ(押賣)ノ必要ナシト呼フ者アリ)是ハ暴論モ亦甚シク、吾々ハ現内閣ニ向ツテ、一ツモ押賣モ何モ致シテ居リマセス、元來吾々ノ主張ハ、政府今回ノ計畫ト云フモノハ、甚ダ貧弱デアツテ、吾々ノ期待ニ副ハナイコト甚シイモノデアルト云フノガ、吾々ノ主張デアル、此故ニ吾々ハモウ少シ政府ガ遠大ナル理想ノ下ニ、モツト偉大ナル計畫ヲ樹テルコトヲ希望致シテ居ルノデアリマス、此意味ニ於テ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、總理大臣カラ聲明セラル、通り、又政友會ノ諸君カラモ御説明ノアル通り、今日ハ通常ノ場合デハアリマセス、非常ニシテ而モ急變ナル場合デアアルガ爲ニ、吾々ハ不満足デハアルケレドモガ、政府ノ原案ニ對シテ好意ヲ持ツテ居ル者デアル、其原案ニ對シテ吾々ガ贊成ノ意見ヲ表白スルト云フコトハ、吾々ノ當然ノ

權能デアル、此議會ハ政府ト政友會ノミノ議會デハ斷ジテナイ、吾々モ十分ニ發言ノ權利ガアル、殊ニ總理大臣ノ此席ニ於テ言明セラル、所ハ、甚ダ透明ヲ缺イテ居リマスルガ、總理大臣ノ言フ所ニ依レバ、此政府ガ責任ヲ以テ提出シタル案ニ付テハ、全會一致ヲ以テ賛成ヲ得ルコト、確信ヲ致シテ居ツタノデアルト云フコトヲ言ツテ居ル、又全會一致ヲ以テ通過スルコトヲ希望スルト云フコトヲ矢張言ツテ居ルノデアアル、然レドモ修正ガアル以上ハ、帝都ノ復興計畫ニハ差障リガアルケレドモガ、遺憾ナガラ之ニ賛成セザルヲ得ヌト、斯ウ云フ弱イ言ヲ吐イテ居ル、此故ニ吾々ハ此政府ノ聲明ノ誤レルコトヲ正シテ、何處迄モ原案ヲ以テ政府ガ最初ノ責任通り勇往邁進センコトヲ希望スルノデアアル(拍手)總理大臣ノ言動ハ、吾々甚ダ遺憾トスル所デアリマス、政府ハ本日ノ豫算總會ニ於キマシテ、鳩山君ノ質問ニ對シテ——此修正案ニ政府ハ同意スルカドウカト云フ發言ガアリマス、之ニ對シテ總理大臣ハ言ハレコトハ、是亦甚ダ透明ヲ缺イテ居リマス、議場ノ大勢ヲ見テ最後ノ決心ヲ表ハスルト云フコトヲ言明致シタ、然ルニ此席ニ参リマス、僅カ一時間カ三十分後ニ、此本會議場ニ來ルト云フト、湯淺君ノ質問ニ對シテ、議場ノ大勢ヲ見ルコトナク、此議案カドウ云フ運命ニ接スルカト云フコトヲ能ク考慮シナイ内ニ、數十分前ニ於テハ、議場ノ大勢ヲ見テ最後ノ決心ヲ爲スト云ヒ、數十分後ニ於テハ、此席ニ來ツテマダ討論ニモ演説ニモ入ラザルニモ拘ラズ、早く既ニ兜ヲ脱イデ、東京市民ニ對シテハ帝都復興事業上差觸リヲ生ズルケレドモ、之ニ賛成セザルヲ得ヌト云フ言明ヲ爲スニ至ツテハ、總理大臣ノ無責任ナル言動ト云フモノハ、吾々決シテ之ヲ看過スルコトハ出來ナイ(拍手)此豫算案ヲ提出スルニ付テハ、

御裁可ヲ經テ、全責任ヲ以テ此議會ニ提案致シテ居ルノデアアル、委員會ニ於テ修正ノ動議ガアツテ、ソレガ可決シタル云ハ、倉皇トシテ此席ニ來ツテ、早く既ニ闘フノ意思ヲ失シテ、政友會ノ軍門ニ降ルト云フガ如キハ、果シテ國務大臣ガ輔弼ノ責任ヲ盡シタルト云フコトガ言ヘルカドウカト云フコトヲ私ハ疑フノデアアル(拍手)吾々ハ冒頭ニ於テ此事柄ヲ政友會ノ諸君竝ニ内閣ノ諸公ニ申上ゲテ置キマス、而シテ進ンデ本案ノ修正意見ニ付テ、吾々罹災地ニ於ケル罹災民ノ感情ヲ最モ率直ニ申上ゲテ、諸君ノ批判ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、吾々罹災地ノ住民ハ、今回ノ震災ニ對シテ、政府ガ最モ遠大ナル理想ノ下ニ、官民上下ノ共ニ満足スル大計畫ヲ樹テ、此帝都ノ復興ヲ策スルコトヲ希望シ、又ソレヲ信ジテ居ツタノデアリマス、此故ニ豫算委員會ニ於テモ、一言質問ヲ致シテ置キマシタ通り、總理大臣ハ今日ノ國民ノ民度ニ鑑ミテ、今日ノ國民ノ負擔力ニ考慮ヲ致シテ、事業ノ計畫ノスルト云フコトヲ演説ニサレテ居リマス、計畫シテ、本員ハ固ヨリ事業ノ計畫ニ付テ、現代國民ノ負擔力ト云フコトヲ考慮ニ入レルト云フ事柄ハ、一應ノ根據ノアル事デアルケレドモ、今回ノ帝都復興ノ事業ノ如キハ、此事業完成ノ結果、其復興シタル事業ノ惠澤ニ浴スル者ハ、現代ノ國民ノミニアラズシテ、將來ノ國民モ亦其惠澤ニ賴ルノデアアルカラシテ、將來ノ國民ト共ニ此負擔ヲ分ツノ覺悟ヲ以テ、大計畫ナル復興策ヲ立テネバナラスト云フコトヲ吾々ハ言明致シテ置イタノデアリマス、此見地ヨリシテ、今回提案セラレタル此復興計畫ニ關スル豫算案ト云フモノヲ考慮致シマスルナラバ、洵ニ貧弱言フニ足ラザルモノデアアル、東京ヲ初トシテ、横濱其他罹災地ノ幾百万ノ住民カラ考ヘテ見マスルト云フト、如何ニモ情ケナイ

計畫デアルト云フコトヲ洵ニ遺憾ニ感ズル者デアリマス、此故ニ後藤子爵ハ初メ三十五億デアルトカ、三十億デアルトカ、餘程大キナル計畫ヲ立テテ居ラレマシタケレドモ、有ユル機會ニ於テ漸次漸次縮小セラレテ、サウシテ今日ノ爲體ニナツテ居ルノデアアル、而シテ此縮小ニ最モ最低度ニ迄縮小セラレタル案ニ對シテ、尙ホ且ツ此議場ニ於テ何處迄モ之ヲ貫徹セシムルノ勇氣ト熱心ヲ缺クト云フコトハ、吾々罹災地ノ住民カラ見レバ、如何ニモ不甲斐ノナイ後藤復興院總裁デアルト云フコトヲ斷言セザルヲ得ナイノデアアル(拍手)政友會ノ諸君ノ修正ノ第一點ハ、土地整理ニ於テ約三千五百六十萬圓ノ削減ヲ爲サルト云フ、其方法ニ付テハ豫算委員會ニ於テモ、可ナリ詳細ノ御話ガアリマシタカラシテ、私ハ之ヲ此所ニ報告スルノ義務ハ無イト思ヒマスルガ、要スルニ土地整理ト云フモノハ、大體現行法ニ依ツテ地主組合ヲシテヤラシメルト云フ事柄ガ政友會ノ修正ノ本旨デアリマス、御修正ノ趣旨ハ素ヨリ明瞭致シテ居リマス、私ハ此席ニ於テ斷言ヲ致シテ置キマス、若シ政友會ノ修正ノ趣旨ノ如クスレバデス、帝都ノ復興事業ノ一ツデアアル所ノ土地整理ト云フ事柄ハ、時日ノ遷延ヲ來スト云フコトハ爭フベカラザル事實デアアル、今日ノ場合デス、帝都ノ住民ガ斯ノ如キ困難ヲ致シテ居ル時代ニ、土地區劃整理ノ方法ニ於テ、假令一日デモ一箇月デモ、計畫ノ遂行ガ遅延スルト云フコトデアラナラバ、此責任ハ政友會及現政府ガ之ヲ負ハナケレバナラスト私ハ斷言シテ差支ナイト私ハ思ヒマス、(拍手)色々御批評ガアリマスルガ、政府自ラ取ツテ斷行スルト云フ今日ニデス、利慾ノ念ニノミ滿チテ居ル或ル一派ノ地主ニ之ヲ委シテ置イテ、此事業ノ進捗ガ遅レルカ早ク行クカト云フコトハ、常識ノ判斷デ分ルデハナイカ、(拍手)修正ノ第二ハ街路費ニ付

テ七千七百圓即チ約二割減ヲヤルト云フ御説デ
アリマス、此街路費ニ於ケル二割、七千七百有餘
萬圓ノ削減ニ付テハ幾々陳辯ハセラレテ居ルガ、
結局要領ヲ得ナイ、豫算委員會ニ於ケル質問應答
ノ爲體——アレハ何デアルカ、政友會ノ大失態ヲ
暴露シテ居ルデハナカ、二割減ノ根據ヲ説明ス
ルコトガ出來ナイ、而シテ此席ニ於テ三土君ハ曰
ク、餘リ小サイ事ニ進ンデ行ツテ説明スルト云フ
事柄ハ、立法部ノヤル事デハナイト云フ意味ノ言
ヲ發セラレテ居リマスルガ、何ガ小サイ問題デ
アリマス、七千七百圓ト云フ二割ノ天引ヲヤ
ルト云フ事柄ガ、何ガ小サイ問題デアル、此多
數ヲ有ツテ居ル政友會ノ諸君ガ、七千七百有餘
萬圓ノ削減ヲスル、其根據ヲ最モ明瞭ニ説明ス
ルコトガ出來ヌト云フ事柄ハ、即チ此天引説ノ誤
レル無基ナル削減デアルト云フコトヲ斷言シテ
憚カラナイ要スルニ此二割天引ハ、政友會ノ諸君
自カラ表明セラレテ居ルガ如ク、全ク之ハ天引
デアル、算盤ヲ撥イテ、削減スベキ根據ガアツテ
ノ合理的ノ削減デハナイ、政友會ガ或ル一部ノ政
府者ニ對シテ反感ヲ有ツテ居ル結果、或ル隠レタ
ル腹ノ中ニ何カ目的ヲ有ツテ居ツテ、所謂禍心ヲ
包藏シテ、根據ノ無い二割引ヲ斷行セントスルモ
ノデアルト云フコトヲ私ハ斷言スル、此二割天引
ノ如キハ、商人ノ店頭ニ立ツテ、商品ノ値ヲ知ラザ
ル田舎者ガ、行キナリニ割負ケテ臭レト云フ馬鹿
者ト同様ノ結論デアルト云フコトヲ斷言スル、政
友會ノ諸君ガ或ル目的ヲ腹ノ中ニ持ツテ何ヲ爲サ
ラウトモ、吾々ハ深く關係ヲシナイ、然レドモ是ガ
爲ニ帝都ノ罹災民ガ困ルト云フコトニ至ツテハ、
吾々ハ斷ジテ之ニ承服スルコトハ出來ナイノデア
ル、(拍手)殊ニ第三ノ復興院ノ經費二千二百有
餘萬圓ノ削減ニ至ツテハ、政友會ノ諸君ニ果シテ
罹災民ニ同情ナスルト云フ人間トシテノ同情心カ

アルヤ否ヤヲ疑ハザルヲ得ナイ(拍手)御承知ノ如
ク審議會或ハ復興院ノ如キハ、恐レ多クモ御詔勅
ノ精神ノ在ル所ヲ拜察シタル結果、現内閣ガ其責
任ヲ以テ制定致シタルモノデアルト云フ事柄ハ、
私此所ニ多ク論ズルノ必要ハナイ、過日來豫算委
員會ニ於テモ、復興院ガ詔勅ノ中ニ所謂特殊機關
デアルト云フ事柄ハ、總理大臣ノ自ラ聲明セラレ
テ居ル、御詔勅ノ與ハ其所在ルコトヲ拜察シ
テ、政友會ノ所謂龐大ナル復興院ヲ新設致シテ、
吾々カラ申セバ必ズシモ龐大ナル復興院トハ思ハ
ナイ、眼光豆ノ如キ政友會デハ、是デモ大キイモ
ノト思ツテ居ル、又復興院ノ廢止ヲ計畫スルガ爲
ニ、全然此復興院ニ要スル二千二百有餘萬ノ大削
減ヲ爲スニ至ツテハ、無責任ナル現内閣ノ言動
ハ、最早批判ノ限リニアラズ、多數黨タル政友會
ハ、此御聖旨ノ在ル所ヲ何ト見ルカ(拍手)此詔勅
ノ趣旨ヲ曲解シテ、罹災民幾百萬ノ人間ニ迷惑ヲ
及ボスヤウナ削減ヲスルニ至ツテハ、非國民モ
同様デアルト私ハ斷言スル、要スルニ街路費ノ二
割天引ト云ヒ、復興院ノ二千二百有餘萬圓ノ削減
ト云ヒ、全ク政友會ガ或ル目的ヲ以テ隠レタル祕
密ノ目的ヲ心裡ニ包藏致シテ、其禍心ヲ満足セシ
メンガ爲ニヤツテ居ル、洵ニ許スベカラザル政治
的ノ罪惡デアルト云フコトヲ私ハ斷言スル(拍手)
吾々ハデス、諸君ガ内務大臣ト爭議ヲ爲サラウ
ガ、總理大臣ニ打突カラウガ、諸君ノ自由ダ、然
レドモ吾々帝都ノ罹災民ノ側カラ申シマスレバ、
今回ノ震災ニ付テ之ヲ從來ノ内務省ノ古イ官
吏、而モ政友會ト特別ノ關係ノ出來テ居ル方面ノ
役所、其他ノ自治團體ニ之ヲ一任シテ、此大ナル
復興計畫ヲ遂行スルコトハ出來ナイト云フコトヲ
吾々信ジテ居ルノデアル、(出來ル々々々々)ト呼
フ)君等ガ出來ルト云フノハ、君等ノ意見デ、而
モソレハ間違ツタ意見ダ、吾々ハ今ノ内務省ノ官

吏ニ對シ、今ノ東京府、今ノ東京市ノ當局ニ對シ
テ、今回ノ此大災害ノ復興ガ出來ルト云フコトハ
信ズルコトガ出來ナイ理由ヲ澤山持ツテ居リマ
ス、若シ今ノ内務省或ハ東京府ノ官吏等ニ之ヲ一
任スルナラバ、五年デ出來ル土地整理、十年デ出
來ル區劃整理ト云フヤウナモノモ、何十年掛ルカ、
其結果ヲ豫測スルコトガ出來ヌト云フコトヲ私ハ
考ヘテ居ル、今日ノ場合ハ一日モ早ク燒跡ノ焦土
ヲ整理シ、街路ヲ整理シ、或ハ修築シ、或ハ道路
ヲ擴張シ、區劃整理ヲ致シテ、而シテ住民ニ生活
ノ安定ヲ與ヘテ、商工業ノ發達ヲ圖ルト云フコト
ガ、目前ノ急務デアルト私ハ考ヘル、ソレヲ是迄澤
山ナ事務ヲ持ツテ居ル所ノ從來ノ官廳ニ一任シ
テ、サウシテ新ナル施設ヲスルコトガ出來ナイ
トスルナラバ、御詔勅ノ精神ニモ反シマス、又眞
ニ罹災地ノ住民ヲ救済スルト云フ事柄ヲ政綱ノ一
ニ掲ゲテ居ル現内閣トシテハ、ドウシテモソレハ
出來ルコトデハナイ、此故ニ從來ノ官廳ニ依ルコ
トヲ爲サズンテ、復興院ト云フ制度ヲ設ケテ、内
閣直屬ノ官廳ヲ作ツテ、サウシテ國家自ラ之ヲ執
ツテヤルト云フノデアル、元來復興計畫ハ新タナ
事業デアリマス、九月一日ノ震災ノ結果、突發シ
タル事件デアリマス、九月一日ノ震災ノ結果、突發シ
申シマスレバ、計畫ハ可ナリ龐大ナモノデナクテ
ハナラヌ、遠大ナ理想ノ下ニ計畫シナケレバナラ
ヌ事柄デアリマス、ケレドモ、事ハ因ヨリ内務行政
ノ一部デアアル、内務行政ノ一部ニ屬スルコトヲ國
家自ラ取テ斷行スルト云フ事柄ガ、我が内務行政
ノ原則デアルト云フコトヲ私ハ斷言シテ憚ラナ
イ、此故ニ現政府ノ樹テタ計畫ガ、帝都ノ罹災民
カラ見レバ、計畫ハ寧ロ小ニ失シテ居ル、ソレヲ
地方黨員ノ多數ヲ以テ組織セラレテ居ル政友會ノ
諸君ガ、之ヲ以テ龐大ニ失スルト云フヤウナ議論
ヲナサルト云フ事柄ハ、未ダ嘗テ燒跡ニ一度モ行

ツテ見タコトノナイ人ガ、地方カラ漫然帝國議會ニ來ツテ左様ナ議論ヲスルノデアアル、全クハ机上ノ空論デアアル、諸君ガ京橋デアアルカ、日本橋デアアルトカ、或ハ本所深川ト云フ方面ニ一日デモ半日デモ車ニ乗ツテ行ツテ御調査ニナツタナラバ、此計畫ガ小サイカ大キイカ位ノコトハ、常識上直ニ判斷サレルコトデアアル、其燒跡ノ現狀ヲ一瞥スルコトナクシテ、唯、此席ニ立ツテ一割減ニセヨ、復興院ヲ廢止セヨト云フノハ全ク事情ヲ知ラザル地方ノ住民ニ媚ビテ帝都復興ノ大事業ヲ蹂躪セントスルモノデアアル、吾々ハ何處迄モ政友會ノ修正ニハ反對セザルヲ得ナイ、先刻モ三王君ノ議論ヲ拜聴致シテ居リマスルト、公債ニ依ツテ此帝都復興ノ事業ヲ實現セントセシムルガ、此財源ハ全部公債ニ依ル、其公債ヲ募ツテ全國ノ資力ヲ東京横濱ニ集メテ、サウシテ此事業ノ遂行ヲスルト云フコトハ、全國各方面カラ幾多ノ資力ヲ集メテ來テ、單ニ一地方ノ人民ノ幸福ノ爲ニ費消スルモノデアルト云フ意味ノ演説ガアリマシタ、是ハ思ハザルノ甚シキモノデアリマス、今回ノ震災ハ吾々ガ申ス迄モナク諸君ハ新聞雜誌ニ依ツテ御一讀ニナツテ居ルデアリマセウ、百五十万ノ罹災民ヲ作り十万人ノ死傷者ヲ出シ、百億ノ財産ヲ焦土ニ歸シテ居ルノデアリマス、此災害ガ歴史アツテ以來ノ大災害デアルト云フ事柄ハ、何人モ認メテ居ル事柄デアリマス、此關東方面ニ於ケル此大災害ハ、決シテ關東ノ一地方ノ災害ト見ル事ハ出來ナイ、決シテ之ヲ東京横濱ノ

〔柏谷議長退席松田副議長著席〕

ハ、當然ノ結論デアルト私ハ信ズルノミナラズ、帝都ハ帝都固有ノ人民ノミガ棲息ヲ致シテ居ル所デナイ、帝都二百三十万ノ住民ハ、土著ノ人間ハ餘リ多クハナイノデアアル、其多クハ今回ノ災害ニ於テ約百万ノ人口ヲ減少シテ居リマスルガ、其殘レル約百五十万ノ人間ト云フモノハ、或程度迄ハ全國各地ヨリ東京ニ移住致シテ居ルノデアアル、或ハ九州カラモ來テ居ルノデアリマセウ、四國カラモ來テ居レバ、北海道カラモ來テ居ル、此多數ノ全國ノ移住者ヲ以テ組織セラレテ居ル帝都デアアル、帝都土著ノ人間ト云フモノハ餘リ多クハナイノデアアル、即チ全國民ノ集リデアアル、其集ツテ居ル者ノ損害ヲ全國民ノ資力ニ依ツテ救済スルト云フコトガ、何ガ惡イノデアアル、ソレデアルカラ全國カラ資金ヲ集メテ公債ノ募集ニ應ジテ、此公債ニ依ツテ此事業ノ計畫ヲ行クト云フ事柄ハ、全ク合理的ノ事柄デアルト私ハ斷言シテ憚ラナイ、斯ノ如ク吾々ノ信ズル所ニ依レバ、全ク此計畫ヲ今回政府ノ提出シタル計畫、及ビ之ニ伴フ豫算ト云フモノハ、決シテ關東方面ノ罹災民幾百万ノ意圖ニ投ジタモノデハナイ、餘リニ貧弱ニ失シテ居ルモノデアルト考ヘテ居ル、其計畫ニ對シテ政友會ガ多數ヲ賴ンデ、或ハ復興院費ヲ削リ、或ハ街路費ヲ削リ、土地整理費ヲ削ルヤウナ、一億有餘方圓ノ大斧鉞ヲ加ヘルト云フ事柄ハ全ク此罹災地ニ於ケル幾百萬ノ住民ノ苦痛ト云フモノヲ閑却シタル机上ノ暴論デアルト私ハ斷言スル、政友會員ハ斯ノ如ク大斧鉞ヲ加フルコトヲ以テ——一億有餘方圓ノ大削減ヲ加フルコトヲ以テ財政上止ムヲ得ザルコト、シテ、恰モ全國ノ意思デアアルカノ如ク此處デ斷論ヲ致シテ居ラレマスガ、此今回ノ一大國難デアアル所ノ關東方面ノ大災害ニ對シテ、一億有餘方圓ト云フヤウナ根據ノナイ大削減ヲ加ヘルト云フ事柄ハ、決シテ善良ナ

ル我ガ帝國國民多數ノ意思デナイト云フコトヲ茲ニ斷言シテ憚ラス、即チ今回ノ災害ニ付テ、全國民ガ關東地方ノ罹災民ニ對シテ加ヘタ同情ト云フモノハ、吾々ハ全ク感謝ノ外ハナイノデアリマス、或ハ金錢ヲ贈ル者アリ、或ハ衣服ヲ贈ル者アリ、或ハ萬死ヲ冒シテ東京ナリ横濱ノ中ヘ見舞ニ來テ居ル、全ク是ハ我ガ帝國多數ノ國民ガ、罹災地ノ住民ニ對シテ表ハシタル最高ノ美德デアルト云フ事柄ヲ、私ハ全國民ニ感謝致シテ居ル者デアアル、斯ノ如ク全國民ハ個人トシテ非常ナ同情ヲ罹災地ノ罹災民ニ對シテ加ヘテ居ルニ拘ラズ、全國民ヲ代表スル政友會ノ諸君ガ、全國民多數ノ意圖ヲ無視シテ、サウシテ數字上正確ナ根據ヲ以テ説明スルコトモ出來ナイ天引ヲヤツタリ、事業ノ遂行ニ必要ナル復興院廢止ヲ企ツルコトハ、妄斷モ亦甚シイト斷言シテ憚ラス、要スルニ政友會諸君ガ此席ニ於テナサレタル事柄ハ、全國民多數ノ意志ヲ裏切ツテ、全國民多數ノ者ハ罹災地ノ住民ニ對シテ非常ナル好意ヲ持チ、同情ヲ持ツテ居ルニモ拘ラズ、此案ニ反對ヲ致シテ、一億有餘方圓ノ削減ヲ加ヘルコトハ、何カ地方ニ對シテ或ル土產物ニデモナルカノ如キ考デ、輕舉妄動スルト云フ事柄ハ、政治上許スベカラザル罪惡デアルト云フコトヲ私ハ斷言ヲ致シテ置キマス(拍手)現ニ政友會ノ中ニ有識者ガアル、政友會ノ中デ、東京市選出鳩山君ノ如キハ、原案ニ對シテ熱心ナル贊成者デアアル、私ハ此鳩山君ノ言動ハ、最も多ク罹災地ニ於ケル罹災民ノ心情ヲ代表サレ居ル私ハ確信シテ疑ハナイ、又本日ノ新聞紙ヲ拜見シマス、政友會ノ代議士萩亮君ハ、政友會多數ノ人——政友會ノ幹部ガ此復興計畫ニ反對ヲスルト云フコトニ憤慨ヲ致シテ、演説ヲ爲サレツ、アリシ際ニ、突如病氣ニ罹ツテ死シタト云フコトガ掲載サレテアル、諸君ハ之ヲ何ト見ル諸君ハ

諸君所屬ノ議員タル萩亮君ノ公名正大ナル心事ニ對シテ恥ヅベキデハアリマセムカ(拍手) 妙ナ削減ヲ加ヘテ、良心ノアル自己所屬ノ多數ノ正義ヲ壓倒シテ、サウシテ議場ニ於テ自由ナル活動ヲ爲サシメズ、或人ヲシテ憤死セシムルニ至ルヤウナ舉動ヲ取ルコトハ、政友會ノ暴行デアルト私ハ斷言スル(拍手) 私ハ此席ニ於テ斷言ヲ致シテ置キマス、今回政友會ノ一億有餘萬圓ノ削減ト、土地區劃整理ニ於テモ、街路費ニ於テモ、復興院廢止ニ於テモ、何レモ帝都復興ノ大事業ニ對シテ一大妨害ヲ與ヘタモノデアルト云フコトヲ私ハ斷言スル、吾々帝都ノ罹災民ハ、一日モ速ニ此復興計畫ヲ實現セシメテ、而シテ生活ノ安定ヲ得ナレバナラヌ、吾々ノ生活ヲ充實シ、吾々ノ生活ヲ向上セシメル所ノ、洵ニ人間必然ノ希望ヲ持ツテ居ルノデアル、此希望ニ對シテ此議席ニ於テ僅カ二百三百ノ多數ヲ持ツテ居ツテ、此吾々ノ正義ヲ蹂躪スルト云フ事柄ハ、多數ヲ頼ンデ憲政ノ上ニ一大暴行ヲスルノデアル、吾々帝都ノ住民、東京横濱神奈川縣等ノ住民ニ代ツテ、此事柄ハ政友會多數ノ爲デアルト斷言スルヲ憚ラヌモノデアル、凡ソ吾々ガ帝都復興ノ事業ヲ遂行シテ、生活ヲ充實シ、生活ノ向上ヲナサントスル此希望ヲ、政友會ノ諸君ガ蹂躪スルト云フ事柄ハ、全ク政友會ガ多數ノ力ヲ頼ンデ、而シテ所謂政治ノ手段ニ依ツテ、吾々罹災地ノ住民ノ生活ノ安定ヲ迫害スルモノデアルト斷言スル、(頭ヲ冷シテ來イ)ト呼フ者アリ)而シテ一面現内閣ノ諸公ニ向ツテモ吾々ハ一言セザルヲ得ナイ、一廉ノ苦言ヲ呈セザルヲ得ナイ、現内閣ノ諸公ハ斯ノ如キ計畫ヲ立テラレテ、之ニ依ツテ始メテ國家百年ノ長計ヲ斷行スルコトガ出來ルト確信サレテ此席ニ出シタノデアル、而シテ政黨政派ノ上ニ超越致シテ

○副議長(松田源治君) 三善君ニ注意致シマス

○横山勝太郎君(續) 國民ト共ニ多數國民ノ正義ニ訴ヘテ此政治ヲヤルト云フコトヲ天下ニ聲明致シテ居ル、サウシテ多數黨デアル所ノ政友會ノ牽制ニ遭ウテ、一溜リモナク此事業ノ計畫ヲ擲擲シテ、而シテ政友會員ノ前ニ鞠躬如トシテ其削減ニ降服スルノ已ムヲ得ザルコトヲ聲明セラル、ニ至ツテハ、山本總理大臣ノ政治的ノ墮落ハ殆ド言語ノ外ニ在リト謂ハナレバナラヌ、政友會ガ斯ノ如キ暴行ヲ逞ウスルナラ、斯ノ如キ政治的ノ暴行ヲ逞ウスルナラバ總理大臣ハ宜シク 天皇陛下ニ奏請シテ、即時此議會ヲ解散スベキモノデアルト私ハ考ヘル、議會ノ解散ヲ爲スコト能ハズ、橫暴黨ノ前ニ雌伏シテ、而シテ 上聖旨ノ在ル所ヲ國民ニ徹底セシムルコトガ出來ナイト云フ、此一事ヲ以テ現内閣ニ對シテ、吾々ハ不安ヲ感ズル者デアル、私ガ茲ニ發言致シタル此數言ハ、明ニ罹災地ニ於ケル罹災民ノ意思ヲ大膽卒直ニ表白シテ居ルモノデアルト云フコトヲ聲明致シマス、而シテ此罹災民ニ代ツテ私ノ爲シタル發言ハ、此所ニ席ヲ有シテ居ル政友會員以外、全國ノ多數國民ノ意思ヲ代表シテ居ルモノデアルト云フコトヲ斷言シテ、私ハ此見地ヨリ此豫算ニ對シテ一億有餘萬圓ノ大削減ヲ加ヘタル政友會ノ暴舉ニハ、斷ジテ贊成スルコトガ出來ナイ、吾々ハ斯ノ如キ不都合千萬ナル削減案ニハ、斷ジテ贊成スルコトガ出來マセヌ、吾々ハ多數ノ罹災民ト共ニ政治的ノ手段ニ依ツテ、政友會諸君ノ責任ヲ問フ機會ノアルコトヲ茲ニ聲明シテ降壇致シマス

(吉植庄一郎君登壇)

○吉植庄一郎君 私人委員長ノ修正案ニ贊成ノ趣意ヲ述ベヤウト思ウテ居リマシタガ、既ニ内閣總理大臣ハ先刻言明テ此議場ニ爲サレタ以上ニハ、多言ヲ要スル必要ハ無イト存ジマス、只今横山君ノ如キ御名論モアリマシタガ、最早是等ノ事ハ取急イデ此復興ノ事業ヲヤラウト云フ時ニハ、成ベク左様ナ無益ナ言論ハシナイ方ガ宜イト思ヒ、唯、委員長報告ノ修正案ニ贊成ノ意思ヲ表明シテ此壇ヲ降りマス(拍手)

(田川大吉郎君登壇)

○田川大吉郎君 諸君、政府ニ向ツテ戦ハウカ、政友會ニ向ツテ戦ハウカ、是ハ一シキリ前マデ感ハサレマシタ、已ムナク兩者ニ向ツテ戦ハウトシテ今此壇ニ立チマシタ、本來ハ私ハ政府ノ復興計畫ヲ完全ナリト思ウテ居タ者デハアリマセヌ、サリナガラ東京横濱ニ向ツテ四億五千萬圓ノ資金ヲ投ゼントスルノ計畫ハ、必シモ過大デナイト考ヘテ居リマシタ、故ニ事ガ順當ニ進ミマスナラバ、私ハ此壇ニ於テ政府ノ原案ヲ擁護スベキ位置ニ立ツ積リデアリマシタ、ケレドモ先程カラ御話ノ如ク、山本首相ガ此所ニ出テ、而シテ政友會ノ修正案ニ贊成スルト言明セラレマセヌマデモ、言明シタト同様ノ口吻ヲ弄セラレマシタ以上ハ、私トシテハ茲ニ辯護スベキ原案ハ無イトデアリマス、全ク原案ハ無イトデアリマス、極テ不可思議ナル議會デアアル、山本首相ハ此處ニ御出ニナリマセヌケレドモ、第一議會以來未ダ會テ見ザル奇怪ナル議會デアアル、私共ハ此原案既ニ倒レマシタル以上ハ、爲シ得ル限リハ政友會ノ修正案ニ向ツテ贊成シタイ、ソレガ此場ニ於ケル私共ノ當然ノ態度ト思ヒマス、サリナガラ又贊成ガ出來マセヌト申シマスノハ、政友會ノ修正ノ内容ガ甚ダ不正確、不確實デアリマス、此故ニ贊成ヲ表シ兼ねマス、此場合ニ多クノ議論ヲ重ネル必要ハ無イト思ヒマスカ、簡單ニ政友會ノ諸君ニ向ツテ其内容ヲ不確實ナリト認ムル一點ヲ述ベテ御反省ヲ願ヒマス、其一點ハ東京市ヲ標準トシテ申シマスガ、政友會ノ東京市ノ街路計畫ニ向ツテ加ヘラレタル二割ノ削減、金高ハ約六千四百萬圓、此削減ノ根據、修正

ノ根據ガ極メテ不確實デアリマス、政友會ノ方ハ十二間以上ノ道路ハ政府ヲシテ施設セシメル、六間以上十二間以下ノ道路ハ東京市ヲシテ施設セシメルト仰セニナリマシタ、隨ツテ街路費ノ三億二千萬圓ノ二割ヲ削減スルト仰セニナリマシタ、政府ガ此度ノ計畫ニ於テ著手セントシテ居ル、買上デントシテ居ル道路、擴張セントシテ居ル用地ノ總面積ハ、東京市ニ於テ百九万坪デアリマス、此中六間以上十二間幅以下ノ道路ノ總面積ハ、必要トセラレル總面積ハ四十一万二千坪デアリマス、政友會ハ此四十一万二千坪ヲ政府ノ手ヨリ取離シテ、東京市ノ手ニ託シテ施設セシメント主張セラレルノデアリマス、此四十一万坪ヲ政府ノ手カラ取去ラレマスコトノ計算ハ、六千四百萬圓デアリマセヌ、故ニ政友會ガ政府ノ街路計畫ノ中カラ六千四百萬圓ヲ削減セントセラレルコト、十二間以下ノ道路ヲ東京市ニ託セントセラレルト云フコトハ、一致致シマセヌ(拍手)先ヅ今ノ四十一万二千坪ノ價ヲ概算シテ御覽ナサイ、坪二百圓トシテ其處ニ八千萬圓ガアル、其四十一万坪ノ工事、街路ヲ擴張致シマス工事ノ費用ハ、少クモ三千萬圓ハ掛カルト見ナケレバナリマセヌ、何故ナラバ百九万坪ノ工事ニ向ツテ政府ハ七千六百萬圓ヲ投ゼントシテ居ラレル、サスレバ四十一万坪ノ擴張ニ向ツテ三千萬圓以上ノ經費ノ投ゼラレルコトハ當然デアリマス、此二口デ一億一千万圓ニナル、ノミナラズ政府ハ此百九万坪ノ工事ノ爲、雜工雜費トシテ千八百萬圓以上ヲ投ゼラレントシテ居ラレル、其四割、ソレハ七百萬圓以上ニナル、此三口ヲ合算致シマスルト、是ガザツト一億二千万圓ニナルノデアリマス、政友會ガ此四十一万坪ノ事業工事ヲ一切東京市ニ讓ラントセラレルナラバ、此豫算面カラハ當然ニ一億二千万圓ヲ削減セラルベキ譯デアアル、政府ノ提案シテ居ル三億

二千万圓ニ對シテ一億二千万圓ヲ削減シテ、約二億萬圓ト修正セラルベキ筈デアリマス、斯様ニ修正セラルレバ、政友會ノ修正總額ノ一億三千万圓ハ更ニ増シテ一億八千圓トナルベキデアリマス、此復興豫算ノ全計畫ヲザツト六億圓ト致シマシテ、政友會ノ方針ニ從ヘバ一億八千万圓ガ削減セラルベキデアアル、サウデナケレバ政友會ノ計算ハ合致シナイノデアリマス、算盤ガ合ハナイノデアリマス、其算盤ノ合ハナイ計算ガ此處ニ現ハレテ居ル、如何ニ贊成シヤウト思ツテモ、贊成ノ仕樣ガナイデハアリマセヌカ(拍手)今日迄私ハ此處デ豫算ヲ眺メタコトハ何度カアリマスガ、コンナ風ニ計算ノ合ハナイ豫算ヲ見マシタコトハ初メテデアリマス(拍手)此初メテ目ニ遇ヒ、又吾々ガ討論スル場合ニ、政府ノ原案ガ倒レテ居ルト云フ奇態ナル境遇ニ立ツタコトモ、今回ガ初メテデアリマス(拍手)同時ニ其修正案ニモ亦計算ガ合致シテ居ナイト云フ、不思議ナル豫算ヲ見セラレマシタコトモ今回ガ初メテアル、私共ハ政府ニ向ツテ贊成ノ仕樣ガアリマセヌ、サリトテ政友會ノ案ニ向ツテ贊成ノ仕樣ガアリマセヌ、已ムナク政府ニ向ツテ戦ヒ、政友會ニ向ツテ戦ハナケレバナラス、私ハ私ノ屬シテ居ル革新俱樂部ノ同人ガ、此處ニ如何ナル態度ヲ執ラレルカト云フコトヲ、代表的ニ言明スルコトハ出來マセヌケレドモ、私自ラハ此討論ニ與ツテ、私ノ立場ヲ言明シタル後ニ於テ、愈々探決ヲ問ハル、場合ニハ投票ヲ棄權スルノ外ハナカラウカト思フ、ドウモサウダト思フ、政府——現内閣ハ私共ヲシテ斯ノ如キ不可思議ナル境遇ニ立タシメラレタノデアアル、議會政治ノ精神、議會ノ討議ノ方法、其事ヲ山本總理大臣ガ果シテ御理解ガアルカラ私ハ疑フノデアアル、斯様ニ論ジ來リマスレバ、政友會ノ方々ニ私共ハ御答ヲスル必要ハ多ク無イノデアリマス、

ケレドモ三土君ノ言ハレマシタコトニ基イテ、尙ホ少シク私共ノ立場ヲ明ニ致シテ置キタイ、三土君ハ此復興豫算ノ内容ヲ、政府ノ計畫ト東京市ノ負擔ト二分タレテ、東京市ノ負擔スベキ總額ガ、政府ノ負擔スル總額ヨリモ多イヤウニ申サレマシタ、此豫算ハ如何ニモ複雑シテ居リマスル爲ニ、三土君モ計算ニ多少悩マレタデアリマセウ、私自身モ悩ミマシタ、故ニ私ノ計算ガ必ズ正確ナルトハ申上兼ネマスケレド、私ノ計算ニ依リマスレバサウデナイ、此豫算ノ總額ノ中デ、政府ノ純粹ナル政府ノ負擔ニ屬スベキ金高ハ、約二億三千万圓デアリマス、純粹ナル東京市ノ負擔ニ屬スベキ金額ハ、約二億八千万圓デアリマス、故ニ政府ガ約五割五分ヲ負擔セラレテ、東京市ガ約四割五分ヲ負擔セララルベキ計畫ニナツテ居ルト思フ、此二億八千万圓ノ東京市ノ負擔ニ對シテ、市民ノ負擔ガ甚ダ重過ギル、市民ガ苦シカラウト三土君ハ申サレマシタ、私共ノ市民ノ苦シイ境遇ヲ察シナイデアリマセヌケレド、尙ホ其計算ハ、三土君ノ計算セラレタ所トハ違ツテ居リマス、此二億八千万圓ノ中ニ、東京市カラ政府ヘ辨濟スベキモノハ約一億二千万圓ト私ハ思ツテ居ル、之ニハ利子ハ附イテ居リマセヌ、東京市ガ他日復興シタ場合ニ、將來三十箇年ニ亙ツテ之ヲ辨濟スル計畫ト云フコトデアアル、一億二千万圓ヲ三十箇年ニ分ツノデアリマスルカラ、一年ノ負擔ハ四百萬圓ニナル、他ノ一億五千万圓ノ負擔、此中ニハ電車ノ事業モアレバ、上水ノ事業モアレバ、中央市場ノ事業モアレバ、斯ノ如キモノハ皆相當ノ利益ノ伴フ事業デアリマス、是ハ計算ノ外ニ除イテ宜シイノミナラズ、道路ヲ擴張スルニ當ツテ、受益者ノ負擔ニ屬スベキモノモ、少ク見積リマシテ三千万圓ハアル、斯ノ如キモノヲ除キ去リマスレバ、純粹ニ東京市民ノ負擔トナルベキ金高ハ、此中ニ於テ八千万

圓ハアリマセヌ、八千万圓以トデアリマス、サウ計算致シマスレバ、他日東京市ガ有利ノ公債ヲ支拂ヒマス爲ニ準備スベキ金高ハ、元利ヲ合セテ一年五百万圓ニシテ足リルト思フ、一方ニ於テ有利ノ公債ニ對シ元利五百万圓、政府ニ對シテ四百万圓、合計九百万圓ヲ負擔スレバヤツテ行ケラレルヤウニ計算セラレマシタ、東京市民ハ此負擔ニ堪ヘ得ルト私ハ信ズル、所デ三主君ハ從來ノ豫算ニハ剩餘金ガアツタケレドモ、今後ノ豫算ニハ剩餘金ガ無イト言ハレタ、私ハ剩餘金ヲ見ル、豫算ノ編成ヲ惡イ編成方法ダト思フテ多年之ヲ非難シ來ツテ居リマスケレド、ソレハ別論デアリマスソレハ別論トシマス、但シ政府ノ十三年度ノ歳計ニハ尙ホ剩餘金ガアルト見テ居マス、尙ホ剩餘金ガアリマス、ソレハ十一年度ノ歳計ニ於テ經常歳入ハ十四億二千万圓ヲ超エテ居リマス、ソレニ十三年度ノ豫算ニ於テ政府ガ經常歳入ニ見積ツテ居ラレル所ノモノハ十二億一千万圓デアル、故ニ十一年度ノ現計ニ較ベタナラバ其處ニ二億一千万圓ノ餘裕ガアルノデアリマス、震災ニ因ツテ減少致シマシタル歳入ハ、之ヲ一億四千万圓ト大藏大臣ハ仰セニナル、此二億一千万圓ノ餘裕ノアル時ニ震災ニ因ル減ハ一億四千万圓デアリマスカラ、其處ニ尙ホ七千万圓隠レテ居ル、私ハ此剩餘ノアルコトヲ信ズル者デアル、隨テ政府ノ立テラレタ豫算ニ對シテハ餘リ批評ヲ致シマセヌガ、兎ニ角其處ニ七千万圓以上ノ餘力ノ殘ツテ居ルコトヲ私ガ主張致シマス、ソレカラ糞ニ委員長ノ御報告ノ場合ニ於テ、同志ノ大口君カラ故障ヲ申述ベラレマシタガ、政友會ノ方カラ此場合ニ行政財政ノ整理ヲ希望セラレマシタコトハ、私共同志ニ於キマシテハ同感デアリマスケレド、此決議ヲ通過セシメルニ當ツテ私共ノ執リマシタ態度ニハ御注意ヲ願フ、大口君ハ此政友會ノ御提議ニ

賛成スルニ當ツテ、ソレハ十年前カラ我が同志ノ取り來ツタ方針デアツテ、行政財政整理ト云フコトハ我が同志ガ十年前カラ取來ツタ方針デアツタ(拍手)我が同志ガ之ヲ唱ヘル場合ニ於テ、政友會ノ方ニハ兎角之ニ反對セラレタ、今日政友會ガ目ヲ醒シテ下スツタコトハ吾々ノ感謝スル所デアリマス(拍手)目ヲ醒サレルコトガ餘リニ遅カッタ、我が財政、我が行政ノ狀態ヲ今日ノ狀態ニ陷レタル其大ナル責任ハ政友會ノ負ハナケレバナラス所デアリマス、斯様ニ大口君ハ申サレタノデアリマス、此一齣ハ最も政友會ノ諸君ニ於テ明ニ御記憶トサルコトヲ希望致シマス

○副議長(松川源治君) 定刻ニナリマシタカラ時間ヲ延長致シマス

○田川大吉郎君(續) 東京市ノ負擔ニ關シテ尙ホ一言ヲ附加ヘルコトノ必要ヲ感ジマス、ソレハ政友會ノ唱ヘル地租増額、政友會トハ申シマセヌ、私共同志ノ唱ヘル來リマシタル地租増額、此事ヲ此時ニ實行セラレバ、政友會ノ主張ノ通りニ、此地租増額ヲ、全國ノコトハ暫ク後廻シト致シマス、東京市横濱市ノ如キ震災ニ罹リマシタル此土地ニ、此時ヲ機トシテ地租増額ヲ實行致サレマスレバ、東京市民ノ負擔ニ對シテ御心配ナサレル三主君ノ御心配ハ自然ニ消エル管デアリマス、何故ナラバ東京市現在ノ有租地ノ面積ガ一千三百万坪アル、此法定地價ハ九千六百万圓デアリマス、一坪當リ六圓ノ地價ニナツテ居リマス、之ヲ六十圓ト見積リマスコトハ左程ムヅカシイ事デハナイデセウ、現ニ政府ノ提案ニハ全市ヲ通ジテ平均二百圓ト見積ツテアル、此場合東京市ノ現在ハ六圓ノ地價ヲ見積ツテアリマスガ、之ヲ六十圓ト見積ルコトハ困難デアリマス、サスレバ是ハ九億六千万圓ニナル、九億六千万圓ニナリマシタ場合ニ、百分ノ一

ノ地租ヲ課シマスレバ、九百六十万圓ガ東京市ノ懐ロニ這入ル、若シ二分ヲ課シマスレバ千九百二十万圓ガ東京市ノ懐ロニ這入ル、要スルニ茲ニ地租ヲ東京市ニ委譲致シマスレバ千万圓乃至一千万圓ニ近キ收入ガアリマス、現在政府ガ東京市ニ對シテ、東京市カラ二百三十万圓ノ地租ヲ徵收シテオキデニナル、此二百三十万圓ノ地租ヲ抛ツテオシマヒナサルコトハ、政府ハ左程困難ナ事デナイ、其二百三十万圓ヲ政府ガ抛ツテ、之ヲ東京市ニ委譲セラレマスレバ、東京市ハ立ロニ千万圓以上二千万圓ノ歳入ヲ見ルノデアリマス、其方法ニ依ラズトモ東京市ハ新シク起債ノ負擔ニ堪ヘ得ルダラウト思ヒマスケレドモ、若シ堪ヘ難シトスレバ政友會ノ主張セラル、所ノ此地租増額ノ實行ヲ希望セラレテハドウデアリマス、政友會ノ盡方ニ依ツテ、私共ノ多年ノ希望ヲ貫徹スルコトガ出來レバ、私共モ甚ダ幸デアル、同時ニ東京市民モ其幸ニ浴スル譯デアリマス、隨テ東京市民ノ負擔ガドウデアラウカト云フ此場合多ク御心配ナサル必要ガナカリサウニ思フノデアリマス、コ、デ私ハ政友會ノ修正案並ニ政友會ノ主張ニ對シテ、私ノ考ヘテ居リマス一般ヲ述ベ終リマシタ、私ハ更ニ政府ニ向ツテ希望スル所ヲ述ベタイト思フ、第一ハ其事業ヲ公債ニノミ依ラレルコトニ私ハ不満足デアリマス、此震災ノ結果ヲ全部後世ノ子孫ニ課サル、背負セラレルコト云フコトニ不満足デアリマス、私共今日ノ國民ハ、如何ニ苦ミマシテモ此負擔ノ幾分ヲ背負ハナケレバナラヌト思フ、其計畫ヲ御立テニナラナカツタ、私共ハ此困難カラ免レテ、サウシテ此負擔ノ全部ヲ後世ノ子孫ニ背負セントスル今日ノ財政計畫ニナツテ居リマスカラ、甚ダ不快ニ思ヒマス、第二ニ東京市及横濱市ノ起債致シマス此場合ニ於テ、政府ハ保障ノ位置ニ立タント

シテオキデニナルノデアリマスガ、東京市横濱市ハ今度ノ震災ニ由ツテ、外國ノ人カラ見レバ全滅シタト思ハレテ居ルヤウデアリマス、故ニ政府ガ保障ノ位置ニ立タントヒラレルノデアリマスケレド、政府ガ外國ニ向ツテ大ナル公債ヲ起サレマストキニ、寧ろ東京市、横濱市ノ分ヲ一括シテ政府ニ於テ起債セラレ、政府ノ餘力ヲ東京市、横濱市ニ向ツテ貸與ヘテ下サル方法ニ付テ、更ニ繰返シ御考ヘ下サルコトヲ希望致シマス、其事ガ東京市竝ニ横濱市ノ利益デアアルノミナラズ、實ニ日本國家ノ利益デアリマス、第三ニ築港及京濱運河ノ事業デアリマスガ、是ハ今日ノ案ニハ現レテ居リマセヌ、併シ來ルベキ通常議會ニ此案ヲ提出セラレ御趣意ノ如ク承リマスガ、私ハ此事業ヲ寧ろ東京市ニ向ツテ委ネラレンコトヲ望ム、東京市ハ必ズ自己ノ力ニ依ツテ之ヲ經營セントスル準備ガアリマセウ、若シ東京市ガ之ヲヤルニ堪ヘナイ場合ニ於テハ、寧ろ民間ノ會社ヲシテ之ヲ計畫セシメラレルコトヲ望ム、是ハ東京市ノ爲ニ、又横濱市ノ爲ニ必要ナルコトデアアルト仰セニナリマスガ、國ノ港灣ヲ國家ノ力ヲ以テ經營シタ所ガ何處ニアリマスカ、倫敦ニセヨ、紐育ニセヨ、漢堡ニセヨ、世界ノ大都ト言ハル、港ハ總テ人民ノ手ニ依ツテ經營セラレテ居ル、獨リ日本國民ノミガ港ヲ經營スルニ足リナイト云フ筈ハナイ、故ニ政府自ラ此事業ヲ經營セラル、方針ヲ、此場合ニ寧ろ一擲セラレ、將來ハ此事業ヲ東京市カ若クハ私立會社ノ手ニ移サル、コトヲ希望スルノデアリマス、是ガ此案ヲ議スルニ當ツテ私ノ政府ニ向ツテ申シ、竝ニ政友會ニ向ツテ申サントスル大要デアアル、私ハ本問題ヲ眞面目ニ論議スルナラバ、モット諸君ニ懇ヘテ見タイ意見ガ數々アリマス、併シナガラ如何ニモ骨拔案デアアル、權威ノナキ案デアアル、之ニ向ツテ力ヲ注グノハ自ら願ミテ洵ニ馬鹿々々シイ感

ジニ堪ヘマセヌカラ、之ヲ以テ此席ヲ降ルノデアリマス、暫クタリトモ諸君ノ御聽キヲ讀シマシタコトヲ甚ダ御迷惑デアツタラウト思ヒマス、御氣ノ毒ニ思ヒマス、吾ナガラ残念デアリマスガ此一官ハ遺シテ置カケレバナラヌ、特ニ山本内閣ノ時代ニ於テ此事ノ起リマシタノハ、痛恨ノ情ヲ懷イテ此一官ヲ遺シテ置クノデアリマス(拍手)

○副議長(松田源治君) 森下龜太郎君

○森下龜太郎君登壇

○森下龜太郎君 豫算案ノ魂ハ既ニ岐阜ニ參ツテ居ルノデアリマス、私共ハ國民ト共ニ此豫算案ノ葬式ヲ其寫眞ニ依ツテスルト云ノ意味ニ於テ、茲ニ政友會ノ御修正ニナリマシタ其修正ニ對シマシテ、反對ノ意見ヲ述ベタイト思フノデアリマス、申スマデモナク國家ノ非常ノ時ニ際シマシテ、之ニ處スル善後策ヲ致シマシテハ、之ニ順應スル所ノ機關ヲ設ケテ、以テ遺憾ナキヲ期スベキデアルト云フコトハ固ヨリ言フマデモナイコトデアリマス之ヲ問題トナリマシタ地區ノ整理ニ付テ申シマスレバ、此一大事變ノ後ヲ承ケマシタ善後策ヲ致シマシテハ、私共ノ考ニ依リマスレバ、國家最高ノ絕對權力ニ依リマシテ、是ガ施設ニ伴フ所ノ一切ノ障礙ヲ排除スルト云フ機關ノ下ニ勵ヲシナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、然ルニ本日豫算委員會デ島田君ノ御説明ヲ承リマスレバ、斯ノ如キ權力ヲ振廻サズトモ彼ノ道路法若クハ都市計畫法ナドニ依ツテ之ヲ遂行スルコトハ、決シテ難事デナイト云フ大體ノ御説明デアリマシタガ、御存ジニ通り道路若クハ都市計畫法ノ如キハ、一面カラ申シマスルト人権尊重ノ意味ニ於キマシテ、彼ノ地主ナルモノト企業者トノ間ニハ、妥協妥議ヲ旨トスル所ノ意味ヲ以テ立案セラレタル所ノ平時法デアリマシテ、斯ノ如キ意味ニ於ケル所ノ平時法ヲ國家非常時ニ處スル所ノ一機關ニ當テルコト

ハ、私共ハ其適當ナルコトヲ知ラヌノデアリマス(拍手)此見地カラ政友會ノ此地區ノ整理ナル所ノ重大ノ仕事ヲ、地主ノ組合ヲシテ其責任ノ位置ニ當ラシメルト云フコトハ、私共ノ御賛成ヲ申上ゲ兼ネル所デアリマス、更ニ第二ノ問題トナツテ居リマスル街路費ノ問題デアリマス、政友會ノ御修正ノ御趣旨ニ依リマスレバ全體國家ノ爲スベキ事ト、自治團體ノ爲スベキ事トノ間ニハ自ら其區別ガアルモノデアアル、是ニ於テカ十二間以下ノ道路ニ付テハ是ハ地方團體ヲシテ其實ニ當ラシムルガ相當デアアル、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ七千七十一萬圓ト云フ所ノ大削減ヲ加ヘラレタノデアリマス、私ハ政友會ノ諸君ノ御修正ノ趣旨ニ基キマシテ、斯ノ如キ事柄ハ是ガ假令地方團體ノ負擔ニ屬スベキヲ本則トスルト云ヒマシテモ、是ハ平時ニ處スベキ事デアリマシテ、實際問題ト致シマシテハ焦土ニ歸シタル此東京市、竝ニ横濱市ニ對シマシテ此重大ナル責任ヲ背負ウテ立ヲト申シマシタ所ガ、無イ袖ハ振レルモノデハナイト考ヘルノデアリマス(拍手)殊ニ政府ノ提案ニ係リマス豫算案ナルモノハ、是ハ總テ計畫ノ輪廓ノミヲ定メラレタルモノデアリマシテ、其帝都トシテノ内容ノ充實ヲ圖ルベキコト、致シマシテハ、東京市若クハ横濱市自身ニ於キマシテ之ヲ爲サナケレバナラヌ事ハ澤山アルト信ズルノデアリマス、其標百貫ノ東京市若クハ横濱市ト致シマシテ、澤山ノ文化事業、又ハ外國ニ對シマシテ帝國ノ面目ヲ維持スベキ所ノ施設トシテ爲スベキ事ガ澤山アルニ拘ハリマセズ、一億圓ニ近イ所ノ外債ナルモノヲ自ら負擔シ自ラヤレト云フコトヲ強ユルト云フコトハ、是ハ餘程無理ナル事ヲ強ユル結果ニナルト私ハ考ヘル、東京市若クハ横濱市自ラソレヲ負擔スルノ力ハ無イ、然ラバ國家ハ之ヲ何トカスルカト云フ問題ニナツテ來ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、

私ハ豫算委員會ニ於キマシテモ、現在ノ國家ハ震災前ニ於キマシテ一般ノ財政狀態ニ見マシテモ、殊ニ私ハ商工都市ニ居ル人間デアリマスガ、外國貿易ノ關係ヲ見マシテモ、既ニ震災前ニ於キマシテ、例年ハ八月末日ノ現存ニ於キマシテ外國貿易ノ輸入超過額ナルモノハ二億若クハ三億内外デアツタニモ拘ラス、本年ハ震災前ノ八月末ニ於キマシテ四億五千萬圓ヲ計上スルニ至ツタノデアリマス、ソレガ爲ニ外國貿易ハ實ニ萎靡不振ノ極ニ達シテ參リマシテ、何トカ是ガ解決ノ途ヲ講ジナクレバ日本ハ終ニ財政上破産ノ悲境ニ陥ルト云フコトヲ識者ハ憂ヘテ居ツタノデアリマス、ソレガ一たび震災ト云フコトノ大事變ニ遭ヒマシテ、其以後僅カ三箇月ヲ經タル今日ニ於キマシテ、十一月末日ニ於ケル輸入超過額ノ累計ナルモノハ、實ニ五億七千萬圓ト云フ驚クベキ數額ヲ達シタノデアリマス、サウ致シマスルト、震災前ニ於キマシテ既ニ我が日本帝國ノ財政ハ、數年ナラズシテ或ハ破産ノ悲境ニ陥ルデハアルマイカト云フコトノ心配ヲシテ居ツタモノガ、此災後ニ於キマシテハ、ヨリ以上ニ此憂ヲ深クセネバナラス所ノ立場ニアル、然ラバ國家ト致シマシテモ、此復興事業ニ於キマシテ吾々ガ豫期シ、或ハ此震災地ノ罹災諸君ガ豫期セル程ノ多額ノ經費ノ負擔ヲ國家自身ニ於テモ負擔スルコトノ力ガ無イト云フコトヲ思ハナケレバナラス、既ニ罹災地ノ市民ニ於キマシテモ負擔力ニ於テハ甚ダ豐富ナラズ、又國家ノ負擔力ニ於キマシテモ甚ダ憂フベキ所ノモノガアル、然ラバ此復興事業、震災ニ基ク所ノ此復興事業ナルモノヲ、或ル程度迄ニ完成セシメヤウト思ヘバ、何處カラ其金ヲ引出スノガ一番適當デアアルカト云フコトニ付キマシテ、深ク思フ運ラシタノハ、即チ吾々ノミナラズ、諸君モ同様デアアルト考ヘルノデアリマス、而シテ私共ハ此思フ運シタ末ニ、考ヘ出シマシ

タノハ彼ノ「フランクフルト」ニ於ケル、地主ヨリ土地ヲ提供サセル所ノ一方法デアリマス、御承知ノ通り此震災ニ依リマシテ多數ノ國民ハ非常ノ迷惑ヲ受ケマシタ、商人ハ商品ヲ失ヒ、家持ハ建物ヲ失ツテシマツタ、然ルニ獨リ何等ノ損失ヲセザル所ノ者ハ彼ノ地主デアリマス、彼等ハ燒野原ニナルト共ニ少シ困難ニナツテシマツタ、一旦ハ他ノ一般ノ市民ト同様ナル運命ニ陥ツタニ相違アリマセヌケレドモ、一たび帝都復興ト云フ聲ト同時ニ、彼ガ一たび失ウタル損害ナルモノハ、忽チ震災前ニ引戻サレタノデアリマス、假令帝都復興ナルコトガ是ガ實現ヲサレタ曉ニ於キマシテモ、一般商人ハ其失ハレタル商品ハ一品ダツテ戻ツテ來ルコトハナイノデアリマス、之ヲ一般家持ニ付テ申シマスナラバ、假令此復興事業ガ完成致シマシテモ、一旦燒失ハレタ家、地震デ潰レタ建物ハ再び是ハ生キテ戻ラヌトデアリマス、唯、獨リ此帝都復興ノ事業ト云フコトニ付キマシテ、元ニ立戻リ得ルノハ即チ私ガ今指シマシタル地主ノミデアリマス、隨テ此復興事業ニ依ツテ儲カルノハ一ニモ地主、二ニモ亦地主デアリマス、サウ致シマスルト、此地主ガ他ノ罹災民ト同様ニ受ケル所ノ立場ニアルナラバ兎ニ角、地主ハ罹災前ノ狀態ニ復スルノミナラズ、之ヲ一般ノ各國ノ都市計畫ノ跡ニ付テ見マシレバ、都市計畫ノ實行サレタ曉ニ於テハ、如何ナル所ニ於キマシテモ、其都市計畫ノ以前ノ地價ニ比較致シマスレバ、二倍若クハ三倍以上ニ其土地ト云フモノガ騰貴シテ居ルノガ一般ノ例デアリマス(拍手)サウ致シマス、此震災ニ依ツテ一般ノ人ハ非常ナル損害ヲ受ケタガ、獨リ地主ダケハ何等ノ損害ヲ受ケザルノミナラズ、其損害ヲ受ケザルコトハ、全國民ノ力ニ依ツテ帝都ノ復興ト云フコトノ大事業ヲスルガ故デアリマス、全國民ノ力ニ依リマシテ震災前ノ地價ニ回復サレルノミ

ナラズ、尙ホ震災以前ヨリ數倍スベキ利益ヲ受ケベキ所ノ見込ガアル、其地主ニ對シマシテ、其一部ノ利益ヲ提供ヲ求ムルコトハ、國家トシテ決シテ不都合ナモノデハナイト考ヘル「フランクフルト」ノ此地區整理ノ方法ヲ見マスレバ、公共團體若クハ國家ガ、其必要上ヨリ其土地ノ提供ヲ求メタ時ニ於キマシテハ、地主ヨリ其地區ノ改正ニ依ツテ受クル所ノ利益ヨリ見積ラレタルモノデアリマセウカ、其所有土地ノ三割五分ナルモノヲ地主ヨリ提供スルコトヲ餘儀ナクサル、コトニ規定サレテ居ルノデアリマス、又之ト反對ニ地主自身ガ自分ノ土地カラ改良シ、利用スル所ノ目的カラ此地區ノ改正整理ヲ求ムル場合ニ於キマシテハ、國家若クハ公共團體ハ其申出デタ所ノ地主ヨリ四割ノ提供ヲ強要スルノ權利ヲ與ヘラレテ居リマス、今私共ガ諸君ト共ニ此帝都ノ復興セザル場合ヲ回想シテ見タイノデアリマス、若シ今日ノ東京市ガ燒野ケ原ノ儘デ之ヲ放置シテ、全國民ガ少シモソレニ對シテ復興事業ニ金ヲ出サヌト云フコトニ致シマスナラバ、ドウ云フコトニナルカ、現在ノ地主諸君ハ必ズ一大同盟ヲ造ツテ、假令吾々ノ所有地ハ五割デモ六割デモ之ヲ提供スルカラ、ドウカ此帝都ノ復興ト云フ仕事ヲヤツテ呉レト云フコトヲ申出デ、彼等ハ泣ヲ入レテ來ルニ相違ナイト思ヒマス、サウ致シマス、幸ニ國家ハ帝都復興ト云フ仕事ニ取掛ルノデアリマス、何モ是元ヲ見テ弱イ者虐メラスル必要ハナイノデアリマス、之ヲ以テ私ハ外國ノ例ハ三割五分若クハ四割ト云フコトデアリマスケレドモ、私共ハ政府ノ提案ニ係ル一割ト云フモノヲ引上ゲテ、一割五分ト云フコトニ致シマスレバ、其五分ノ差額ノミニ於テ、五千六百萬圓ト云フ金額ヲ茲ニ生出スコトガ出來ルノデアリマス、更ニ今度ハ第三ノ復興費ニ關スル問題デアリマ

ス、是ハ政友會ノ修正デハ、全部ニ割天引ト云フ意味ニ於キマシテ、削除ニナツテ居リマスガ、私共ハ折角政府ガ帝都ヲ復興スルコト云フコトニ熱中セラレマシテ、誠心誠意之ヲ提案サレタ以上ハ、成ベク其計畫ヲ根本カラ覆ヘス態度ニハ出デタクハナイ、サリナガラ現在ノ制度ノ如ク餘リニ龐大ナリト云フコトモ考ヘナケレバナラヌカラ、ソコデ現在ノ官制ノ分課ハ官房、計畫局、土地整理局、建築局、土木局、物資供給局、經理局、此七ツノ分課ニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ配合致シマシテ、官房ハ之ヲ別ト致シマシテ、計畫局ト土地整理局ト云フモノヲ一ツニ纏メマシテ、計畫局ナル一ツノ局ニシテシマフ、建築局ナルモノト土木局ナルモノトヲ、之ヲ一ツニ纏メテ工務局ナル新タナル一ノ局ヲ設ケル、更ニ物資供給局、經理局、此二ツノモノヲ纏メマシテ經理局ト云フ一局ニ管掌セシムルト云フコトニ致シマスレバ副總裁ヲ一人減ズルコトモ出來レバ、書記官ナリ、理事ナリ、總テノ人ヲ減ラスコトガ出來マシテ、其金額ハ約二百四十四萬圓ヲ節減スルコトガ出來ルノデアリマス、之ヲ前ノ五千六百萬圓ニ合算致シマスルト、丁度合計五千八百四十餘萬圓ト云フ金高ヲ計上スルコトガ出來マシテ、結局約六千萬圓ト云フ金高ヲ玆ニ生出スコトガ出來ルノデアリマス、此私共ノ考ト云フモノハ政府ノ計畫サレタ所ノ計畫自身ニ少シモ踏入ラズシテ、而シテ此東京市及横濱市民ニ對シマシテ、何等經費ノ負擔ヲ加ヘルコトナクシテ、而シテ何等苦痛ヲ感ゼザル所ノ地主諸君ヨリ、其利益ノ一半ヲ提供セシムルト云フコトニ依リマシテ、其大體ノ金高ヲ生出スコトガ出來ルト云フコトニナルノデアリマスカラ、恐ラクハ之ヲ慮心平氣ニ諸君ガ御考慮下サイマシタナラバ、必ズヤ雙手ヲ舉ゲテ滿場一致ヲ以テ御贊

成下サルモノニ相違ナイト考ヘテ居ツタ所ガ各政黨派ニハソレハ、色々驅引ト云フモノガアルモノト見エマシテ、吾々少數黨ノ提案ニ一顧ダモ加ヘラレヌト云フコトハ甚ダ残念ニ考ヘマスケレドモ、私共ハ此席ニ於テ諸君ノ御贊成ヲ得ルコトガ出來ヌト云フコトハ、固ヨリ覺悟ノ前デアリマスガ、議會ヲ通ジテ全國民ニ此顛末ヲ懇ヘマシテ、而シテ諸君ノ態度ガ果シテ公正ヲ得テ居ルヤ否ヤト云フコトヲ全國民ノ判斷ニ懇ヘマスル必要ヲ以テマシテ此反對ノ意見ヲ主張スル者デアリマス

○副議長(松田源治君) 岩崎勳君

○岩崎勳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○贊成(贊成ト呼フ者アリ)

○副議長(松田源治君) 討論終局ノ動議ニ異議アリマセヌカ

○異議ナシ(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍テ討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、先ヅ第一號大正十二年度歳入歳出總豫算追加案ヲ採決致シマス、是ハ委員長ノ報告ガ修正デアリマスカラ委員長ノ報告ニ付テ採決致シマス、本案ハ記名投票ヲ以テ採決致シマス、委員長ノ報告ニ贊成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票ヲ御持參ニナリタイ

○閉鎖 氏名點呼ヲ命ジマス

○大木書記官氏名ヲ點呼ス

○副議長(松田源治君) 投票漏ハアリマセヌカ! 投票漏ハナシト認メマス、投票漏閉鎖ノ開便ノ開鎖 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

○中村書記官長朗讀

投票總數 三百四十七

可トスル者白票 二百四十一

否トスル者青票 百六

〔參照〕

委員長報告ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ

石井 三郎君 石川 善盛君

石川 玄三郎君	石川 淳君
石黒 長平君	今井 宗助君
今泉 嘉一郎君	岩崎 宗茂助君
岩崎 勳君	岩崎 平藏君
岩切 重雄君	市村 貞造君
一宮 房治郎君	市村 苗代君
飯島 信明君	伊坂 秀五郎君
伊澤平左衛門君	井上 敬之助君
井上 角五郎君	井坂 豐光君
池田 泰親君	池田 猪三郎君
原田 佐之治君	原田 藤次郎君
蓮井 夫次郎君	八田 宗吉君
長谷場 敦君	長谷川 宗治君
濱口 吉兵衛君	花城 永渡君
西川 豐助君	波多野承五郎君
西村 嘉門君	西澤 定吉君
堀切 善兵衛君	本多 貞次郎君
富安 保太郎君	戸水 寛人君
陣 軍吉君	床次 竹二郎君
小山田 信藏君	小川 切磐太郎君
大石 大君	小島 實太郎君
大林 森次郎君	大矢 馬太郎君
大森 貞資君	岡崎 邦輔君
岡 順次君	岡田 伊太郎君
長田 桃藏君	渡邊 祐策君
若尾 幾造君	河相 三郎君
河崎 清君	河上 哲太郎君
河野 喜藏君	川原 茂輔君
川村 數郎君	改野 耕三君
海江田準一郎君	加藤 重三郎君
加藤久米四郎君	加藤紋右衛門君
風間八左衛門君	金光 庸夫君

春日	俊文君	横田	千之助君	久木田	叶君	山本	梯二郎君	宮古	啓三郎君	宮澤	長治君
吉植	庄一郎君	吉原	正隆君	山本	糸太郎君	山田	永俊君	三輪	市太郎君	白井	博之君
吉野	小一郎君	吉木	陽君	山口	熊野君	山口	嘉藏君	下出	民義君	島本	信二君
米原	於菟男君	米澤	與三次君	山崎	猛君	谷津	新八郎君	島田	俊雄君	廣岡	宇一郎君
高橋	光威君	高橋	金治郎君	柳原	九兵衛君	矢野	丑乙君	廣岡	伊之助君	樋口	伊之助君
高柳	善五郎君	高見	之通君	八木	逸郎君	松浦	五兵衛君	樋口	民之助君	平田	保太郎君
付澤	淳之助君	高山	長幸君	松實	喜代太君	松岡	俊三君	毛里	保太郎君	元田	肇君
武田	德三郎君	竹上	藤次郎君	松野	鶴平君	松岡	常次郎君	望月	圭介君	望月	政友君
田邊	熊一郎君	田中	定吉君	松本	孫右衛門君	牧山	良三君	菅原	傳君	菅野	傳右衛門君
龍野	周一郎君	瀧	順之助君	前田	耕藏君	舞田	壽三郎君	鈴木	隆君	鈴木	義隆君
大道寺	慶男君	添田	敬一郎君	益谷	秀次君	福井	純義君	鈴木	錠藏君	鈴木	義隆君
津崎	尙武君	塚原	嘉藤君	福井	三郎君	福井	甚三君	鈴木	千太郎君	鈴木	孝哉君
土屋	興君	坪田	十郎君	深見	寅之助君	小林	新治君	鈴木	三郎兵衛君	井上	悅造君
鶴見	孝太郎君	辻	勇夫君	小橋	一太君	小鹽	八郎右衛門君	松田	三郎兵衛君	南	鼎三君
中西	六三郎君	中山	佐市君	小久保	喜七君	小坂	順造君	守屋	松之助君		
中村	清造君	中島	喜平君	穴水	要七君	阿部	武智雄君				
中島	鵬六君	中橋	守利君	赤田	喜七君	東	武君				
中倉	照寬君	仲田	德三郎君	青木	榎一君	天春	文衛君				
成田	萬次郎君	永井	作次君	佐野	恒太郎君	青柳	郁次郎君				
南里	琢一郎君	長峰	與一君	佐藤	正雄君	佐藤	寅太郎君				
向井	倭雄君	武藤	金吉君	佐藤	榮吉君	佐藤	庄助君				
梅田	潔君	植竹	龍三郎君	齋藤	貞信君	齋藤	彦太郎君				
植場	平君	宇塚	勇作君	阪上	壽雄君	坂本	素魯哉君				
鶴澤	總明君	上野	司君	崎山	克治君	櫻川	幸雄君				
上埜	安太郎君	内山	安兵衛君	神田	清兵衛君	菊川	元夫君				
野村	左衛門君	野村	治三郎君	清瀬	規矩雄君	吉良	磯吉君				
野副	重一君	野呂	忠太郎君	宜保	成晴君	木村	清三郎君				
野田	卯太郎君	國重	政亮君	木下	成太郎君	木下	謙次郎君				
則元	由庸君	黑住	成幸君	三好	德松君	北山	一郎君				
國澤	新兵衛君	栗林	五朔君	三善	清之君	三土	忠造君				
熊谷	直太君	久慈	豐忠君	水野	吉太郎君	宮崎	權兵衛君				
久慈	貫一君										

委員長報告ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ

飯塚	春太郎君	宮澤	長治君
石井	研二君	白井	博之君
濱口	雄幸君	島本	信二君
本田	恒之君	清水	市太郎君
中馬	興九郎君	廣岡	宇一郎君
大津	淳一郎君	樋口	伊之助君
神谷	彌平君	平田	保太郎君
金田	平兵衛君	元田	肇君
横山	金太郎君	望月	政友君
武内	作平君	菅野	傳右衛門君
高田	良平君	鈴木	義隆君
田中	武雄君	井上	悅造君
田川	平三郎君	南	鼎三君
内藤	濱治君		
中野	寅吉君		

中原 德太郎君	野村 嘉六君	山道 襄一君	山本 厚三君	正木 照藏君	牧口 義矩君	古賀 三千人君	小池 仁郎君	木曾 三郎君	淺川 浩君	阿由葉 勝作君	佐藤 啓君	齊藤 巳三郎君	定行 八郎君	作久間 啓莊君	三木 武吉君	重松 重治君	下岡 忠治君	平出 喜三郎君	森田 茂君	關 和知君	鈴木 富士彌君	石川 長右衛門君	西村 丹治郎君	富永 孝太郎君	大柳 喜六君	高柳 覺太郎君	中川 幸太郎君	植原 悦二郎君	倉石 知藏君	小橋 藻三衛君	近藤 達兒君	齊藤 宇一郎君	鈴木 久次郎君
鶴澤 宇八君	黑金 泰義君	山邊 常重君	八並 武治君	松井 鉄夫君	降旗 元太郎君	小山 松壽君	小泉 又次郎君	出口 直吉君	安達 謙藏君	佐々木 千秀君	佐竹 庄七君	齋藤 小十郎君	作間 耕逸君	三浦 得一郎君	箕浦 勝人君	清水 留三郎君	樋口 秀雄君	森 達三君	栗山 博君	鈴木 周三郎君	鈴木 倉次郎君	濱田 國松君	星島 二郎君	土居 通憲君	渡邊 昭君	高草 美代藏君	中野 正剛君	野溝 傳一郎君	前川 虎造君	古島 一雄君	秋田 清君	關 直彦君	砂田 重政君

山邑 大三郎君 小菅 劍之助君
森下 龜太郎君 仙波 太郎君
大濱 忠三郎君 根本 正君
山科 慎次郎君 安藤 正純君
○副議長(松田源治君) 本案ハ委員長報告通り修
正議決致シマシタ、他ノ三案ハ一括シテ採決致シ
タイト思ヒマスカ、異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ
○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍
テ追第一號、豫算外國庫ノ負擔ナルベキ契約ヲ
爲スヲ要スル件第二號、大正十二年度歳入歳出總
豫算追加特第一號、大正十二年度特別會計歳入歳
出豫算追加右三案ハ委員長ノ報告ハ可決デアリマ
ス、委員長ノ報告通り異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ
○副議長(松田源治君) 異議ナシト認メマス、仍
テ三案トモ委員長ノ報告通り可決確定致シマシタ
(拍手) 是デ豫算案全部議了致シマシタ、日程ニ這
入リマス、日程第三大正十二年勅令第四百三號、
承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス、政府ノ辯明ヲ
求メマス、國務大臣平沼騏一郎君

第三 大正十二年勅令第四百三號(承諾
ヲ求ムル件)(治安維持ノ爲ニスル
罰則ノ件)(貴族院送付)
大正十二年勅令第四百三號
朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ
經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ治安維持ノ爲
ニスル罰則ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム
御 名 御 璽
攝 政 名
大正十二年九月七日
外 務 大 臣 伯 爵 山 本 權 兵 衛
内 閣 總 理 大 臣 兼 伯 爵 山 本 權 兵 衛

勅令第四百三號
出版、通信其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハ
ス暴行、騷擾其ノ他生命、身體若ハ財産ニ危害ヲ
及ホスヘキ犯罪ヲ煽動シ、安寧秩序ヲ紊亂スル
ノ目的ヲ以テ治安ヲ害スル事項ヲ流布シ又ハ人
心ヲ惑亂スルノ目的ヲ以テ流言浮説ヲ爲シタル
者ハ十年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ三千圓以下ノ
罰金ニ處ス
附 則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
〔國務大臣平沼騏一郎君登壇〕
○國務大臣(平沼騏一郎君) 只今議題ト相成リマ
シタ治安維持ノ爲ニスル罰則ニ關スル緊急勅令、
此緊急勅令ノ承諾ヲ求ムル理由ヲ申述ベマス
〔松田副議長退席粕谷議長復席〕
今回ノ震災ニ際シマシテ、一部ノ人ハ極メテ沈靜
デゴザリマシタニ拘ラズ、一部ニ於キマシテハ人
心極メテ不安ニ陥リマシテ、此時ニ際シマシテ人
心ヲ惑亂シ、社會ノ安寧秩序ヲ紊亂ガ如キ行爲ヲ
ナスノ虞ガアリマシタノデゴザリマス、此緊急勅
令ハ之ヲ防遏致シマスル爲ニ發布致シタルモノデ
ゴザリマス、政府ハ此緊急勅令ニ依リマシテ治安
維持ノ上ニ相當ノ效果ノアリマシタルコトヲ認メ
テ居ルノデゴザリマス、而シテ今日ハ震災直後ニ

內務大臣	子爵後藤 新平
文部大臣	岡野敬次郎
海軍大臣	財部 彪
陸軍大臣	男爵田中 義一
農商務大臣	男爵田中 健治郎
逓信大臣	犬養 毅
司法大臣	平沼騏一郎
鐵道大臣	山之内 一
大藏大臣	井上準之助

比較致シマスレバ社會ノ狀態ハ餘程平靜ニ赴イテ居リマスルナレドモ、災禍ノ跡ハ未ダ十分ニ復舊ヲ致シテ居リマスセヌ、且ツ餘震尙ホ熾マザルノ狀態デアリマシテ、人心未ダ全ク常ニ復セザル次第デゴザリマス、之ニ依リマシテ此緊急勅令ニ定ムルガ如キ所ノ非行ヲ防止致シマシテ、人心ノ安定ヲ圖ルベキ緊切ノ必要ハ、尙ホ依然トシテ繼續シテ居ルモノト認ムルノデゴザリマス、仍テ此緊急勅令ハ尙ホ將來ニ於テ效力ヲ有セシムルノ必要アリト考ヘマシテ、憲法第八條第二項ニ依リマシテ承諾ヲ求メマスル次第デゴザリマス、宜シク御審議ヲ願ヒマス

○原夫次郎君 此案ニ付キマシテ本員ハ質問ノ通告ヲ致シテ置イタノデアリマスガ、モウ既ニ時刻モ段々延ビテ居リマスカラ其實問ノ通告ヲ撤回致シマス

○議長(粕谷義三君) 日程第四、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○高見之通君 委員ノ數ハ特ニ十八名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス
〔賛成〕贊成「ト呼フ者アリ」
○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕異議ナシ「ト呼フ者アリ」

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第五、大正十二年勅令第四百七十一號、承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス

第五 大正十二年勅令第四百七十一號 (承諾ヲ求ムル件)(株主名簿ヲ喪失セル會社ノ件)(貴族院送付)

大正十二年勅令第四百七十一號
朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ、樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ震災ニ因リ株主名簿ヲ喪失シタル會社ノ株主總會等ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム
御名 御璽

大正十二年十月三十一日

內閣總理大臣	伯爵山本權兵衛
內務大臣	子爵後藤 新平
文部大臣	岡野敬次郎
海軍大臣	財部 彪
陸軍大臣	男爵田中 義一
農商務大臣	男爵田中 健治郎
逓信大臣	大養 毅
司法大臣	平沼騏一郎
鐵道大臣	山之内 一
大藏大臣	井上準之助
外務大臣	男爵伊集院彦吉

勅令第四百七十一號

大正十二年九月ノ震災ニ因リ株主名簿ヲ喪失シタル會社ニ名義人ヲ確知スルコト能ハサル記名株式アルトキハ會社ハ其ノ旨ヲ公告スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ株式ハ商法中株主總會及優先株主ノ總會ニ關スル規定ノ適用ニ付之ヲ無記名式ノモノト看做ス

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣(平沼騏一郎君) 只今議題ト相成リマシタル緊急勅令ハ、震災ニ因リ株主名簿ヲ喪失致シマシタル會社ノ株主總會等ニ關スル件デゴザリマス、御承知ノ如ク株式會社、株式合資會社ニアリマシテハ、商法ノ規定ニ依リマシテ毎年一定ノ時期ニ於キマシテ株主總會ヲ招集スルコトヲ要ス

ルノデゴザリマス、而モ十一月、十二月ノ交ハ恰モ下半年ノ決算期ト致シマシテ、多數ノ會社ニ於キマシテ株主總會ヲ招集スベキ時期ニ當ツテ居リマス、然ルニ今次ノ震災ニ依リマシテ株主名簿ヲ喪失致シマシタル會社ハ、其數極メテ多クゴザリマシテ、是ガ爲ニ會社ハ記名株式ノ名義人ヲ確知スルコトノ出來マセヌモノガ多クアルノデゴザリマス、斯ノ如キ場合ニ於キマシテ株主總會ヲ招集セント致シマシテモ、記名株主ニ對シマシテ、商法ノ規定ニ從ヒマシテ總會招集ノ通知ヲ爲スルコトガ出來ナイノデゴザリマス、之ニ依ツテ本令ニ於キマシテハ株主名簿ヲ喪失致シマシタル多數ノ會社ノ爲ニ特例ヲ設ケマシテ、名義人ヲ確知スルコトノ出來マセヌ記名株式ノアリマス場合ニ於キマシテハ、會社ヲシテ其旨ヲ公告セシメテ、其株式ハ總會ニ關スル商法ノ規定ノ適用ニ付キマシテハ之ヲ無記名式ノモノト看做シマシテ、該株主ニ對シマシテハ各別ニ總會招集ノ通知ヲ爲スコトヲ要シマセヌデ、公告ノ手續ヲ爲スヲ以テ足ルモノト致シマシテ、之ニ依ツテ適當ナル總會ヲ招集ヲ爲スコトヲ得セシムルコト、致シタルノデゴザリマス、此緊急勅令ハ將來尙ホ其效力ヲ存續セシムルノ必要ガアルノデゴザリマス、之ニ依ツテ憲法第八條第二項ニ依リマシテ、承諾ヲ求メマス次第デゴザリマス、宜シク御審議ヲ願ヒマス

○議長(粕谷義三君) 日程第六右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ニ致シマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○高見之通君 本案ハ政府提出、大正十二年勅令第四百二十五號、承諾ヲ求ムル件、手形割引損失補償ノ件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス
〔賛成〕贊成「ト呼フ者アリ」

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス

○岩崎勲君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ政府提出、震災ニ因リ租税ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續、及大正十二年勅令第四百二十三號、承諾ヲ求ムル件、即チ選舉人名簿調製ノ件ヲ議題トシ、次ニ政府提出東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、次ニ大正十二年勅令第四百十號、承諾ヲ求ムル件、即チ租税減免ノ件、及大正十二年勅令第四百十一號、承諾ヲ求ムル件、即チ輸入稅減免ノ件ヲ一括議題ト爲シ、各委員長ノ報告ヲ求メ逐次其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセメカ

〔異議ナシ〕(呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、即チ日程ハ變更セラレマシタ

震災ニ因リ租税ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續、大正十二年勅令第四百二十三號承諾ヲ求ムル件、右二案ヲ一括シテ議題トシ、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長石川立三君

震災ニ因リ租税ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續

報告書

一 震災ニ因リ租税ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段

及報告候也

大正十二年十二月十九日

震災ニ因リ租税ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案委員長

石川 立三

衆議院議長粕谷義三殿

大正十二年勅令第四百二十三號(承諾ヲ求ムル件)(選舉人名簿調製ノ件)

報告書

一大正十二年勅令第四百二十三號(承諾ヲ求ムル件)

右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十二年十二月十九日

大正十二年勅令第四百二十三號(承諾ヲ求ムル件)委員長

石川 立三

衆議院議長粕谷義三殿

〔石川立三君登壇〕

○石川立三君 大正十二年勅令第四百二十三號ハ、即チ震災地ニ於ケル選舉人名簿調製ノ件デアリマス、之ニ付キマシテハ委員野村君カラ政府ニ對シテ、政府ハ果シテ來ル五月ノ總選舉迄ニ選舉人名簿調製ガ間ニ合フカ、若シ其期日迄ニ間ニ合ハナイトシタナラバ、其地方ヨリ選出サレタル現任議員ヲ如何ニ扱フカ、更ニ解散ニ依ツテ選舉ノ期日ガ早メラレタトシタナラバ、其場合ハ政府ハ如何ニ處置スルカ、之ニ對シマシテハ、政府ハ來ル五月ノ總選舉迄ニハ必ズ選舉人名簿ノ調製ヲ間ニ合ハセル、考デアル解散ト云フコトハ今豫想シテ居ナイ、故ニ之ニ對シテ何等ノ考慮ナシテハ居ラナイガ、左様ナ場合ニハ期日ノ決メ方ニ依ツテモ調

和サレルコトデアルカラ、此場合ニモ必ズ間ニ合ハセル、斯ウ云フ政府ノ答辯デアリマシタ、井上君ヨリシテ、今回ノ如ク一時ニ多數ノ選舉人ガ離散シタ場合ニ、政府ハドウ云フ方針ニ依ツテ調査シテ其名簿ヲ調製スルカ、之ニ對シマシテハ政府ハ先ヅ以テ申告ラセシムル方針デアル、併ナガラ單リ申告ノミニ依ラズシテ、多數一時ニ離散シタ選舉人ノ如キハ、元ノ住所ヲ捨テザルモノト推定シテ名簿ヲ調製スル、更ニ南君ヨリノ質問ニハ、東京横濱ノ如キ多數ノ人口ガ一時ニ減ツタ所デハ或ハ選舉人ハ其申告ヲ煩ストシテ、自ラ之ヲ放棄スル者ガアリハシナイカ、左様ナ場合ニハ議員ノ定數ニ變化ハ來サナイカ、斯ウ云フ御草ガアリマシタガ、政府ハ斯ル震災直後ノ一時ノ現象ニ依ツテ人口ノ減ジタモノハ、減ジタルガ爲ニ別表ノ改正ト云フコトハ出來難イ、仍テ此場合モ矢張現行ノ別表ニ依ツテ執行スル意思デアル、斯様ナ答ガアリマシテ、全會一致ヲ以テ承諾ヲ與フルコトニ決定致シマシタ、他ノ一件、震災ニ因リ租税ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル件ニ對シマシテハ、大正十二年勅令第四百二十三號ニ依ツテ震災地ノ租税ヲ減免セラレタル當然ノ歸結ト致シマシテ、是亦委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタコトヲ報告致シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 右兩案ニ對シテハ何等ノ通告モアリマセメ、仍テ直ニ採決ヲ致シマス、採決ハ各別ニ致シマス、先ヅ震災ニ因リ租税ヲ減免セラレタル者ノ法令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案ノ第二讀會ヲ開クヤ、否ヤヲ御諮リ致シマス、第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセメカ

〔異議ナシ〕(呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○高見之通君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三

讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラ
レンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニ御異議アリ
マセヌカ

○議長(粕谷義三君) 異議ナシト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、直
ニ第二讀會ヲ開キマス

震災ニ因リ租税ヲ減免セラレタル者ノ法
令上ノ納稅資格要件ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ノ如ク三讀會
ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定サレマシ
タ、次ニ大正十二年勅令第四百二十三號、承諾ヲ
求ムル件、本案ニ對シテ承諾ヲ與フルコトニ御異
議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 異議ナシト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍
テ承諾ヲ與フルニ決シマシタ、次ハ東京帝國大學
臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ
續ヲ開キマス、委員長 山田信藏君

東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關ス
ル法律案

報告書 第一讀會ノ續(委員長報告)

一東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法
律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段
及報告候也

大正十二年十二月十九日

東京帝國大學臨時政府支出金繰入
ニ關スル法律案委員長

衆議院議長粕谷義三殿

小山田信藏

○小山田信藏君登壇

○小山田信藏君 只今上程セラレマシタ東京帝國
大學臨時政府支出金繰入ニ關スル法律案ノ委員會
ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ノ内容
ハ極メテ簡單デアリマシテ、過般ノ大震災ニ因リ
マシテ帝國大學ノ各科ノ建築物ノ一部及機械等ガ
破壊又ハ消滅致シタ爲ニ、緊急已ムヲ得ザル分ニ
向ツテ一般會計ヨリ百七十四萬圓ヲ特別會計ヘ繰
入レタイト云フ案デアリマス、委員會ニ於キマシ
テハ多少質問應答ガアリマシタガ、滿場一致ヲ以
テ之ヲ可決シマシタ、此段御報告申上ゲマス(拍
手)

○議長(粕谷義三君) 本案ノ二讀會ヲ開クニ御異
議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 異議ナシト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍
テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○高見之通君 直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ
省略シテ委員長報告通り可決確定セラレムコト
ヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ア
リマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 異議ナシト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍
テ動議ノ如ク決シマシタ、直ニ第二讀會ヲ開キマ
ス

東京帝國大學臨時政府支出金繰入ニ關ス
ル法律案

第二讀會(確定議)

○議長(粕谷義三君) 異議ナシト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ノ如ク、第三
讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定サレマ
シタ、次ニ大正十二年勅令第四百十號承諾ヲ求ム
ル件、大正十二年勅令第四百十一號承諾ヲ求ムル
件、右二案ヲ一括シテ議題ト爲シ委員長ノ報告ヲ
求メマス、委員長中西六三郎君

大正十二年勅令第四百十號(承諾ヲ求ム
ル件)(租税減免ノ件)

報告書

一大正十二年勅令第四百十號(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此
段及報告候也

大正十二年十二月十九日

衆議院議長粕谷義三殿 委員長 中西六三郎

大正十二年勅令第四百十一號(承諾ヲ求ムル
件)(輸入税減免ノ件)

報告書

一大正十二年勅令第四百十一號(承諾ヲ求
ムル件)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段
及報告候也

大正十二年十二月十九日

衆議院議長粕谷義三殿 委員長 中西六三郎

○中西六三郎君登壇

○中西六三郎君 兩件ノ委員會ニ於ケル經過結果
ヲ御報告申シマス、勅令第四百十號ニ就キマシテ
ハ、運用上ニ對シテ仔細ノ質問ガ行ハレマシタガ、
案ノ承諾ヲ否定スベキ何等ノ意見ナク、全會一致
ヲ以テ承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ、勅令第四
百十一號、此方ノ審査ニ就キマシテハ、洵ニ重要
ナ事項ニ關シテ質問審査ガ行ハレマシタカラ、其
概略ヲ御報告申上ゲマス、震災當時ニ於テ、應急
ノ措置トシテ此勅令デハナク、米穀法ノ運用ニ於

テ米ノ關係ヲ撤廢シ、又此勅令ニ於テ食糧其他建築土木等ノ必要ナル品ニ就テノ關稅ノ減免ヲ圖ラレマシタコトハ、其政策トシテ敢テ不當ナルヲ認メナイノデアリマス、然レドモ其後ノ經過ヲ見ルニ、四百十一號ニ附屬シテ出テ居リマスル勅令第四百十七號、之ニ數多ノ品目ガ列記サレテ居リマスルケレドモ、其中ニ於テ、就中食糧又其他ノ品物ニ付テ、最早今日ハ斯ノ如キ特別ナル政策ヲ維持スルノ必要アリト認メ難キモノガ相當ニアルト信ズルノデアアル、殊ニ此勅令ノ作用デハアリマセヌガ、同ジ政策ニ於テ米ノ關稅ノ撤廢サレテ居ルコトモ、震災善後ノ目的ニ於テハ今日ハ其必要ヲ多ク認メナイノデアリマス、又最モ此關稅撤廢ノ效用ノ無カツタト云フコトノ明カデアルモノハ、即チ米及ビ大麥、小麥、大豆是等ノ農産品ノ外ハ乳製品即「コンデンス」或ハ「バター」此種ノ乳製品ニ付テ、最モ明白ニ其ノ必要ヲ認ムルノデアリマス、現ニ乳製品ノ如キハ、此震災ノ後亞米利加ヨリ見舞品トシテ二萬九千箱カラノ物ガ到來シテ居ルニ拘ラズ、今日尙ホ其十分ノ八ハマダ配給セズニ其儘ニ停滯シテ居ルコト云フ有様デアル、是ハ此配給ニ從フ人ノ不勉強ト云フ方面モアルカモ知レナイ、併シ若シ是等ノ品物ガ關稅ノ撤廢マデモシテ急ニ應ジナケレバナラナイト云フ程ノ必要ナル狀況ニアレバ、如何ニ其當該ノ人ガ怠慢ナレバトテ、今日マデ其八割ヲ停滯サスト云フコトノアル譯ガナイ、斯ノ如キハ實際ニ餘リニ其必要ヲ認メナイト云フコトヲ明白ニ物語ツテ居ルノデアリマス、米ニ付キマシテハ質問應答ノ際ニ、政府ノ説明サレタル所ニ依ルト今年ノ米作ノ實收未タ確定シテ居ラヌ、又或ハ本年ハ五百萬石許リモ其必要ナル需要ニ不足スル虞ガアル、若シ果シテ左様ナル狀況デアルトスレバ、原内閣ノ時ニ於テ四百萬石ノ不足ヲ補フベク關稅ヲ撤廢シタ

先例モアル必要ナル狀況ニ到來スルカモ知レナイ、ソレ故ニ明年一月此實際收穫ノ尙ホ明白ニナル機會ヲ待つテ、關稅ノ處置ヲ講ジタイト云フ意見デアリマス、委員會ニ於テハ純真ナル此米穀法ノ運用ニ於テ、左様ナ關係カラ政府ノ考慮スルト云フコトヲ一概ニ否定ハシナイ、併ナガラ今現ニ關稅ヲ撤廢サレテ居ルコトハ、即チ震災ノ當時ニ於テ食糧品ノ供給ノ潤澤ナル、而モ迅速ナル需要ヲ充スト云フ爲デアツタデアラウガ、其目的カラ云ヘバ爾來ノ經過今日ノ狀態ニ於テ必要ヲ認メナイカラ、即チ此勅令ヲ發シタル目的ノ上ニ考ヘテ米ハ必要ナシト、斯様ニ認メルト云フ意見デゴザイマシタ、夫レ是レノ質問審查ノ結果ニ於キマシテ、本案即チ勅令其モノハ承諾ヲ與ヘル、斯様ニ全會一致決定メマシタガ、同時ニ一ツノ希望ヲ附帶シテ決議致シマシタ、仍ラ今其決議ノ主文トナリマシタルモノヲ茲ニ御報告申上ゲマス、米穀及本令ニ基ク勅令第四百十七號列記ノ品目中食糧品其他ニ付震災後ノ經過ニ鑑ミルニ猶ホ關稅減免ヲ持續スル必要ヲ認メ難キモノト尙ホ關稅減免ハ具ニ備給ノ實狀ヲ究メ其必要ノ顯著ナルモノ、外ハ隨時關稅ヲ復舊センコトヲ望ム特ニ米麥大豆及「コンデンス」或ハ「バター」等ノ乳製品ニ付テハ農業ニ對スル甚大ノ脅威トナリ而モ震災善後ノ目的ニ於テ其必要ヲ認ムヘキモノナキヲ以テ政府ハ速ニ關稅ヲ復舊センコトヲ望ム」ト云フノデアリマス、茲ニ特ニ此決議ノ中ニ農業ニ對シテ甚大ナル脅威ヲ感ズルト云フコトヲ言ヒ現ハシテ居リマスルコトハ、今茲ニ詳シク私ガ申上ゲル迄モナク、全國農村一體ニ於テ此關稅撤廢ノ爲ニ農業經濟ノ上ニ脅威ヲ感ズタルコトハ極メテ顯著ナル事實デアリマス、又乳製品ニ付テハ所謂煉乳製造ガ直ニ大打撃ヲ受ケマシタ、而シテ又此煉乳製造ナルモノガ農家ノ畜產ト密接ノ關

係ガアリマシテ、農業ノ上ニ各地ニ於テ年來政府若クハ地方ガ極力其發達ニ盡力ヲシテ居リマシタル畜產ノ空氣ニ向ツテ、非常ナル打擊ヲ與ヘルコトニナリマス、此事實ガ極メテ重大ナル影響デアルニ拘ラズ、半面震災善後ノ爲ニハ何等ノ效果ナカツタト云フコトガ明カデアリマスカラ、斯ノ如キハ一日モ速ク其害ヲ除キ、一般ノ生産者ノ爲ニ政府ノ速ニ最善ノ途ヲ執ラレルコトヲ望ム、斯ウ云フ趣旨デアリマス、斯ノ如キ附帶決議ヲ全會一致ニ於テ可決ヲ致シマシタ、元來緊急勅令ノ承諾デアリマスカラ、即チ單ニ承諾ヲ決スルノミデ、條件ヲ附スル譯ニ參リマセヌカラ、希望トシテ決議ヲ致シタルデアリマスガ、委員會ニ於ケル各員ノ氣分ハ、殆ド條件同様ノ強キ氣分ヲ以テ此希望ヲ致スノデアリマス、幸ニ本會ニ於ケレテモ全會一致ヲ以テ之ヲ御可決下サレマシテ、我ガ議院全體ノ意思トシテ最モ強キ意味ヲ以テ此希望ガ政府ニ反對スルコトヲ私ハ切望スル者デアリマス（拍手）

○議長（稻谷義三君） 兩案ヲ承諾スルヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

○高見之通君 兩案ナ一括シテ委員長報告通リ承諾ヲ與ヘラレンコトヲ望ミマス

○議長（稻谷義三君） 高見君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ兩案共承諾ヲ與フルコトニ決シマシタ、次ハ日程第七、大正十二年勅令第四百七十五號承諾ヲ求ムル件ヲ議題ト致シマス

第七 大正十二年勅令第四百七十五號（承諾ヲ求ムル件）（法人ノ破産宣告ニ關スル件）（貴族院送付）

大正十二年勅令第四百七十五號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ法人ニ對スル破産宣告ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御座

大正十二年十一月十日

- 內閣總理大臣 伯爵山本權兵衛
- 內務大臣 子爵後藤 新平
- 文部大臣 岡野敬次郎
- 海軍大臣 財部 彪
- 陸軍大臣 男爵田中 義一
- 農商務大臣 男爵田 健治郎
- 逓信大臣 犬養 毅
- 司法大臣 平沼騏一郎
- 鐵道大臣 山之內 次
- 大藏大臣 井上準之助
- 外務大臣 男爵伊集院彦吉

勅令第四百七十五號

大正十二年九月一日以後ニ於テ法人ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタル法人ニ對シテハ大正十四年八月三十一日ニ至ル迄ノ間破産ノ宣告ヲ爲スコトヲ得ス但シ其ノ法人カ支拂ヲ爲スコト能ハサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者ハ前項ノ期間其ノ法人ニ對シ破産ノ申立ヲ爲スコトヲ要セス
前二項ノ規定ハ清算中ノ法人及大正十二年九月ノ震災ノ影響ニ因ラスシテ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルコト明ナル法人ニ付テハ之ヲ適用セス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(粕谷義三君) 平沼司法大臣

(國務大臣平沼騏一郎君登壇)

○國務大臣(平沼騏一郎君) 只今議題ト相成リマシタ勅令第四百七十五號ハ法人ニ對スル破産宣告

ニ關スル緊急勅令デゴザリマスル、今次ノ震災ニ依リマシテ、經濟界ニ一大變動ヲ生ジマシテ、有價證券其他ノ財産ノ價格ハ著シク減少致シタルモノガアリマスル爲ニ會社或ハ其他ノ法人ニ致シマシテ、自己ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハザル狀態、換言セバ債務超過ノ狀態ニ陥リマシタルモノハ少ナクゴザイマセマ、而シテ民法商法其他法令ノ規定ニ依リマスレバ、法人ハ債務超過ニ陥リマシタル時ニハ、破産ノ宣告ヲ受クベキモノデアル、又法人ノ理事取締役其他之ニ準スベキ者ハ向カラ進ンデ破産ノ申請ヲ爲スノ義務ヲ負ウテ居リマス、此義務ニ違背致シマシテ、破産ノ申立ヲ致シマセマ時ニハ、罰則ノ適用ヲ受ケンケレバナラナイノデゴザイマス、右ノ次第デゴザイマスルカラシテ、現行法令ノ規定ニ依リマスレバ、多數ノ法人ハ震災ノ爲ニ破産ノ危機ニ瀕シタルモノト申サナケレバナリマセマ、此法令ヲ嚴格ニ適用致シマシタラバ、法人ノ破産者ハ續出致シマシテ、忽チ財界ノ混亂ヲ激成スベキ狀態ニ至ツタノデゴザイマス、然ルニ這般ノ債務超過ハ、震災ノ影響ニ基因セル所ノ一時ノ現象デゴザイマシテ、若シ假スニ相當ノ時日ヲ以テ致シマシタラバ、多クハ自カラ回復ノ見込アルモノト認メテ宜イノデゴザリマス、ソレデゴザイマスルカラシテ、是等ノ法人ニ對シマシテハ、一定ノ期間破産ヲ停止スルノ特例ヲ設ケマスルコトガ、經濟界ノ不定ヲ防止スル爲ニ極メテ必要ナル事デアリマス、之ニ依リマシテ、此緊急勅令ヲ發布スルニ至リマシタノデゴザイトス、而シテ本令ハ尙ホ將來其效力ヲ持續スルノ必要ガゴザリマスルカラ、憲法第八條第二項ニ依リマシテ承諾ヲ求ムル次第デゴザリマス、宜シク御審議ヲ願ヒマス

○議長(粕谷義三君) 日程第八、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○高見之通君 本案ハ政府提出大正十二年勅令第四百二十四號承諾ヲ求ムル件、即チ手形割引損失、補償ノ件、外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(粕谷義三君) 高見君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是ニテ本日ノ日程ヲ終リマシタ、此場合一言致シタイコトガアリマス、去ヌル十五日永井柳太郎君ノ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ演說中ニ於テ、議長ハ穩カナラザル言葉ノアリマシタヤウニ聽取リマシタノデ、仍テ其當時議長ハ速記録ヲ取調ベマシタ上、相當ノ取計ヒヲ爲スヘキ旨ヲ宣告致シテ置キマシタ、其後速記録ニ依ツテ調べテ見マスと云フト、永井君ノ御演說中ニハ、過去數年間ニ互ツテ我國ニ專制政治ガ行ハレテ居ツタト云フヤウナ言葉ガアルノデアリマス、右様ノ事ガアル筈ハナイノデアリマスカラ、將來斯様ナ御言葉ハ御慎ミアラントテ茲ニ希望致スノデアリマス、只今ハ永井君ハ御缺席デアリマスガ、此議長ノ宣告ニ永井君ニ於テハ速記録ニ依ツテ御承知アラシコトヲ希ヒマス、尙ホ明日ハ會期ノ最終日デアリマスカラ、先例ニ依リマシテ午前十時ヨリ開會致シマス、日程ハ追テハ報ヲ以テ御通知ヲ申上ゲマス、本日ハ是ニテ散會
午後七時十六分散會

衆議院議事速記第二號中正誤

頁 二 下段 行 上程ニモ 上程ニモ

衆議院議事速記第三號中正誤

頁 一五 中下段 行 經常費 租稅 經費 正 誤 入

衆議院議事速記第四號中正誤

頁	段	行	誤	正
八八	上	六	居ツタノデス	造リマスカラ
同	中	三	留意	主意
同	同	四	申出デラレ	申サレ
同	下	五	脱會	退去
同	同	二	之ヲ	之ト
同	同	二〇	處置	手段
八九	上	二	居ツタ	居ル
同	中	二八	居ツタ	居ル
同	下	一五	請願	上奏
同	同	二一	請願	上奏
九〇	上	二二	請願	上奏
同	同	二二	ナクレバ	アレバ
同	同	二四	請願	上奏
同	同	二六	クレドモ	行
同	同	二六	此送條	此ハ逐條
同	下	一八	保險會社ノ人ガ	保險ノ期限ガ切
同	同	一八	マスト	シタニ
同	同	二〇	テアルト云フ	ニナリマシタ
同	上	一八	迷惑	不思議
同	中	一九	申ス所ノ	申スト
同	下	一一	御長舌	廣長舌

(衆議院議事速記第五號百十七頁國務大臣ノ演說ニ對スル三輪市太郎君質疑演說ノ參照)
大正十一年調査
農業ト營業トノ負擔比較表

種別	區分	國稅	地方稅	計
農業	其ノ一	三、三三	七、〇五	一〇、三八
營業	其ノ二	三、三三	七、〇五	一〇、三八
營業	其ノ三	三、三三	七、〇五	一〇、三八
營業	其ノ四	三、三三	七、〇五	一〇、三八
營業	其ノ五	三、三三	七、〇五	一〇、三八
營業	其ノ六	三、三三	七、〇五	一〇、三八
營業	其ノ七	三、三三	七、〇五	一〇、三八
營業	其ノ八	三、三三	七、〇五	一〇、三八
營業	其ノ九	三、三三	七、〇五	一〇、三八
營業	其ノ一〇	三、三三	七、〇五	一〇、三八

收益百圓ニ對スル公課平均 農業者金十圓六十七錢

農業負擔額計算ノ基礎 (其ノ一)

區別	收穫高	米價	收穫	經費	收益	公課
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇

農業負擔額計算ノ基礎 (其ノ二)

區別	收穫高	米價	收穫	經費	收益	公課
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇

農業負擔額計算ノ基礎 (其ノ三)

區別	收穫高	米價	收穫	經費	收益	公課
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇
田	自作	二、三三	三、三三	一、〇〇	二、三三	一、〇〇

